

令和2年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金  
厚生労働科学特別研究事業  
(分担) 研究報告書

新型コロナウイルス感染症流行下の自粛の影響—予期せぬ妊娠等に関する実態調査  
と女性の健康に対する適切な支援提供体制構築のための研究

分担研究テーマ：COVID-19の流行下における、妊娠、避妊に対する意識と行動の実態調査および  
若年者への啓発・教材作成の取り組み

1. コロナ禍における第一次緊急事態宣言下の日本人1万人調査（報告）

研究分担者 北村 邦夫（一般社団法人日本家族計画協会会長／理事長）

研究協力者 阿江 竜介（自治医科大学公衆衛生学教室）

小佐見光樹（自治医科大学公衆衛生学教室）

吉田 穂波（神奈川県立保健福祉大学）

林 玲子（国立社会保障・人口問題研究所）

守泉 理恵（国立社会保障・人口問題研究所）

中村真理子（国立社会保障・人口問題研究所）

田代 藍（東北大学大学院環境科学研究科）

杉村由香理（一般社団法人日本家族計画協会）

研究要旨

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大に伴い、日本人の日常も大きく変化した。自粛生活を余儀なくされる中、メディアを通じて様々な憶測が流れたことはまだ記憶に新しい。

1. 若者たちが「にんしんSOS」に殺到したこと。全国一斉休校などによって家庭での自粛を余儀なくされた若者たちの性行動が活発化し妊娠例が増えたのだろうか。
2. 妊娠届出数が前年に比べて激減していたことが話題になった。特に、20年5月では17.1%減となったと国が発表した。3密を避けるために日本人がセックスを控えた結果なのだろうか。
3. 自粛下にあって恋人間の暴力や家庭内暴力が頻発しているとの報道もあった。UN WOMEN（国連女性機関）では、「COVID-19：女性と女の子に対する暴力」の報告書で、世界では15歳から49歳の女性と女兒の18%近くが、直近12ヶ月の間に親密な関係にあるパートナーから性的・身体的暴力の被害を受けたという。自粛が続く窮屈で閉塞的な住環境下では、この数字は増加するのだろうか。
4. COVID-19が長期化する中、時短営業を求められ、失業や休業に伴う貧困、孤独などにより自殺が増加。中でも女性の自殺が目立つなどの警察庁データも目を引いた。果たして事実はどうなのだろうか。

このような仮説を実証すべく、「コロナ禍における第一次緊急事態宣言下の日本人1万人調査」を実施した。これは、第一回目の緊急事態宣言が発令された2020年4月7日前後（3月下旬

から5月下旬)を振り返って、以前の生活とどう変わったかなどについて意見を聞き、将来に備えるための対策資料を収集することを目的に実施したものである。以下、結果の概略をまとめた。

1. コロナ禍での心境:「充実していない」が62.1% (男性62.8%、女性61.3%)で男女とも6割を超えている。
2. 自宅で過ごす時間が増えたとの回答は51.6% (男性47.2%、女性55.9%)。在宅勤務についても男性の31.4%、女性の17.0%が経験している。
3. 「失業した」との回答、男女ともにそれぞれ4.3%。男女ともに20代でその割合が高い。「休業」についても男性の11.5%、女性では13.5%が経験している。
4. 収入は変わらなかったが男女ともに7割を超えているが、収入が減ったが、増えたより10倍ほど多かった。
5. 「自粛下パートナー(配偶者や恋人など)がいた」は男性の57.0%、女性の66.2%だが、その関係について聞くと、「変わらなかった」が男性の55.3%、女性の55.2%。一方、「良好だった」が「悪くなった」を遙かに超えている。
6. 「子供がいるか」を尋ねているが、50代、60代にとっての「子供」と、20代、30代での「子供」の意味合いが大分異なっている。前者は既に独立している「子供」、後者は養育を必要としている「子供」である可能性が高い。若い世代でも、子供と過ごす時間が「増えた」との回答が多い。
7. 「子供」の意味合いが年代によって違うことは当然であるが、子供を預ける場所があったかについて、「預ける場所がなかった」と「預けていなかった」の割合が、20代、30代の男性では5割を超え、40代の男女では7割に迫っていた。預けたくても預ける場所がなかった可能性が高い。
8. 男女ともに運動習慣が減り、飲酒機会が増え、喫煙量は増えた。
9. パートナー間の暴力行為が「あった」が男性の4.3%、女性の3.8%。20代男性の12.2%が全年代中最多。暴力行為の内容は、全体では、「精神的な暴力」「身体的暴力」「性的な暴力」の順。女性は、「精神的な暴力」がトップで、次いで「身体的暴力」「社会的な暴力」「性的な暴力」の順。「パートナーから振るわれた」は女性の方が男性より圧倒的に多い。暴力の頻度は、「減った」が「増えた」を上回っている。
10. セックス回数は減少、自慰(マスターベーション)は増加。セックスの頻度が減少したのは「外出を控えていた」が最多。パートナー以外とのセックスについては、若い世代ほど多い。セックスの頻度が増えた人は、自慰も増えている、性行動が積極的、消極的の2極化が起こっている。
11. 避妊法選択は、コンドーム、膈外射精がメインで、通常と変わらない。緊急避妊を使用した者が男性で3.1%、女性で1.3%いた。
12. 妊娠を経験したとの回答は男女ともそれぞれ3.2%。その結果、91.4%の女性が妊娠を継続したが、「パートナーに勧められた」「自身の体調を考慮して」「コロナウイルス流行と子供への影響が心配だった」などを理由に中絶した女性が20代で8.9%、40代23.1%。
13. 不妊治療は不要・不急かに対しては、「わからない」が男性41.3%、女性44.2%いるが、「そう思う」は「そうは思わない」の5分の1ほど。

この結果を踏まえ、以下、考察した。

1. 自粛下でも「充実していた」と回答した4割近くの男女を詳細に分析すると、自粛下であっても孤立していなかったことが明らかとなった。
2. パートナー間での暴力行為（身体的・性的・精神的な暴力行為）は4%程あったものの、男女ともに「減った」26.6%、「増えた」17.7%で、自粛下では暴力が増えるという仮説を覆す結果となった。
3. 自粛下におけるセックス頻度を聞くと、「していない」が49.8%、「減った」7.9%、「増えた」3.3%で、男女ともに「減った」が「増えた」の2倍以上であった。セックスが「減る」傾向は、未婚、初婚、再婚以上などに分けても同様であった。妊娠届出が激減したこと、少子化が一段を進行することが懸念されているが、その原因がセックスに対する消極性の結果を示唆するものであった。

### A. 研究の目的

未だ人類が経験したことのない新型コロナウイルス感染症（COVID-19）。2020年4月に緊急事態宣言が発出され、自粛を求められたことから、日常の生活が大きく変化した。今回実施した「コロナ禍における日本人の”性”1万人調査」では、特に自粛生活を余儀なくされた頃（2020年3月下旬～5月下旬）を振り返って、以前の生活とどう変わったかなどについて、率直な意見をうかがい、将来に備える資料を収集することを目的に行った。

### B. 研究方法

2015年に実施した国勢調査の結果に準じて、20歳から69歳までの性・年代・都道府県に割り付けて標本数を配分し1万人を調査対象者とした。回収後、データ・クリーニングを行い、不適正回答と思われる10人を集計対象者から

除外し、9,990人について集計解析した。

#### 1. 調査対象者

全国、20～69歳男女10,000サンプル。2015年に実施した国勢調査の結果（**図1**）に準じて性・年代・都道府県に割り付けて、標本数を配分（470セル）した（クォータサンプリング：割り付け法）。

#### 2. 調査期間

2020年10月26日（月）～2020年10月29日（木）

#### 3. 調査方法

インターネットリサーチ（アンケート依頼メールを各回答者に配信しweb上にて回答）

#### 4. 調査委託機関

株式会社クロス・マーケティング  
※提携パネル：リサーチパネル

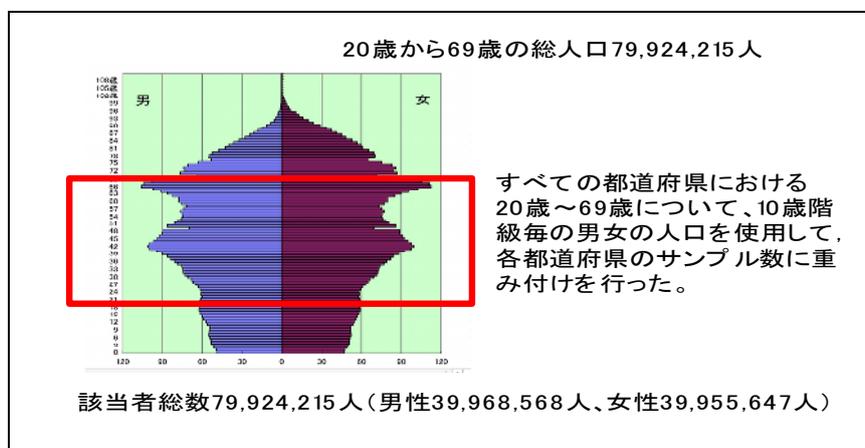


図1. 2015年国勢調査から割り付け

表1. 各都道府県の性別サンプル数

	全体		男性		女性	
合計	9,990	100.0	4996	100.0	4994	100.0
北海道	424	4.2	204	4.1	220	4.4
青森県	102	1.0	50	1.0	52	1.0
岩手県	98	1.0	49	1.0	49	1.0
宮城県	182	1.8	92	1.8	90	1.8
秋田県	77	0.8	39	0.8	38	0.8
山形県	85	0.9	43	0.9	42	0.8
福島県	149	1.5	77	1.5	72	1.4
茨城県	229	2.3	118	2.4	111	2.2
栃木県	157	1.6	80	1.6	77	1.5
群馬県	154	1.5	78	1.6	76	1.5
埼玉県	588	5.9	299	6.0	289	5.8
千葉県	497	5.0	252	5.0	245	4.9
東京都	1,131	11.3	575	11.5	556	11.1
神奈川県	744	7.4	382	7.6	362	7.2
新潟県	177	1.8	89	1.8	88	1.8
富山県	82	0.8	42	0.8	40	0.8
石川県	87	0.9	43	0.9	44	0.9
福井県	57	0.6	29	0.6	28	0.6
山梨県	66	0.7	33	0.7	33	0.7
長野県	156	1.6	79	1.6	77	1.5
岐阜県	156	1.6	78	1.6	78	1.6
静岡県	288	2.9	146	2.9	142	2.8
愛知県	596	6.0	305	6.1	291	5.8
三重県	139	1.4	70	1.4	69	1.4
滋賀県	112	1.1	56	1.1	56	1.1
京都府	697	7.0	342	6.8	355	7.1
大阪府	432	4.3	210	4.2	222	4.4
兵庫県	105	1.1	50	1.0	55	1.1
奈良県	72	0.7	35	0.7	37	0.7
和歌山県	202	2.0	100	2.0	102	2.0
鳥取県	42	0.4	20	0.4	22	0.4
島根県	50	0.5	25	0.5	25	0.5
岡山県	145	1.5	71	1.4	74	1.5
広島県	217	2.2	108	2.2	109	2.2
山口県	104	1.0	51	1.0	53	1.1
徳島県	58	0.6	29	0.6	29	0.6
香川県	73	0.7	36	0.7	37	0.7
愛媛県	103	1.0	50	1.0	53	1.1
高知県	54	0.5	26	0.5	28	0.6
福岡県	399	4.0	192	3.8	207	4.1
佐賀県	64	0.6	31	0.6	33	0.7
長崎県	103	1.0	50	1.0	53	1.1
熊本県	135	1.4	66	1.3	69	1.4
大分県	87	0.9	43	0.9	44	0.9
宮崎県	82	0.8	39	0.8	43	0.9
鹿児島県	124	1.2	60	1.2	64	1.3
沖縄県	109	1.1	54	1.1	55	1.1

## 5. 回収結果 (表1)

- ①調査配信数 → 163,881 人
- ②回答者数 → 11,260 人
- ③回収数 → 10,000 人
- ④クリーニング終了後の回答数  
→ 9,990 人
- ⑤無効回答者数 → 1,270 人
- ⑥回答率 → 約 6%

## 6. 調査除外基準

- ①調査対象者自身や家族の方に、以下の職業に関わる方がいた場合には除外した。
  - 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・広告等マスコミ関係
  - 市場調査短時間回答者の除外
- ②回答した設問数に対して、あまりに短い回答をしたサンプルは調査機関の基準により調査対象者から除外した。さらに、研究班としてクリーニングした結果、回答者の 10 人を除外した。詳細については、クリーニングの研究結果をご覧ください。

### (倫理面への配慮)

一般社団法人日本家族計画協会の研究倫理審査委員会に諮り「承認」された。(2020年10月9日) 承認番号 JFPA-2020022 (日家協第2020178号)

## C. 研究結果

1. 回答者のプロフィールおよびデータ精査
  - 1) 2015年に実施した国勢調査の結果に準じて性・年代・都道府県に割り付けて、標本数を配分(470セル)した(クォータサンプリング:割り付け法)結果、合計10,000サンプルが収集された。その後、クリーニングが行われ、10サンプルが不適正と認定され、分析は9,990サンプルについて行われた。その内訳は図2の通りである。
  - 2) 性別:男性が4,996人、女性4,994人であった。
  - 3) 年代:20代(15.5%)、30代(19.5%)、40代(23.0%)、50代(19.3%)、60代(22.7%)で、概ね等分されている。
  - 4) 結婚形態:未婚(38.3%)、初婚(50.4%)、再婚以上(4.0%)、死別(1.5%)で離婚も5.8%。
  - 5) 就業状況:共にフルタイム(25.3%)、夫はフルタイム、妻はフルタイムでない(26.1%)、妻はフルタイム、夫はフルタイムではない(1.5%)、夫のみ就労(41.1%)、妻のみ就労(6.1%)。
  - 6) 居住地:都道府県別回答者数については、回答者の多い順に、東京都、神奈川県、京都府、愛知県、埼玉県、少ないのは、鳥取県、島根県、高知県、福井県、佐賀県、徳島県などが並ぶ。

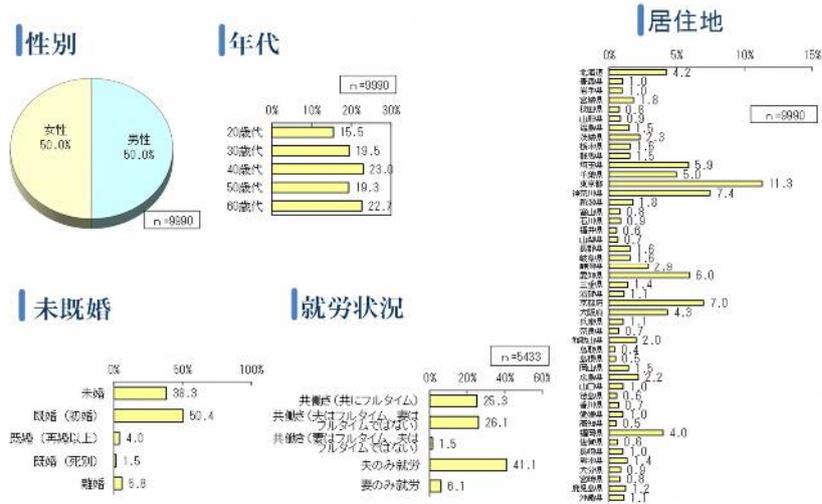


図2. 回答者のプロフィール(1)

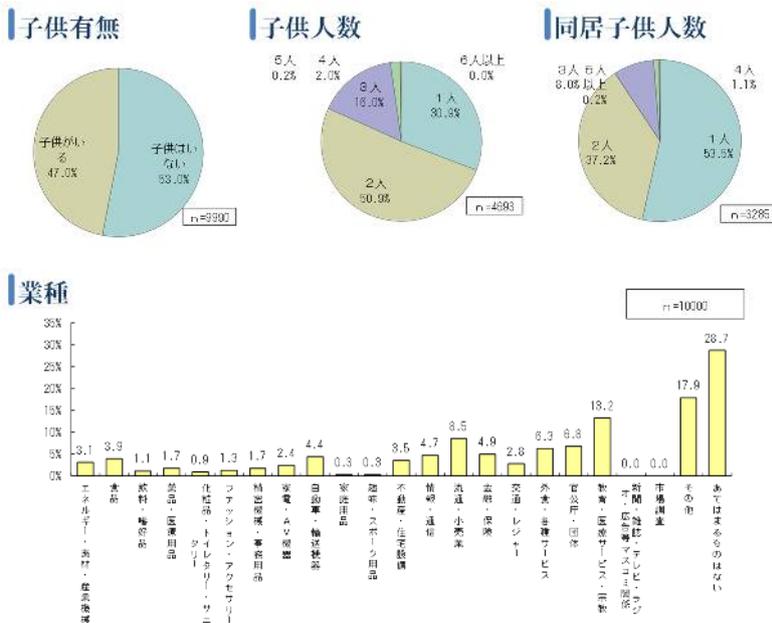


図3. 回答者のプロフィール(2)

図3では、子供の有無、子供の人数、同居子供数、業種をまとめている。

- 1) 子供の有無：53.0%が「子供はいない」と回答。「子供がいる」のは47.0%であった。
- 2) 子供がいると回答したうちの子供の人数：「2人」が最も多く50.9%、「1人」30.9%、「3人」(16.0%)と続く。
- 3) 子供がいると回答したうちの子供数：「1人」が最多で53.5%、「2人」37.2%、「3人以上」も9.3%を数える。

- 4) 業種については、調査対象者自身や家族の方に、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・広告等マスコミ関係」「市場調査」がいた場合には除外の対象とした。したがって、1万人調査の中には、これらは含まれていない。

図4には、職業、最終学歴、昨年の個人年収、労働日数、労働時間についてまとめた。

- 1) 職業：「勤め人(常勤)」が最多で46.6%、次いで「勤め人(非常勤、アルバイトなど)

16.5%、「主婦・主夫」14.1%、「現在は働いていない」12.5%、「自営業(事業の経営者、

家事の手伝い、フリーランス)」7.6%、「学生」2.7%と続く。

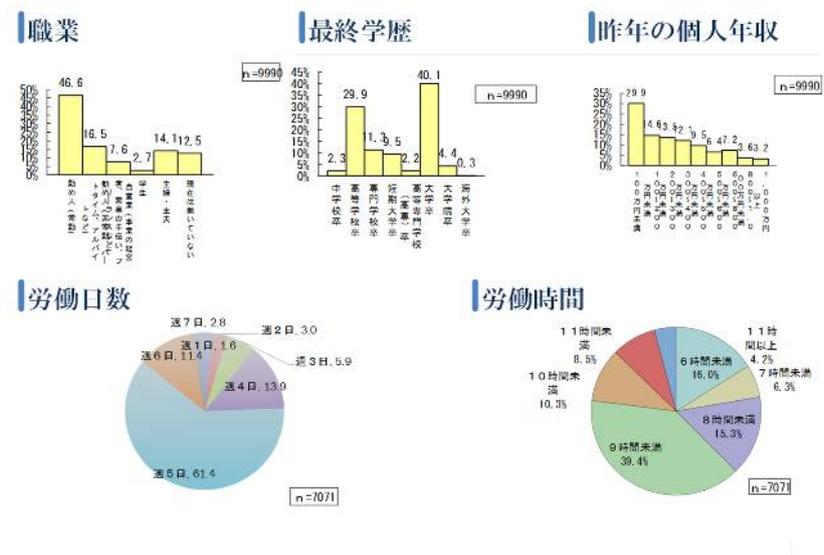
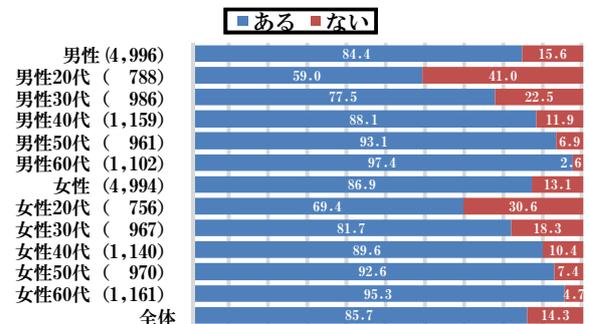


図4. 回答者のプロフィール(3)

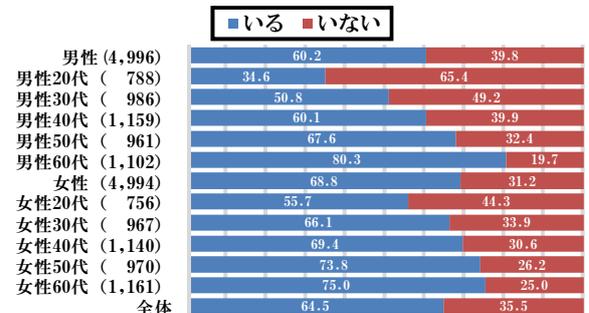
- 2) 最終学歴: 「大学卒」が40.1%と最多、「高等学校卒」29.9%、「専門学校卒」1.3%、「短期大学卒」9.5%と続く。「中学校卒」は2.3%となっている。
- 3) 昨年の個人年収: 「100万円未満」が29.9%と最多。「100~200万円未満」14.6%、「200~300万円未満」13.5%、「300~400万円未満」12.1%と続く。「800万円以上」は6.8%に過ぎなかった
- 4) 労働日数: 最も多いのは「週5日」で61.4%、次いで「週4日」13.9%、「週6日」11.4%、「週3日」5.9%と続く。
- 5) 労働時間: 「8時間以上9時間未満」が最多の39.4%、次いで「6時間未満」16.0%、「7時間以上8時間未満」15.3%、「9時間以上10時間未満」10.3%、「10時間以上11時間未満」8.5%など。

偶者、恋人など) がいると回答。性別・年代別でみると、女性の方が男性よりも「あり」の割合が多い。



Q1 あなたはこれまでにセックス(性交渉)をしたことがありますか。(SA)

図5. セックス経験の有無(%)



Q2 あなたにはパートナー(配偶者、恋人など)がいますか。(SA)

図6. パートナーの有無(%)

## 2. 単純集計の結果

### 1) セックス経験 (図5)

セックス経験があるのは男性の84.4%、女性では86.9%。当然ではあるが、若年ほど、経験率は低い。

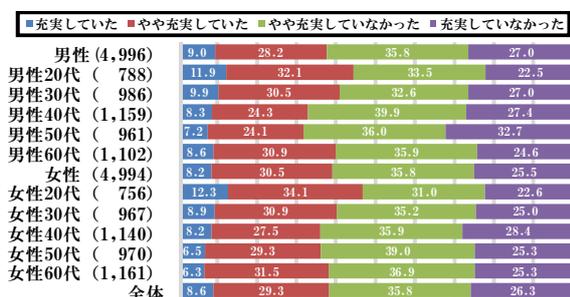
### 2) パートナー(配偶者、恋人)の有無(図6)

60.2%の男性、68.8%の女性がパートナー(配

以下は、「緊急事態宣言」発令前後（2020年3月下旬～5月下旬）での生活を想定しての質問

### 3) この時期における心境（図7）

コロナ禍における心境を聞くと、「充実していなかった」が男女ともに6割を超えているが、「充実していた」（充実していた+やや充実していた）との回答も男性37.2%、女性38.7%であって、40代、50代では「充実していた」の割合が、他の世代に比べて概して低いという結果であった。

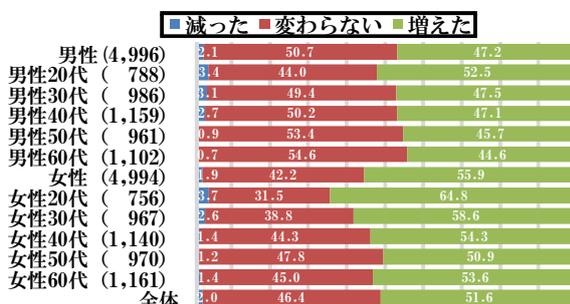


Q3 この時期におけるあなたの心境について最も近いものを教えてください。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

図7. 自粛下における心境(%)

### 4) この時期に、自宅で過ごす時間は変わったか（図8）

増えたと回答した男性47.2%、女性55.9%。女性の方が男性に比べて「増えた」割合が多い。特に20代女性で顕著。一方、「減った」の回答は、男女ともに2%程度に留まっていた。



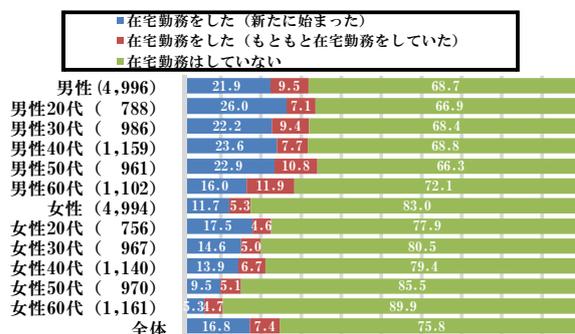
Q4 この時期に、あなたは自宅で過ごす時間は変わりましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

図8. 自宅で過ごす時間の変化

### 5) この時期に、在宅勤務をしたか（図9）

在宅勤務の経験は、女性よりも男性でそ

の割合が高いが、60代になると男女ともに低くなる。中でも「新たに始まった」については、男性21.9%、女性では11.7%。



Q5 この時期に、あなたは自身は在宅勤務をしましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

図9. 自粛下における在宅勤務の状況(%)

### 6) この時期に、休日の頻度が変わったか（図10）

休日の頻度は、「変わらない」が大半で、男性80.7%、女性78.4%。男性よりも女性の方が多く、他の年代に比べて、20代では男女ともに「増えた」の割合が高い多い。



Q6 この時期に、あなたは自身の休日の頻度は変わりましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

図10. 自粛下において休日の頻度の変化(%)

### 7) この時期に、失業したか（図11）

「失業した」との回答は、男女それぞれ4.3%。男女ともに、20代でその割合が高い。

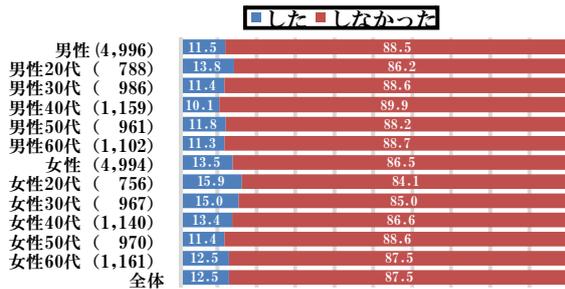


Q7 この時期に、あなた自身は失業しましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

図11. 自粛下における失業の経験(%)

8) この時期に、休業(会社からの休業命令あるいは自営業の場合は自主的な休業)したか(図12)

休業したと回答した男性は11.5%、女性13.5%。休業経験は20代、30代、40代では女性が男性に比べて多い。

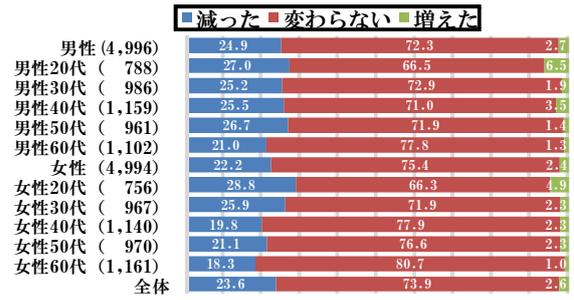


Q8 この時期に、あなた自身は休業しましたか。(会社からの休業命令あるいは自営業の場合は自主的な休業の有無) (SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

図12. 自粛下における休業の有無(%)

9) この時期に、収入が変わったか(図13)

収入「変わらない」は男女ともに7割を超えているが、「減った」割合が「増えた」よりも10倍ほど多く、コロナ禍の自粛生活での深刻さが窺える。男性では24.9%vs.2.7%。女性は22.2%vs.2.4%。コロナ禍に経済的問題を抱えた国民は少なくない。

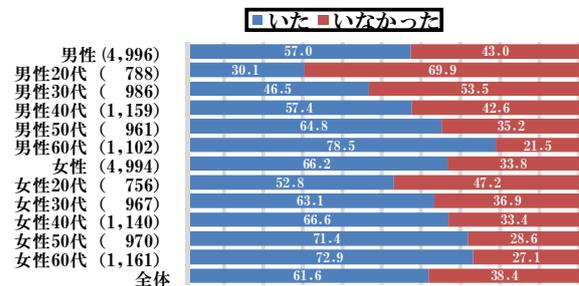


Q9 この時期に、あなた自身の収入は変わりましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

図13. 自粛下における収入の変化(%)

10) この時期に、パートナー(配偶者、恋人など)がいたか(図14)

自粛が求められた時期とは関係なく「パートナー」がいるかを尋ねると、全体では64.5%が「いる」と回答しているが、「この時期にいたか」に特化すると61.6%とやや減少傾向にあった。性別で見ると、男性57.0%、女性66.2%。「いた」割合は女性の方が男性より多かった。



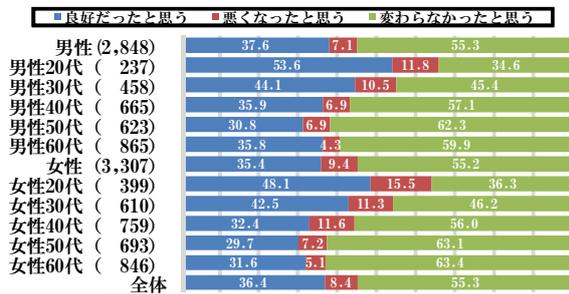
Q10 この時期に、あなたにはパートナー(配偶者、恋人など)はいましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

図14. 自粛下におけるパートナーの有無(%)

11) この時期における、パートナーとの関係性(図15)

この時期におけるパートナーとの関係性については、「変わらなかった」が男性で55.3%、女性55.2%と回答しているが、「良好だったと思う」が「悪くなったと思った」を遙かに超えている。コロナ禍自粛下にあっても、日本人の場合には、パートナー間関係が決して悪くなってはいないという興味深い結果であった。「良好だったと思う」と「悪く

なったと思った」の割合は男女ともに若い世代ほど多かった。



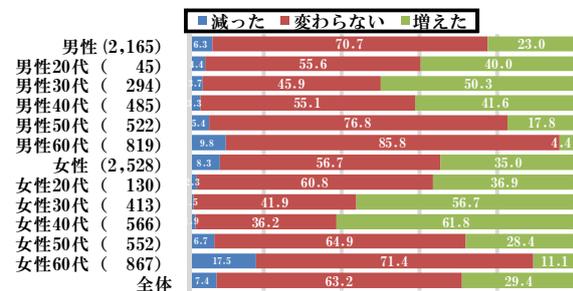
Q11 この時期に、あなたとパートナーとの関係はいかがでしたか。(SA)

※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります【ベース:パートナーがいた方】

図15. 自粛下におけるパートナーとの関係の変化(%)

12) この時期に、子供と過ごす時間は変わったか(図16)

この時期に、「子供と過ごす時間は変わったか」を聞いた。養育を必要としている「子供」のいる20代、30代、40代に対して、既に独立していると考えられる「子供」を意味するであろう50代、60代では、受け止めが異なるのは当然である。「子供と過ごす時間」が「増えた」が男性の23.0%、女性35.0%。「増えた」割合は、男性よりも女性が多かった。これなど、自粛生活を余儀なくされる中で、子供と過ごす時間が増えたことを意味するのではないかと。50代、60代では、息子・娘が帰省を避けたのか、子供や孫との接触時間が減った可能性が高い。



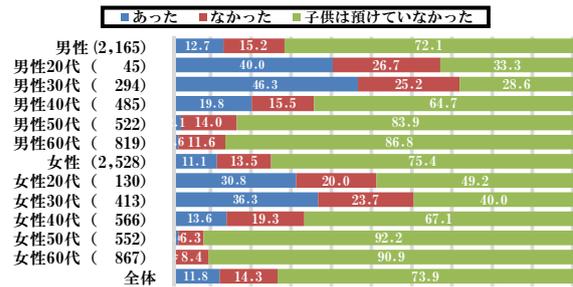
Q12 この時期に、あなた自身は子供と過ごす時間は変わりましたか。(SA)

※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります【ベース:子供がいる方】

図16. 自粛下において子供の過ごす時間の変化(%)

13) この時期に、子供を預ける場所(幼稚園、保育所など)はあったか(図17)

この質問も、回答者の年齢によっては、「子供」の受け止めに大きな違いがあるはずだ。20代、30代、40代にとっての「子供」と、50代、60代での「子供」の受け止めは大きく異なっていることは否めない。ひょっとしたら、前者は自身の子供を、後者は「孫」などをイメージして回答した可能性もあり、正確な比較は難しいと感じている。事実、男女ともに、50代、60代では「子供は預けていなかった」と8割、9割が回答している。自身の子供がいたと思われる、20代、30代、40代についてみると、「預けていなかった」が、20代、30代の男性では3割近く、女性は20代では5割近くとなっていた。「預けていなかった」には「預ける場所がなかった」も含まれる可能性があるが、20代、30代の男性は5割を超え、40代では男女ともに7割に迫っていた。



Q13 この時期に、あなたは子供を預ける場所(幼稚園、保育所など)はありましたか。(SA)

※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります【ベース:子供がいる方】

図17. 自粛下において子供を預ける場所の有無(%)

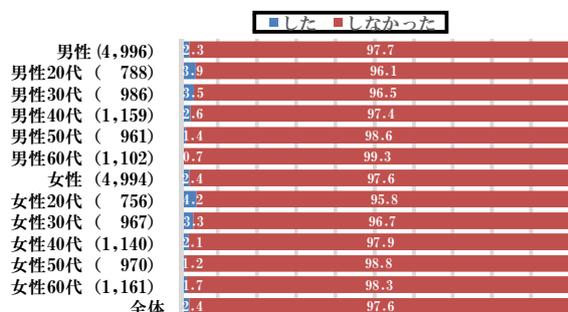
14) この時期に、結婚したか(図18)

自粛生活を求められていたこの時期でも、男性の2.3%、女性の2.4%が結婚したと回答している。

一方、共同通信社の調査では、全国計80の政令指定都市、中核市の約91%で、2020年4～6月の婚姻数が前年同期に比べ減少したとしている。調査は11月下旬、20政令市と60中核市、47都道府県の計127自治体を対象に実施したもので、厚生労働省の人口動態統計速報によると、1～10月の全国婚姻数は前年同期から約13%減っている。2019年5月は

改元に合わせた「令和婚」が増えた一方で、20年は外出自粛などが影響し大幅に減ったと考えられている。

(<https://www.tokyo-np.co.jp/article/77290>)

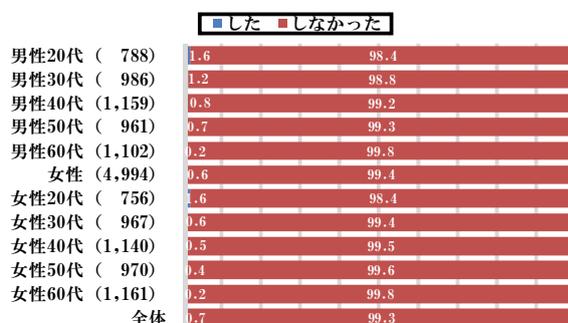


Q14 この時期に、あなた自身は結婚しましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

図18. 自粛下における結婚の有無(%)

15) この時期に離婚したか(図19)

この時期に離婚したかを聞くと、男性では0.9%、女性でも0.6%が離婚したと回答。研究協力者の分析では、結婚も離婚もしたと回答した者がいて、社会経済状態も不安定であったとしている。

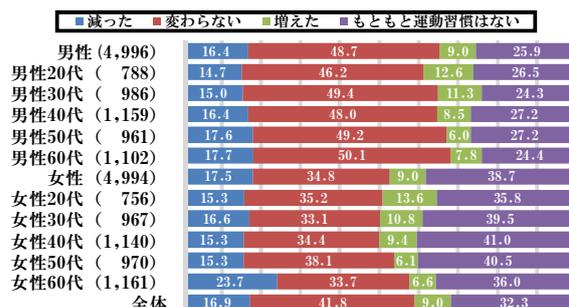


Q15 この時期に、あなた自身は離婚しましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

図19. 自粛下における離婚の有無(%)

16) この時期に、運動習慣が変わったか(図20)

もともと運動習慣は「ない」と回答した者が、男性で25.9%、女性では38.7%いるが、この時期に、「減った」の回答が「増えた」に比べて概して高い傾向にあった。自粛生活は、運動する機会をも奪ったのだろうか？



Q16 この時期に、あなた自身の運動習慣は変わりましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

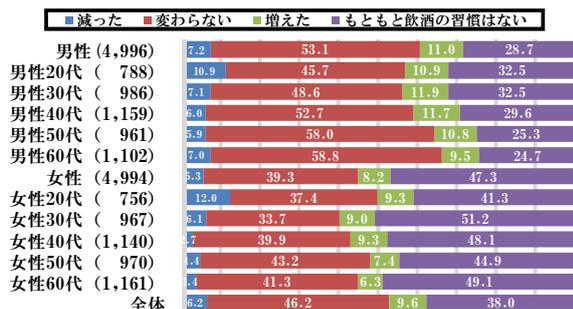
図20. 自粛下における運動習慣の変化(%)

17) この時期に、飲酒量は変わったか(図21)

2019年に実施した「国民健康・栄養調査」によると、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人は、男性14.9%、女性9.1%。2010年からの推移でみると、男性では有意な増減はなく、女性では有意に増加しているという。年齢階級別には、その割合は男性では40歳代、女性では50歳代が最も多く、それぞれ21.0%、16.8%と報告されている。

(<http://www.seikatsusyukanbyo.com/statistics/2020/010355.php>)

本調査では、「もともと飲酒の習慣はない」との回答が、男性で28.7%、女性では47.3%で、飲酒習慣があるのは、男性71.3%、女性52.2%であるかのような数字となるが、「国民健康・栄養調査」では生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合としていたので単純には比較できない。この時期に、20代の男女を除いて、「増えた」の回答が「減った」に比べて概して高い傾向にあった。自粛生活は、飲酒する機会を増やしたのだろうか。



Q17 この時期に、あなた自身の飲酒量は変わりましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

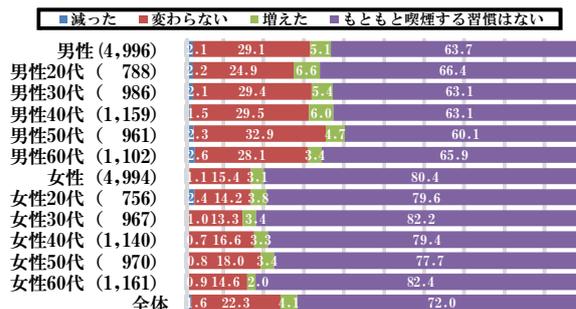
図21. 自粛下における飲酒量の変化(%)

18) この時期に、喫煙量は変わったか(図22)  
本調査では、「もともと喫煙する習慣はない」との回答が、男性で63.6%、女性では80.3%で、男性の喫煙割合は36.4%、女性で19.7%。

厚生労働省「最新たばこ情報」の統計情報(2020年12月更新)によると、現在習慣的に喫煙している人の割合は、16.7%(男性27.1%、女性7.6%)であり、この10年間でみると、いずれも有意に減少しているとされている。この10年間でみると、いずれも有意に減少し、年齢階級別の喫煙者は30～60歳代男性ではその割合が高く、約3割が習慣的に喫煙しているとの報告がある。

(<http://www.seikatsusyukanbyo.com/statistics/2020/010356.php>)

本調査では、「もともと喫煙する習慣はない」との回答が、男性で63.7%、女性では80.4%であることから、男性の喫煙割合は36.3%、女性では19.6%で、厚労省調査に比べて、喫煙割合は高い。男性の喫煙率は、全年代で女性を上回っているが、この時期に、「増えた」の回答が「減った」に比べて概して高い傾向にあった。自粛生活は、ストレス故か、喫煙量を増やすことになったのだろうか。

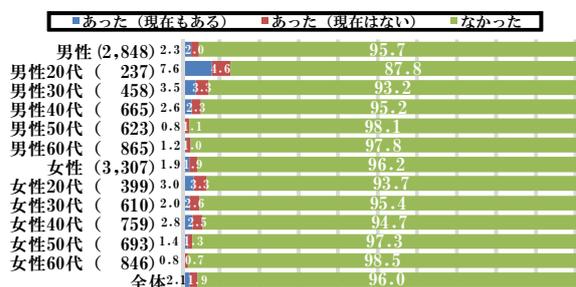


Q18 この時期に、あなた自身の喫煙量は変わりましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

図22. 自粛下における喫煙量の変化(%)

19) この時期に、パートナーとの間で暴力行為(身体的・性的・精神的な乱暴行為)があったか(図23)

この時期に、パートナー間の暴力行為があったか否かを聞くと、「あった」の回答が男性の4.3%、女性の3.8%であった。目立つのは、20代男性の12.2%(現在もあるが7.6%、現在は無い4.6%)。



Q19 この時期に、あなたはパートナーとの間で暴力行為(身体的・性的・精神的な乱暴行為)はありましたか。  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります (SA)  
【ベース: パートナーがいた方】

図23. 自粛下におけるパートナー間の暴力行為の有無(%)

内閣府が実施している「男女間における暴力に関する調査」(2018年)によれば、女性の約3人に1人、男性の約5人に1人は、配偶者(事実婚や別居中の夫婦、元配偶者を含む)からこれまでに「身体的暴行」「心理的攻撃」「経済的圧迫」「性的強要」のいずれかを1つでも受けたことがあり、女性の約7人に1人は何度も受けているとの報告がある。

([https://www.gender.go.jp/policy/no\\_violence/e-vaw/chousa/pdf/h29danjokan-gaiyo.pdf](https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/chousa/pdf/h29danjokan-gaiyo.pdf))

しかし、これは、「過去に一度でも」という前提であり、本調査と単純には比較できない。その一方で、UN WOMEN（国連女性機関）によれば、昨今のCOVID-19蔓延に伴い増加する女性・女兒に対する暴力に関する調査データを拠を紹介している。15歳～49歳の女性の18%近くが、直近の12ヶ月間に、親密な関係にあるパートナーから身体的もしくは性的暴力を受けているとの報告である。本調査では緊急事態宣言前後の3ヶ月を想定して調査したものであり、女性の4.5%想定とされる。本調査では3.9%（20代7.0%、30代4.6%、40代5.3%、50代2.7%、60代1.5%）であり、これに近い数値といえないだろうか。

<https://www.unwomen.org/-/media/headquarters/attachments/sections/library/publications/2020/issue-brief-covid-19-and-ending-violence-against-women-and-girls-en.pdf?la=en&vs=5006>

20) この時期の暴力行為の具体的な内容は(図24)

暴力行為の内容を聞くと、男女ともに、「精神的な暴力(暴言、強迫、差別的な発言。無視されるなど)」（男性40.7%、女性50.4%）がトップ。次いで男性では「身体的な暴力(殴る、蹴る、叩く、刺す、など)」と「性的な暴力(セックスの強要、性器を見せる、など)」がともに30.9%。女性は「身体的暴力」30.4%、「社会的な暴力(常に行動を監視される、外出を制限されるなど)」22.4%、「性的な暴力」21.6%の順であった。

身体的な暴力(殴る、蹴る、叩く、刺す、など)  
性的な暴力(セックスの強要、性器を見せる、など)  
精神的な暴力(暴言、強迫、差別的な発言、無視されるなど)  
経済的な暴力(生活費を渡さない、借金を作る・強制するなど)  
社会的な暴力(常に行動を監視される、外出を制限されるなど)

性別	身体的な暴力	性的な暴力	精神的な暴力	経済的な暴力	社会的な暴力
男性 (123)	30.9	30.9	40.7	17.9	22.8
男性20代 (29)	27.6	34.5	44.8	24.1	17.2
男性30代 (31)	38.7	41.9	22.6	22.6	25.8
男性40代 (32)	21.9	15.6	50.0	9.4	18.8
男性50代 (12)	25.0	33.3	33.3	0.0	33.3
男性60代 (19)	42.1	31.6	52.6	26.3	26.3
女性 (125)	30.4	21.6	50.4	12.8	22.4
女性20代 (25)	40.0	20.0	52.0	16.0	28.0
女性30代 (28)	32.1	21.4	32.1	3.6	32.1
女性40代 (40)	27.5	32.5	60.0	20.0	15.0
女性50代 (19)	31.6	5.3	42.1	10.5	26.3
女性60代 (13)	15.4	15.4	69.2	7.7	7.7
全体	30.6	26.2	45.6	15.3	22.6

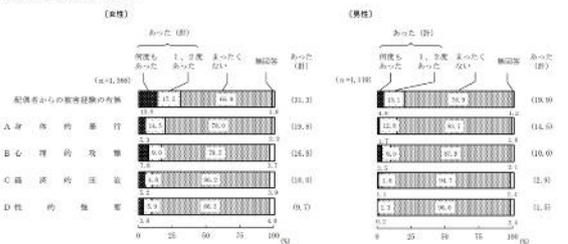
Q20 どのような暴力行為に当てはまりますか。(MA)  
【ベース：パートナー間の暴力があった方】

図24. 自肅下における暴力行為の内容(%)

内閣府が行った「男女間における暴力に関する調査」(2019年)では(図25)、女性では「身体的暴力」「心理的暴力」「経済的圧迫」「性的強要」の順、男性では「身体的暴力」「心理的暴力」「経済的圧迫」「性的強要」の順である。コロナ禍にあっては、男女ともに「精神的な暴力」がトップであったわけで、自肅下における暴力の特徴を示していることになるのだろうか。

2 配偶者からの暴力の被害経験(性別)

女性の約3人に1人、男性の約5人に1人は、配偶者から被害を受けたことがあり、女性の約7人に1人は何度も受けている。

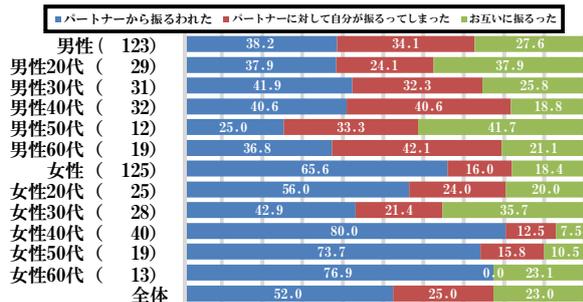


5h29danickan-gaiyo-all (gender.go.jp)

図25. 配偶者からの暴力の被害経験(%)

21) この時期に、暴力はどちらから振るったか(図26)

「パートナーから振るわれた」の回答は、女性(65.6%)の方が男性(38.2%)よりも多く、その傾向は全年代で同様であった。その自覚もあるようで、「パートナーに対して自分が振るってしまった」の割合は、男性34.1%、女性16.0%の結果であった。



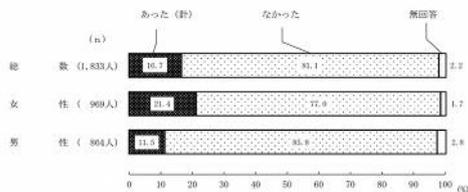
Q21 それは次のどちらに当てはまりますか。(SA)  
【ベース：パートナー間の暴力があった方】

図26. 自粛下における暴力、誰による行為か(%)

内閣府が実施した調査「男女間における暴力に関する調査」(2018年)では、女性の約5人に1人、男性の約9人に1人は、交際相手から被害を受けたと回答。女性の約6割、男性の3割は、同居(同性)期間中に被害を受けたことがあると回答している。

1 交際相手からの暴力の被害経験

女性の約5人に1人、男性の約9人に1人は、交際相手から被害を受けたことがある。



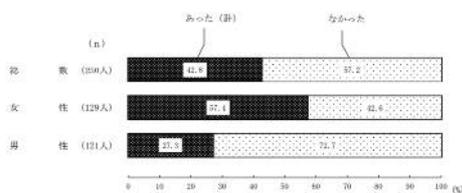
⑤h29danjokan-gaiyo-all (gender.go.jp)

図27. 交際相手からの暴力の被害(%)

([https://www.gender.go.jp/policy/no\\_violence/e-vaw/chousa/pdf/h29danjokan-gaiyo.pdf](https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/chousa/pdf/h29danjokan-gaiyo.pdf))

2 同居する交際相手からの暴力の被害経験

女性の約6割、男性の約3割は、同居(同棲)期間中に被害を受けたことがある。



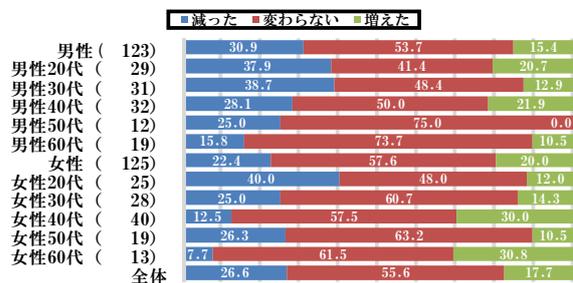
⑤h29danjokan-gaiyo-all (gender.go.jp)

図28. 同居する交際相手からの暴力の被害経験(%)

22) この時期に、パートナー間での暴力行為の頻度は変わったか(図29)

新型コロナウイルス自粛下において、パートナー間での暴力があったと回答したのは、男性で123人、女性は125人だった。

この時期に、パートナー間での暴力行為の頻度が変わったかを問うと、男性全体では「減った」が「増えた」の約2倍、女性は僅かではあるが「減った」が「増えた」を超えている。女性の40代では2.4倍、60代は4倍、「増えた」が「減った」を超えている。



Q22 この時期に、パートナー間での暴力行為の頻度は変わりましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬~5月下旬)になります  
【ベース：パートナー間の暴力があった方】

図29. 自粛下における暴力行為の頻度の変化(%)

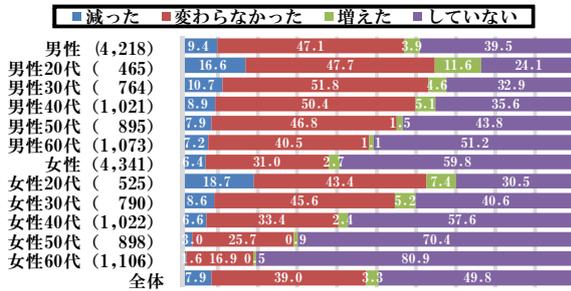
新型コロナウイルス自粛化における暴力については、国際的にも若い世代で深刻だとの声があるが、日本の場合には、20代、30代、50代については明らかに「減った」が増えている。

23) この時期、自慰(マスターベーション)やセックスの頻度が変わったか

この時期におけるセックスの頻度の変化を聞くと、「していない」が男性39.5%、女性59.8%。「減った」が男性9.4%、女性6.4%で、減少傾向が目立っている。特に20代の男女で「減った」が多い(図30)。

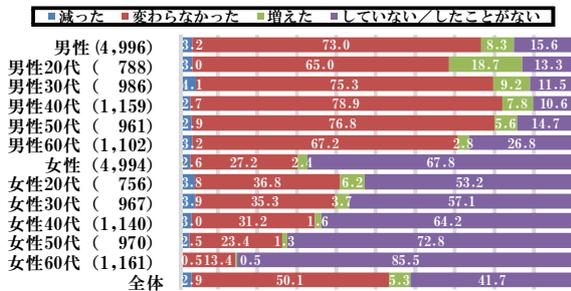
その一方で、マスターベーションの頻度が「増えた」、セックスについては、男女ともに全年代で「減った」と回答(図31)。若い世代については、自粛生活を余儀なくされ、出会いの機会が「減った」ことがセックス頻度が減少した可能性が高い。セックス

の頻度は減少し、マスターベーションは増加。これは、三密を避けようとする行動変容の表れだろうか。



Q24 この時期に、あなた自身のセックス回数は変わりましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります  
【ベース：セックス経験者】

図30. 自粛下におけるセックス頻度の変化(%)



Q23 この時期に、あなた自身の自慰(マスターベーション)の頻度が変わりましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)になります

図31. 自粛下における自慰行為の変化(%)

国際機関なども、コロナ禍におけるセックスについて、同居しているカップルであれば、以前と変わらないセックスが行われることを問題視していないが、マスターベーションや性具を用いての行為こそ、新型コロナウイルス予防のあり方としてもっとも適切であることを強調している。当然であるが、前後の手洗いなどを心掛けるようにアドバイスすることを忘れない。

(<https://www1.nyc.gov/assets/doh/downloads/pdf/imm/covid-sex-guidance.pdf>)

単純集計からは、セックス頻度が減り、自慰行為の頻度が増えたかのような結果であったが、この両者のクロス集計からは、これとは異なる姿が見える。確かに、セックスが減ったとの回答は、増えたに対して2.4倍あ

るが、自慰行為が増えた男性ではセックスの頻度が減る傾向があるものの、一方で、自慰行為が減った男性については、セックス頻度も3.4倍減っている(図32)。セックスしないことが、必ずしも自慰行為を増やすことになっていない。

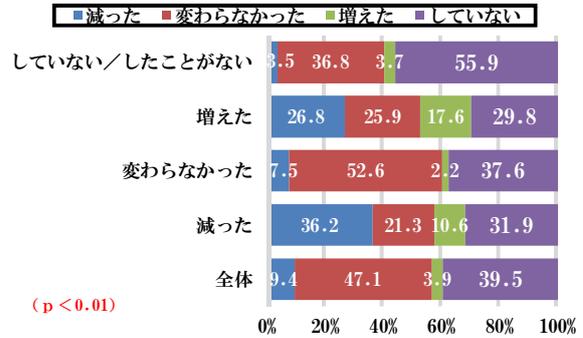


図32. (自粛下)自慰行為の頻度の変化とセックス頻度の変化(男性)(%)

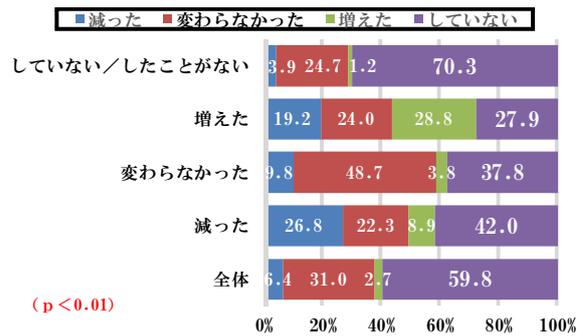
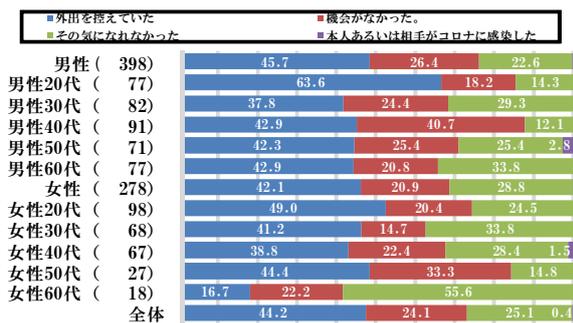


図33. (自粛下)自慰行為の頻度の変化とセックス頻度の変化(女性)(%)

女性については、さらに、その傾向が顕著に現れている(図33)。全体としては、減ったが増えたの2.4倍だが、自慰行為が増えた女性ではセックス頻度も増えているし、自慰行為が減ったと回答した女性では、セックス頻度も大幅に減少していることがわかった。結局、コロナ禍における自粛が求められても、性的行動が活発な人は活発に、消極的な人は自慰もセックスも減少していることになる。

24) セックスの頻度が変化した理由とは(図34)  
セックスの頻度が以前に比べて変化した

理由として一番に挙げられるのは、「外出を控えていたから」(男性45.7%、女性42.1%)。次いで、男性では「機会がなかった」(26.4%)、「その気になれなかった」(22.6%)、女性の場合、「その気になれなかった」(28.8%)、「機会がなかった」(20.9%)となっている。「外出を控えていた」との回答は、20代男性では63.6%、女性でも49.0%と他の年代に比べて著しく高く、「機会がなかった」までも加えると、男性では72.1%、女性でも63.0%と高率となっている。結局「会うチャンスがなかったから」がセックス頻度が変化した理由として上位に挙げられることがわかった。「その気になれなかった」との回答も、男女ともに目立っている。僅かではあるが、「本人あるいは相手が新型コロナウイルスに感染した」の回答もあった。



Q25 その理由に一番近いのはどれですか。(SA)  
【ベース：セックス頻度が減った方】

図34. 自肅下におけるセックス頻度低下の理由(%)

25) この時期に、パートナー(恋人や結婚相手)以外の人とのセックスがあったか(浮気、不倫、性風俗の利用を含む)(図35)



Q26 この時期に、パートナー(恋人や結婚相手)以外の人とセックスをしましたか。(浮気、不倫、性風俗の利用を含む)(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬~5月下旬)になります  
【ベース：セックス経験者】

図35. 自肅下、パートナー以外とのセックスの有無(%)

この時期に、パートナー以外とのセックスがあったかを聞いた。男性の83.2%、女性の91.9%が「していない」と回答するも、男性の16.8%、女性では8.1%が「あった」と回答。男女ともに、若い世代での割合が概して高くなっていた。

26) この時期における、避妊法は(表2)

「避妊はしなかった」の回答が男性44.3%、女性51.9%あるものの、コロナ禍以前と変わらず、「コンドーム」がダントツ、次いで「膣外射精」となっていた。

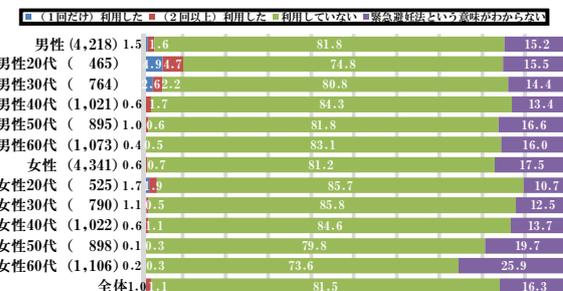
表2. 自肅下における避妊方法(%)

	コンドーム	膣外射精法(外出し)	オキノ式避妊法(月経からの日数計算)	経口避妊薬・ピル	基礎体温を測る	不妊手術(精管や卵管の手術)	避妊剤(殺菌剤、ゼリー、フィルム)	子宮内避妊具(挿入型、リングなど)	膣内避妊具(挿入型、リングなど)	その他	避妊しなかった
全体	31.0	7.4	0.3	1.1	0.6	0.1	0.1	0.2	0.2	10.8	48.1
男性(4,218)	38.2	8.1	0.4	0.6	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	7.4	44.3
男性20代(465)	63.2	8.4	0.4	1.1	1.5	0.4	0.2	0.0	0.6	2.6	21.5
男性30代(764)	47.0	9.3	0.9	1.0	0.0	0.1	0.3	0.3	0.3	3.8	37.0
男性40代(1,021)	43.8	8.6	0.3	0.8	0.1	0.1	0.3	0.2	0.1	6.3	39.5
男性50代(895)	32.5	9.2	0.3	0.4	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	9.2	47.8
男性60代(1,073)	20.4	5.9	0.2	0.2	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	11.6	61.1
女性(4,341)	24.0	6.7	0.3	1.6	0.8	0.0	0.0	0.2	0.3	14.2	51.9
女性20代(525)	54.7	10.9	0.2	5.7	0.4	0.0	0.0	0.4	0.2	3.8	23.8
女性30代(790)	38.6	10.3	0.6	2.7	1.6	0.1	0.0	0.3	0.4	5.9	39.2
女性40代(1,022)	25.3	9.4	0.5	1.4	1.3	0.0	0.0	0.2	0.2	13.4	48.2
女性50代(898)	13.5	4.6	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	16.8	63.6
女性60代(1,106)	6.3	1.3	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	23.0	67.3

Q27 この時期のセックスに際しての主な避妊方法は次のうちどれでしたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬~5月下旬)になります  
【ベース：セックス経験者】

27) この時期のセックスで、コンドームが破れた、外れた、レイプされたなどで、性交後72時間以内に対処する最後の避妊法(緊急避妊法)を本人または相手が利用したか(図36)

男性では3.1%、女性の1.3%が「利用した」と回答。特に、20代の男性での9.6%が目立ち、複数回も4.7%を数えている。



Q28 この時期のセックスで、コンドームが破れた、外れた、レイプされたなどで、性交後72時間以内に対処する最後の避妊法(緊急避妊法)を本人または相手が利用しましたか。(SA)  
※この時期とは「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬~5月下旬)になります  
【ベース：セックス経験者】

図36. 自肅下における緊急避妊法利用の有無(%)

28) この時期に、妊娠を経験したか (図37)

この時期に妊娠を経験したとの回答が、男女ともにそれぞれ3.2%あった。割合が高いのは、20代の男性(8.8%)、女性(10.7%)、30代男性6.5%、女性6.1%。50代、60代女性で妊娠「あり」が僅かにみられるが、これが誤った回答なのか否について判断できていない。

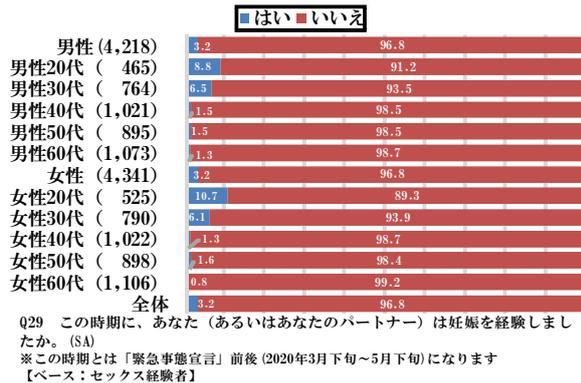


図37. 自肅下における妊娠経験の有無(%)

29) この時期に、妊娠がわかった後の行動は (図38)

この時期に、妊娠が判明した後に、どのような行動をとったかについて聞いた。男性では87.2%が、女性の91.4%が「妊娠を継続した」と回答。その一方で、「人工妊娠中絶した」と回答した女性についてみると、20代では8.9%、30代0%、40代23.1%という結果だった。50代、60代については回答の誤りか否かなど判断できていない。



図38. 自肅下、妊娠判明後の行動(%)

30) この時期での、中絶の理由 (表3)

この時期に中絶が行われたと回答したのは、男女合わせて29人であった。男性で一番多かったのは、「パートナーに勧められた」35.3%、女性では「自身(あなたのパートナー)の体調を考慮して」25.0%であった。「新型コロナウイルス流行と子供への影響が心配だった」は全体では10.3%いたが、僅かとはいえ、男性の不安が女性より多かった。

表3. 自肅下、中絶が行われた理由(3つまで選択)(%)

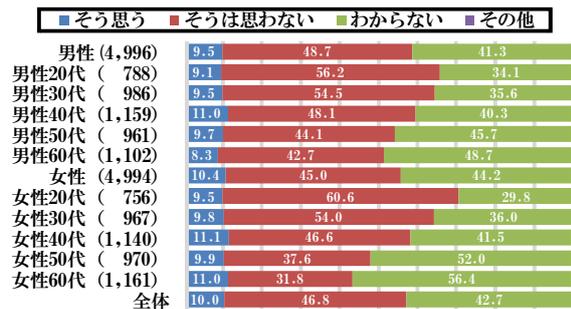
	パートナーに勧められた	親や親族に勧められた	友人に勧められた	新型コロナウイルス流行と子供への影響が心配だった	経済的に	自身(あなたのパートナー)の体調を考慮して	その他
全体	27.6	20.7	6.9	10.3	20.7	24.1	6.9
男性(17)	35.3	23.5	5.9	11.8	23.5	23.5	5.9
男性20代(9)	44.4	22.2	0.0	11.1	33.3	22.2	11.1
男性30代(3)	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
男性40代(3)	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0
男性50代(1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性60代(1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
女性(12)	16.7	16.7	8.3	8.3	16.7	25.0	8.3
女性20代(5)	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0
女性30代(0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性40代(3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
女性50代(2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
女性60代(2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

Q31 中絶の理由で近いものを3つまで選んでください。(MA)  
【ベース:人工妊娠中絶経験者(本人またはパートナー)】

31) 不妊治療は不要・不急かの意見 (図39)

日本生殖医学会が、2020年4月1日、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、治療の延期を選択肢として患者に示すことを推奨する声明を公表した。「妊婦の感染リスクが高いとはいえない」とする一方、「妊娠が成立した後の新型コロナウイルス感染の対応に苦慮することが予想される」との見解を示した。声明は治療の延期を強制する内容ではなかったが、不妊治療を行っている患者には、年齢の高い方が多いこともあって、混乱が起こった。その後、5月18日に不妊治療の再開を考慮すべきとの声明を出したものの、不妊治療は不要・不急かが話題になっている。

本調査では、「わからない」が男性の41.3%、女性で44.2%いるものの、「そう思う」は「そうは思わない」の5分の1程度。自由記載などをみても、この機会を逃すと益々妊娠が難しくなるとの回答が目立っている。



Q32 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、不妊治療で通院することは、「不要不急」であるという意見がありました。これについて、あなたの気持ちに近いものを選んでください。(SA)

図39. 自粛下における不妊治療通院の不要不急意識(%)

### 3. クロス集計の結果

コロナ禍で自粛を余儀なくされた時期(2020年3月下旬から5月下旬)を振り返って、「性別」「その時期の心境(充実していたか、充実していなかったか)」「暴力があったかなかったか」「暴力は誰からあったか」「暴力は増えたか減ったか」「セックス回数増えたか減ったか」の6項目に分けて、性別で各種要因との全クロス集計を試みた。統計解析に当たっては、極力2×2の $\chi^2$ 検定を使った。要因分析に際しては、「減った」「変わらない」「増えた」などについては、「減った」と「増えた」との関係を検討した。

#### 1) 性別でみたクロス集計結果(表4)

男性が女性を上回っていたのは、「未婚」「子どもはいない」「勤め人、自営業、学生」「高校卒以上」「昨年の年収が400万円以上」「セックス経験なし」「パートナー(配偶者・恋人など)いない」「自粛下、在宅勤務した」「自粛下、休業しなかった」「自粛下、パートナー(配偶者・恋人など)いなかった」「自粛下、パートナーとの関係は良好だった」「自粛下、パートナーに対して自分が暴力を振るってしまった」「自粛下、自慰の頻度増えた」「自粛下、パートナー以外とのセックスした」「自粛下の避妊法は(コンドームや膈外射精法(外出し)などを含む)男性避妊法」「自粛下、緊急避妊法を利用した」「自粛下、不妊治療は不要不急だと思わない、」などであった。

#### 2) コロナ禍における心境(充実していたか、充実していなかったか)のクロス集計結果(表5)

「最初の緊急事態宣言前後(2020年3月下旬～5月下旬)におけるあなたの心境について最も近いもの」を選んでもらった。「充実していた」(充実していた+やや充実していた)が男性の37.2%(女性38.6%)、「充実していなかった」(やや充実していなかった+充実していなかった)が男性では62.8%(女性61.4%)という結果であり、男女間での統計的な有意差は認められない。

「充実していた」「充実していなかった」の2群で性別に各種要因とのクロス集計を求めた結果は表の通りであるが、自粛下でも「充実していた」と回答した男性の背景を見ると、「初婚・再婚以上」「子どもがいる」「学生」「高校卒以上」「昨年の年収400万円以上」「セックスの経験あり」「パートナー(配偶者・恋人など)いる」「自粛下、自宅で過ごす時間が減った」「自粛下、在宅勤務した」「自粛下、休日の頻度が減った」「自粛下、収入が増えた」「自粛下、パートナー(配偶者・恋人など)がいた」「自粛下、パートナーとの関係が良好だった」「自粛下、子どもを預ける場所があった」「自粛下、結婚した」「自粛下、離婚した」「自粛下、運動習慣が増えた」「自粛下、喫煙量が減った」「自粛下、パートナー間での暴力があった」「自粛下、パートナー間での暴力の頻度が減った」「自粛下、セックスの回数は増えた」「自粛下、パートナー以外とのセックスがあった」「自粛下、緊急避妊利用した」「自粛下、妊娠した」「年齢が20歳代・30歳代」「自粛下、不妊治療は不要不急だと思う」など。

一方、「充実していた」と回答した女性の背景をみると、「初婚・再婚以上」「夫婦共に就労」「学生」「昨年の年収400万円以上」「セックスの経験ある」「パートナー(配偶者・恋人など)いる」「自粛下、自宅で過ごす時間が減った」「自粛下、在宅勤務経験した」「自粛下、収入が増えた」「自粛下、パート

ナー（配偶者・恋人など）がいた」「自粛下、パートナーとの関係は良好だった」「自粛下、結婚した」「自粛下、離婚した」「自粛下、運動習慣増えた」「自粛下、喫煙量減った」「自粛下、相手に暴力を振るった」「自粛下、セックスの回数増えた」「自粛下、パートナー以外とのセックスがあった」「自粛下、緊急避妊を利用した」「自粛下、妊娠した」「年齢20歳代・30歳代」など。

自粛下であっても「充実していた」と回答した者についてみると、男女ともに目立つのは、「パートナーの存在」であった。「未婚」よりも「既婚」であること、「パートナーがいること」、さらに「自粛下でもパートナーがいた」「パートナーとの関係が良好であること」「自粛下、セックスの回数が増えたこと」「自粛下、パートナー以外とセックスした」などに共通しているのは、自粛下であっても孤立していなかったというのが「充実」に繋がったのではないだろうか。女性は有意差がなかったが、男性では「子供がいる」がさらに加わっている。「学生」「年齢が20歳代・30歳代」というように若い世代が「充実していた」と回答する一方で、「昨年の年収が400万円以上」「自粛下、収入が増えた」などは多少矛盾しているかのような印象がある。また、在宅勤務は自宅で過ごす時間が増えることになるが、男女ともに「自粛下、自宅で過ごす時間が減った」と「在宅勤務した」との回答があり、これをどう捉えたらいいのだろうか。

### 3) 「自粛下、パートナー間の暴力があったか、なかったか」のクロス集計結果（表6）

「自粛下、パートナー間の暴力があった」と回答した男性は4.3%、女性は3.8%。自粛下における暴力については、世界的にも注目されている。「あった」には「相手から振るわれた」（男性38.2%、女性65.6%）、「相手に対して自分が振るった」（男性34.1%、女性16.0%）、「お互いに振るった」（男性27.6%、女性18.4%）とあるように、決して男性から

女性への暴力に留まるものではないが、わが国において「あった」と回答した男女の背景に何が潜んでいるのかを全クロス集計を試みた。

男性で統計的に有意な差が認められたのは、「学生」が他の職種を圧倒している。「自粛下の心境として、充実していた」「自粛下、自宅で過ごす時間が減った」「在宅勤務をした」「自粛下、休日の頻度が減った」「自粛下、失業した」「自粛下、休業した」「自粛下、パートナーとの関係が悪くなった」「自粛下、結婚した」「自粛下、離婚した」「自粛下、パートナー以外とのセックスがあった」「自粛下、（経口避妊薬・ピルや基礎体温を測るなどの）女性避妊法が使われた」「自粛下、緊急避妊を利用した」「自粛下、妊娠した」「自粛下、人工妊娠中絶を受けた」「年齢は20歳代・30歳代」「自粛下、不妊治療は不要不急だと思う」などであった。

一方、女性については、「セックス経験がない」「自粛下、自宅で過ごす時間が減った」「自粛下、在宅勤務をした」「自粛下、休業した」「自粛下、パートナーとの関係が悪くなった」「自粛下、結婚した」「自粛下、離婚した」「自粛下、喫煙量が減った」「自粛下、セックスが増えた」「自粛下、パートナー以外とのセックスがあった」「自粛下、女性避妊法が使われた」「自粛下、緊急避妊を利用した」「自粛下、妊娠した」「自粛下、人工妊娠中絶を受けた」「年齢は20歳代・30歳代」「自粛下、不妊治療は不要不急だと思う」。

自粛下、暴力が起こる原因としては、在宅勤務などによって家族と過ごす時間が増えたことにあるのではないかとということが話題になることが多い。今回の調査では、男女ともに、「在宅勤務をした」がパートナー間の暴力と有意に関係しているが、その一方、「自宅で過ごす時間が減った」が共通している点をどう関係づけたらいいのだろうか。「在宅勤務の有無」と「自宅で過ごす時間」のクロス集計結果によれば（図40）、自粛下、新たに在宅勤務が始まったと回答した

ものは、男女共に、自宅で過ごす時間が「増えた」と回答していることから、「在宅勤務があった」と「自宅で過ごす時間が減った」というのは別次元のことで捉えることができるのではないだろうか。自宅で過ごす時間が「減った」という少数の男女の場合、それがストレスとなって「暴力があった」との回答になったとも考えられる。

「自宅で過ごす時間が減った」と合わせて「休日の頻度が減った」「失業した」「休業した」「離婚した」「パートナー以外とのセックスがあった」「人工妊娠中絶を受けた」などが「暴力があった」と関係しているのは、どちらが引き金となったかは明らかではないが、十分想定されることである。その一方で、「充実していた」「結婚した」「妊娠した」については、暴力とは無縁のように思われるが、暴力があっても「好き」のような共依存関係にあるなどということがないだろうか。

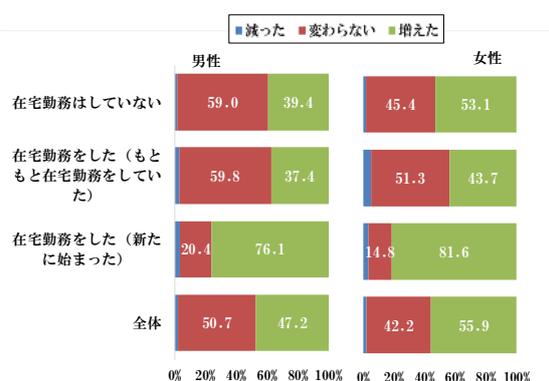


図40. 「在宅勤務の有無」と「自宅で過ごす時間」との関係 (%)

#### 4) 自粛下におけるパートナー間での暴力の増減のクロス集計結果 (表7)

自粛下においてパートナー間での暴力が増えたか、減ったかについてのクロス集計を試みた。

男性では、「増えた」と回答した背景には、「自粛下、自宅で過ごす時間が増えた」「自粛下、充実していなかった」「自粛下、休日の頻度が増えた」「自粛下、パートナーとの関係が悪くなった」「自粛下、飲酒量が増え

た」「自粛下、自慰の頻度が増えた」「自粛下、セックスの回数が増えた」などで有意差を認めた。自宅での時間が増え、飲酒量が増えた結果として暴力が増えたというのは想像に難くない。因果関係ははっきりしないが、性的に活発な傾向を認めている。

一方、女性について暴力が増えたのは、「自粛下、自宅で過ごす時間が増えた」「自粛下、パートナーとの関係が悪くなった」「自粛下、飲酒量が増えた」「自粛下、緊急避妊を利用していない」「40歳代」「60歳代」。男性と共通しているのが、自宅で過ごす時間が増え、関係が悪くなり、飲酒量が増えたなど暴力が起こる背景が見える。

#### 5) 自粛下の暴力、どちらから振るったかについてのクロス集計結果 (表8)

自粛が増えた下における暴力が「あった」と回答したのは男性の4.3%、女性では3.8%。とはいえ、具体的に暴力はどちらからだったのだろうか。男性の場合、「相手から振るわれた」が38.2%、「相手に対して自分が振るった」34.1%、「お互い振るった」27.6%で、女性についてはそれぞれ65.6%、16.0%、18.4%であった。「相手から振るわれた」が女性に多いとはいえ、「相手に対して自分が振るった」も女性の16.0%となっている、その背景を探った。

「相手に対して自分が暴力を振るった」と回答した男性についてみると、「自粛下、飲酒量が増えた」「自粛下、セックスの回数が増えた」が目立っていた。暴力を振るう引き金になっているのが、過度な飲酒であったり、セックスであったりするのだろうか。一方で、女性では、「相手に対して自分が振るった」でみると、「セックスの経験がない」「自粛下、充実していた」「自粛下、在宅勤務をした」「自粛下、失業した」「自粛下、結婚した」「自粛下、離婚した」「自粛下、緊急避妊を利用した」「自粛下、妊娠した」「20歳代・30歳代」が多い。暴力が、必ずしも強者から弱者に向けられるとは限らないが、同

様に、明確な理由があって暴力が起こるとは限らないとも言える。

「お互いに振るった」では、男性の場合、数は少ないが、「学生」「セックスの経験がない」「自粛下、自慰の頻度が増えた」「20歳代」で、女性は「セックスの経験がない」「在宅勤務をした」「自粛下、パートナーとの関係は良好だった」「自粛下、結婚した」「20歳代・30歳代」が有意に多かった。

#### 6) 自粛下におけるセックス回数についてのクロス集計結果 (表9)

自粛下におけるセックス回数については、「減った」「変わらなかった」「増えた」「していない」を選択肢として聞いているが、ここでは、「減った」「増えた」に着目し、その背景を探った。男女ともに、「減った」と「増えた」の関係は7:3で「減った」が2倍を超えている。

統計的に有意を示したのは、男性で「セックスが減った」と回答したのが、「パートナー(配偶者・恋人など)がいない」「自粛下、充実していなかった」「自粛下、在宅勤務していなかった」「自粛下、パートナーとの関係は悪くなった」「自粛下、子どもと過ごす時間が減った」「自粛下、運動習慣は減った」「自粛下、喫煙量が減った」「自粛下、暴力、相手から振るわれた」「自粛下、パートナー間での暴力が減った」「自粛下、自慰の頻度が減った」「自粛下、パートナー以外とのセックスはしていない」「自粛下、主な避妊法は男性避妊法」「50歳代、60歳代」など。一方、「増えた」は、「自粛下、充実していた」「自粛下、在宅勤務をした」「自粛下、パートナーとの関係が良好だった」「自粛下、子どもと過ごす時間が増えた」「自粛下、結婚した」「自粛下、運動習慣が増えた」「自粛下、喫煙量が増えた」「自粛下の暴力、相手に振るった・お互いに振るった」「自粛下、パートナー間での暴力が増えた」「自粛下、自慰の頻度が増えた」「自粛下、パートナー以外とのセックスをした」「自粛下、主な避妊法

は女性避妊法」「自粛下、緊急避妊を利用した」などが目立っている。セックスの頻度が減ったから自慰の頻度が増えたとはならず、性的に消極的な男性ではセックスも自慰も減るという結果となっている。避妊法については、女性避妊法、おそらくピルやIUD/IUSなどであろうが、セックスが増えたと回答した男性では、有意にその割合が高かったのが興味深い。相手との関係は良好だった、子どもと過ごす時間が増えた、在宅勤務した、充実していた、自粛下結婚したなど、充実した生活を送っていた男性ほどセックス回数が増えたというのも重要な点ではないだろうか。

それでは女性についてはどうだろうか。セックスが「減った」と回答した女性の背景を見てみよう。「未婚」「子供はいない」「パートナー(配偶者・恋人など)がいない」「自粛下、充実していなかった」「自粛下、自宅で過ごす時間が増えた」「自粛下、子どもと過ごす時間が減った」「自粛下、結婚しなかった」「自粛下、飲酒が減った」「自粛下、パートナー間の暴力はなかった」「自粛下、自慰の頻度は減った」「自粛下、パートナー以外とのセックスしていない」「自粛下、緊急避妊を利用していない」など。「増えた」のは、これらの逆ではあるが、「初婚・再婚以上」「子どもはいる」「パートナー(配偶者・恋人など)がいる」「自粛下、在宅勤務した」「自粛下、子どもと過ごす時間が増えた」「自粛下、子どもを預ける場所がなかった」「自粛下、結婚した」「自粛下、飲酒量が増えた」「自粛下、パートナー間での暴力行為があった」「自粛下、自慰が増えた」「自粛下、パートナー以外とのセックスがあった」「自粛下、緊急避妊を利用した」「自粛下、妊娠した」などであった。男性と同様で、自粛下であっても、生活が充実していた女性がセックス回数が増えているが、自慰も同様に増えており、性的な活発な男女は、自慰もセックスも増えることになるようだ。

7) 自粛下において収入が増えた人、減った人の背景とは

新型コロナウイルス自粛下において、収入が「変わらなかった」のは男女ともに7割を超えているが、「減った」の割合が高く、コロナ禍に経済的問題を抱えた国民が少なくないことは、前述した通りである。どのような背景にある人が「増えたのか」「減ったのか」と考えてみたい。

「減った」で、統計的に有意な差を示したのは、「子供がいる」「自営業」「昨年の年収が400万円未満」「セックス経験がある」「自粛下、充実していなかった」「自粛下、自宅で過ごす時間が増えた」「自粛下、休日の頻度が増えた」「自粛下、失業した」「自粛下、休業した」「自粛下、パートナーがいた」「自粛下、経済的な暴力があった」「自粛下、セックスの頻度が減った」「自粛下、パートナー以外とのセックスをしてない」「自粛下、緊急避妊を利用していない」「自粛下、妊娠していない」「年齢が40～69歳」など。

#### D. 考察

COVID-19についても、ワクチン接種がスタートしたとはいえ、供給不足もあって、全国民に対する接種が完了するのがいつになるのか皆目わかっていない。そのような中で、COVID-19の第4波、第5波などによって、今後も緊急事態宣言が発令される可能性すら否定できない。あるいは、COVID-19が収束してもなお、想定外の人災や自然災害などのために自粛を余儀なくされることもあり得る。その際、今回の調査研究の成果を活かせるようにすることが極めて重要であることは今更言うまでもない。

#### E. 結論

この調査結果を踏まえて、COVID-19の感染拡大にとどまらず、今後、人災あるいは天災などによって自粛を余儀なくされる事態が発生した際に、どのような取り組みが必要かについて、政策への提言をまとめた。

1. 今後、自粛を余儀なくされる事態が起こった際にも、充実した生活を送れるようにするためには、ある程度の収入の確保と、人と人とを分断させない、孤立させない施策が求められる。
2. 感染拡大を防ぐために人流を止めることが不可欠であることは今更言うまでもないが、先の見えない自粛要請に国民は疲弊し始めてはいないだろうか。ワクチンの供給を確保し、接種機会を増やし、集団免疫の獲得を急ぐことが重要である。それによって、人と人との繋がりを大切にすることが「充実した生活」に向けた第一歩ではないだろうか。
3. コロナ禍の自粛によって暴力が増えていなかったとの結果が出ているが、これは元々あったパートナー間での暴力が、「自宅で過ごす時間が増えた」「休日が増えた」などによって顕在化した可能性が考えられる。しかし、暴力が在宅勤務というよりも、失業・休業・収入減少などが引き金になっていることもあるので、これらを考慮した対策が求められる。

#### F. 健康危険情報

特になし

#### G. 研究発表（予定を含む）

1. 論文発表
  - ・日本家族計画協会機関紙「家族と健康」での研究成果報告
  - ・東京都医師会機関紙での研究成果報告
  - ・JASE「現代性教育ジャーナル」
2. 学会などでの報告・発表
  - ・日本産婦人科医会主催 記者懇談会（5月12日）WEB
  - ・国際人口問題議員懇談会（JFPF）勉強会、衆議院議員会館（5月12日）
  - ・日本家族計画協会主催「指導者のための避妊と性感染症予防セミナー（Sexual Reproductive Health Seminar）2021年度にお

いて全国8会場

- ・日本産婦人科医会主催：性教育指導セミナー全国大会（沖縄）7月 WEB

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

F. 知的財産権の出願・登録状況

表4-1. 男女別クロス集計

		性別			
		合計	男性	女性	p値 判定
結婚の有無と形態	全体	9,990	4,996	4,994	
	未婚	3,822	58.0	42.0	0.000 [**]
夫婦の就労状況	初婚・再婚以上	5,433	46.5	53.5	
	夫婦共に就労	2,867	51.5	48.5	0.000 [**]
	夫のみ就労	2,234	39.1	60.9	
子どもの有無	妻のみ就労	332	52.4	47.6	
	子供はいない	5,297	53.4	46.6	0.000 [**]
あなたの職業	子供がいる	4,693	46.1	53.9	
	勤め人	6,305	56.7	43.3	0.000 [**]
	自営業	756	69.8	30.2	
	学生	269	58.7	41.3	
あなたの最終学歴	その他	2,660	27.5	72.5	
	高校卒まで	3,219	45.8	54.2	0.000 [**]
	高校卒以上	6,771	52.0	48.0	
あなたの昨年の年収（万円）	400万未満	6,999	38.2	61.8	0.000 [**]
	400～800万未満	2,309	75.9	24.1	
	800万円以上	682	83.4	16.6	
セックスの経験の有無	ある	8,559	49.3	50.7	0.000 [**]
	ない	1,431	54.4	45.6	
パートナー（配偶者・恋人など）がいるか？	いる	6,444	46.6	53.4	0.000 [**]
	いない	3,546	56.1	43.9	
自肅下、あなたの心境に最も近いのは？	充実していた	3,789	49.1	50.9	0.150 [ ]
	充実していなかった	6,201	50.6	49.4	
自肅下、自宅で過ごす時間は変わったか？	減った	203	52.2	47.8	0.072 [ ]
	増えた	5,151	45.8	54.2	
自肅下、在宅勤務経験の有無	在宅勤務した	2,415	64.8	35.2	0.000 [**]
	在宅勤務しなかった	7,575	45.3	54.7	
自肅下、休日の頻度は？	減った	319	48.3	51.7	0.678 [ ]
	増えた	1,723	47.0	53.0	
自肅下、失業したか？	した	428	50.0	50.0	0.997 [ ]
	しなかった	9,562	50.0	50.0	

表4-2. 男女別クロス集計

		性別			
		合計	男性	女性	p値 判定
自肅下、休業したか？	全体	9,990	4,996	4,994	
	した	1,250	46.1	53.9	0.003 [**]
自肅下、収入は変わったか？	しなかった	8,740	50.6	49.4	
	減った	2,356	52.8	47.2	0.838 [ ]
自肅下、パートナーはいたか？	増えた	256	53.5	46.5	
	いた	6,155	46.3	53.7	0.000 [**]
自肅下、パートナーとの関係は？	いかなかった	3,835	56.0	44.0	
	良好だった	2,240	47.8	52.2	0.001 [**]
自肅下、子どもと過ごす時間は？	悪くなった	514	39.3	60.7	
	減った	346	39.6	60.4	0.210 [ ]
自肅下、子どもを預ける場所はあったか？	増えた	1,382	36.0	64.0	
	あった	555	49.4	50.6	0.926 [ ]
自肅下、結婚したか？	なかった	670	49.1	50.9	
	した	237	49.4	50.6	0.841 [ ]
自肅下、離婚したか？	しなかった	9,753	50.0	50.0	
	した	73	58.9	41.1	0.127 [ ]
自肅下、運動習慣は変わったか？	しなかった	9,917	49.9	50.1	
	減った	622	57.7	42.3	0.877 [ ]
自肅下、飲酒量は変わったか？	増えた	956	57.3	42.7	
	減った	161	65.8	34.2	0.409 [ ]
自肅下、喫煙量は変わったか？	増えた	412	62.1	37.9	
	減った	248	49.6	50.4	0.284 [ ]
自肅下、パートナーとの間での暴力行為は？	増えた	5,907	46.1	53.9	
	暴力あった	76	50.0	50.0	0.372 [ ]
自肅下、暴力行為の種類は、いくつでも	なかった	65	58.5	41.5	
	身体的な暴力	113	44.2	55.8	
	性的な暴力	38	57.9	42.1	
	精神的な暴力	56	50.0	50.0	
	経済的な暴力	1,250	46.1	53.9	0.003 [**]
	社会的な暴力	8,740	50.6	49.4	

表4-3. 男女別クロス集計

		性別			
		合計	男性	女性	p値 判定
自肅下、暴力はどちらから？	全体	9,990	4,996	4,994	
	パートナーから振られた	129	36.4	63.6	0.000 [**]
	パートナーに対して自分が振るってしまった	62	67.7	32.3	
自肅下、パートナー間での暴力行為の頻度は？	お互いに振るった	57	59.6	40.4	
	減った	66	57.6	42.4	0.139 [ ]
自肅下、自慰の頻度は？	増えた	44	43.2	56.8	
	減った	289	54.7	45.3	0.000 [**]
自肅下、セックスの回数？	増えた	533	77.5	22.5	
	減った	676	58.9	41.1	0.856 [ ]
自肅下、パートナー以外とのセックスの有無	増えた	285	58.2	41.8	
	していない	7,500	46.8	53.2	0.000 [**]
自肅下、主な避妊法の種類	した	1,059	66.8	33.2	
	女性避妊法	213	35.2	64.8	0.000 [**]
自肅下、緊急避妊を利用したか？	男性避妊法	3,288	59.4	40.6	
	利用した	186	68.8	31.2	0.000 [**]
自肅下、妊娠したか？	利用していない	6,974	49.5	50.5	
	はい	273	48.7	51.3	0.850 [ ]
自肅下、妊娠の結末は？	いいえ	8,286	49.3	50.7	
	妊娠を継続した	244	47.5	52.5	0.259 [ ]
	人工妊娠中絶した	29	58.6	41.4	

表4-4. 男女別クロス集計

		性別			
		合計	男性	女性	p値 判定
自肅下、中絶をした理由を3つまで	全体	9,990	4,996	4,994	
	パートナーに勧められた	8	75.0	25.0	0.987 [ ]
年齢	親や親族に勧められた	6	66.7	33.3	
	友人に勧められた	2	50.0	50.0	
	コロナウイルス流行と子供への影響が心配だった	3	66.7	33.3	
	経済的に	6	66.7	33.3	
	自身（あなたのパートナー）の体調を考慮して	7	57.1	42.9	
	その他	2	50.0	50.0	
年齢	20歳代	1,544	51.0	49.0	0.630 [ ]
	30歳代	1,953	50.5	49.5	
年齢	40歳代	2,299	50.4	49.6	
	50歳代	1,931	49.8	50.2	
	60歳代	2,263	48.7	51.3	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	20歳代・30歳代	3,497	50.7	49.3	0.291 [ ]
	40～69歳	6,493	49.6	50.4	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	995	47.9	52.1	0.003 [**]
	そうは思わない	4,678	52.0	48.0	
	わからない	4,268	48.3	51.7	
	その他	49	46.9	53.1	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	995	47.9	52.1	0.020 [ * ]
	そうは思わない	4,678	52.0	48.0	

表5-1. 自肅下の心境と各種要因との関係(男性)

		自肅下におけるあなたの心境			p値	判定
		合計	充実していた	充実していなかった		
結婚の有無と形態	全体	4,996	37.2	62.8		
	未婚	2,215	33.4	66.6	0.000	[**]
夫婦の就労状況	初婚・再婚以上	2,524	41.2	58.8		
	夫婦共に就労	1,476	41.3	58.7	0.555	[ ]
	夫のみ就労	874	41.8	58.2		
子どもの有無	妻のみ就労	174	37.4	62.6		
	子供はいない	2,831	34.8	65.2	0.000	[**]
あなたの職業	子供がいる	2,165	40.4	59.6		
	勤め人	3,578	38.4	61.6	0.000	[**]
	自営業	528	37.1	62.9		
	学生	158	43.0	57.0		
あなたの最終学歴	その他	732	30.2	69.8		
	高校卒まで	1,474	34.4	65.6	0.007	[**]
あなたの昨年の年収(万円)	高校卒以上	3,522	38.4	61.6		
	400万未満	2,674	34.3	65.7	0.000	[**]
	400~800万未満	1,753	39.8	60.2		
セックスの経験の有無	800万円以上	569	43.1	56.9		
	ある	4,218	38.2	61.8	0.001	[**]
パートナー(配偶者・恋人など)がいるか?	ない	778	31.7	68.3		
	いる	3,006	42.1	57.9	0.000	[**]
自肅下、あなたの心境に最も近いのは?	いない	1,990	29.8	70.2		
	充実していた	1,860	100.0	0.0	0.000	[**]
自肅下、自宅で過ごす時間は変わったか?	充実していなかった	3,136	0.0	100.0		
	減った	106	53.8	46.2	0.000	[**]
	増えた	2,359	28.0	72.0		
自肅下、在宅勤務経験の有無	在宅勤務した	1,566	42.3	57.7	0.000	[**]
	在宅勤務しなかった	3,430	34.9	65.1		
自肅下、休日の頻度は?	減った	154	40.3	59.7	0.017	[* ]
	増えた	810	30.5	69.5		
自肅下、失業したか?	した	214	41.6	58.4	0.178	[ ]
	しなかった	4,782	37.0	63.0		

表5-2. 自肅下の心境と各種要因との関係(女性)

		自肅下におけるあなたの心境			p値	判定
		合計	充実していた	充実していなかった		
結婚の有無と形態	全体	4,994	38.6	61.4		
	未婚	1,607	36.0	64.0	0.006	[**]
夫婦の就労状況	初婚・再婚以上	2,909	40.2	59.8		
	夫婦共に就労	1,391	43.1	56.9	0.009	[**]
	夫のみ就労	1,360	37.6	62.4		
子どもの有無	妻のみ就労	158	36.7	63.3		
	子供はいない	2,466	38.0	62.0	0.337	[ ]
あなたの職業	子供がいる	2,528	39.3	60.7		
	勤め人	2,727	40.1	59.9	0.002	[**]
	自営業	228	39.9	60.1		
	学生	111	49.5	50.5		
あなたの最終学歴	その他	1,928	35.8	64.2		
	高校卒まで	1,745	38.7	61.3	0.904	[ ]
あなたの昨年の年収(万円)	高校卒以上	3,249	38.6	61.4		
	400万未満	4,325	37.9	62.1	0.003	[**]
	400~800万未満	556	41.4	58.6		
セックスの経験の有無	800万円以上	113	52.2	47.8		
	ある	4,341	39.6	60.4	0.001	[**]
パートナー(配偶者・恋人など)がいるか?	ない	653	32.5	67.5		
	いる	3,438	40.9	59.1	0.000	[**]
自肅下、あなたの心境に最も近いのは?	いない	1,556	33.6	66.4		
	充実していた	1,929	100.0	0.0	0.000	[**]
自肅下、自宅で過ごす時間は変わったか?	充実していなかった	3,065	0.0	100.0		
	減った	97	52.6	47.4	0.000	[**]
	増えた	2,792	30.8	69.2		
自肅下、在宅勤務経験の有無	在宅勤務した	849	43.2	56.8	0.003	[**]
	在宅勤務しなかった	4,145	37.7	62.3		
自肅下、休日の頻度は?	減った	165	32.7	67.3	0.370	[ ]
	増えた	913	36.4	63.6		
自肅下、失業したか?	した	214	34.1	65.9	0.166	[ ]
	しなかった	4,780	38.8	61.2		

表5-3. 自肅下の心境と各種要因との関係(男性)

		自肅下におけるあなたの心境			p値	判定
		合計	充実していた	充実していなかった		
自肅下、休業したか?	全体	4,996	37.2	62.8		
	した	576	35.1	64.9	0.254	[ ]
自肅下、収入は変わったか?	しなかった	4,420	37.5	62.5		
	減った	1,245	24.8	75.2	0.000	[**]
自肅下、パートナーはいたか?	増えた	137	40.1	59.9		
	いた	2,848	42.5	57.5	0.000	[**]
自肅下、パートナーとの関係は?	いなかった	2,148	30.3	69.7		
	良好だった	1,070	57.9	42.1	0.000	[**]
自肅下、子どもと過ごす時間は?	悪くなった	202	34.7	65.3		
	減った	137	40.9	59.1	0.340	[ ]
自肅下、子どもを預ける場所はあったか?	増えた	497	36.4	63.6		
	あった	274	49.6	50.4	0.016	[* ]
自肅下、結婚したか?	なかった	329	39.8	60.2		
	した	117	67.5	32.5	0.000	[**]
自肅下、離婚したか?	しなかった	4,879	36.5	63.5		
	した	43	79.1	20.9	0.000	[**]
自肅下、運動習慣は変わったか?	しなかった	4,953	36.9	63.1		
	減った	818	27.8	72.2	0.000	[**]
自肅下、飲酒量は変わったか?	増えた	452	45.8	54.2		
	減った	359	37.3	62.7	0.056	[ ]
自肅下、喫煙量は変わったか?	増えた	548	31.2	68.8		
	減った	106	40.6	59.4	0.037	[* ]
自肅下、パートナーとの間での暴力行為は?	増えた	256	29.3	70.7		
	暴力あった	123	61.0	39.0	0.000	[**]
自肅下、暴力行為の種類は、いくつでも	なかった	2,725	41.7	58.3		
	身体的な暴力	38	68.4	31.6	0.029	[* ]
	性的な暴力	38	86.8	13.2		
	精神的な暴力	50	56.0	44.0		
	経済的な暴力	22	68.2	31.8		
	社会的な暴力	28	57.1	42.9		

表5-4. 自肅下の心境と各種要因との関係(女性)

		自肅下におけるあなたの心境			p値	判定
		合計	充実していた	充実していなかった		
自肅下、休業したか?	全体	4,994	38.6	61.4		
	した	674	37.4	62.6	0.478	[ ]
自肅下、収入は変わったか?	しなかった	4,320	38.8	61.2		
	減った	1,111	31.4	68.6	0.000	[**]
自肅下、パートナーはいたか?	増えた	119	51.3	48.7		
	いた	3,307	40.2	59.8	0.001	[**]
自肅下、パートナーとの関係は?	いなかった	1,687	35.4	64.6		
	良好だった	1,170	56.4	43.6	0.000	[**]
自肅下、子どもと過ごす時間は?	悪くなった	312	23.7	76.3		
	減った	209	30.6	69.4	0.471	[ ]
自肅下、子どもを預ける場所はあったか?	増えた	885	33.2	66.8		
	あった	281	40.2	59.8	0.948	[ ]
自肅下、結婚したか?	なかった	341	40.5	59.5		
	した	120	60.8	39.2	0.000	[**]
自肅下、離婚したか?	しなかった	4,874	38.1	61.9		
	した	30	66.7	33.3	0.002	[**]
自肅下、運動習慣は変わったか?	しなかった	4,964	38.5	61.5		
	減った	874	31.9	68.1	0.000	[**]
自肅下、飲酒量は変わったか?	増えた	450	44.9	55.1		
	減った	263	41.1	58.9	0.149	[ ]
自肅下、喫煙量は変わったか?	増えた	408	35.5	64.5		
	減った	55	45.5	54.5	0.024	[* ]
自肅下、パートナーとの間での暴力行為は?	増えた	156	28.8	71.2		
	暴力あった	125	37.6	62.4	0.538	[ ]
自肅下、暴力行為の種類は、いくつでも	なかった	3,182	40.4	59.6		
	身体的な暴力	38	36.8	63.2	0.151	[ ]
	性的な暴力	27	48.1	51.9		
	精神的な暴力	63	28.6	71.4		
	経済的な暴力	16	12.5	87.5		
	社会的な暴力	28	35.7	64.3		

表5-5. 自肅下の心境と各種要因との関係(男性)

		自肅下におけるあなたの心境			
		合計	充実していた	充実していなかった	p値 判定
自肅下、暴力はどちらから？	全体	4,996	37.2	62.8	
	相手から振るわれた	47	59.6	40.4	0.969 [ ]
	相手に振るった	42	61.9	38.1	
	お互いに振るった	34	61.8	38.2	
自肅下、パートナー間での暴力の頻度は？	減った	38	81.6	18.4	0.022 [*]
	増えた	19	52.6	47.4	
自肅下、自慰の頻度は？	減った	158	37.3	62.7	0.508 [ ]
	増えた	413	34.4	65.6	
自肅下、セックスの回数は？	減った	398	30.7	69.3	0.000 [**]
	増えた	166	55.4	44.6	
自肅下、パートナー以外とのセックスの有無	していない	3,511	35.9	64.1	0.000 [**]
	した	707	50.1	49.9	
自肅下、主な避妊法の種類	女性避妊法	75	50.7	49.3	0.124 [ ]
	男性避妊法	1,953	41.7	58.3	
自肅下、緊急避妊を利用したか？	利用した	128	64.8	35.2	0.000 [**]
	利用していない	3,450	37.8	62.2	
自肅下、妊娠したか	はい	133	71.4	28.6	0.000 [**]
	いいえ	4,085	37.2	62.8	
自肅下、妊娠の結末は？	妊娠を継続した	116	70.7	29.3	0.622 [ ]
	人工妊娠中絶した	17	76.5	23.5	

表5-6. 自肅下の心境と各種要因との関係(女性)

		自肅下におけるあなたの心境			
		合計	充実していた	充実していなかった	p値 判定
自肅下、暴力はどちらから？	全体	4,994	38.6	61.4	
	相手から振るわれた	82	30.5	69.5	0.017 [*]
	相手に振るった	20	65.0	35.0	
	お互いに振るった	23	39.1	60.9	
自肅下、パートナー間での暴力の頻度は？	減った	28	42.9	57.1	0.610 [ ]
	増えた	25	36.0	64.0	
自肅下、自慰の頻度は？	減った	131	42.0	58.0	0.727 [ ]
	増えた	120	44.2	55.8	
自肅下、セックスの回数は？	減った	278	32.4	67.6	0.000 [**]
	増えた	119	58.8	41.2	
自肅下、パートナー以外とのセックスの有無	していない	3,989	39.0	61.0	0.007 [**]
	した	352	46.3	53.7	
自肅下、主な避妊法の種類	女性避妊法	138	45.7	54.3	0.595 [ ]
	男性避妊法	1,335	43.3	56.7	
自肅下、緊急避妊を利用したか？	利用した	58	72.4	27.6	0.000 [**]
	利用していない	3,524	39.0	61.0	
自肅下、妊娠したか	はい	140	56.4	43.6	0.000 [**]
	いいえ	4,201	39.0	61.0	
自肅下、妊娠の結末は？	妊娠を継続した	128	56.3	43.8	0.889 [ ]
	人工妊娠中絶した	12	58.3	41.7	

表5-7. 自肅下の心境と各種要因との関係(男性)

		自肅下におけるあなたの心境			
		合計	充実していた	充実していなかった	p値 判定
自肅下、中絶をした理由を3つまで	全体	4,996	37.2	62.8	
	パートナーに勧められた	6	83.3	16.7	0.238 [ ]
	親や親族に勧められた	4	100.0	0.0	
	友人に勧められた	1	0.0	100.0	
	コロナウィルス流行と子供への影響が心配だった	2	50.0	50.0	
	経済的に	4	100.0	0.0	
	自身(あなたのパートナー)の体調を考慮して	4	75.0	25.0	
年齢	その他	1	100.0	0.0	
	20歳代	788	44.0	56.0	0.000 [**]
	30歳代	986	40.5	59.5	
	40歳代	1,159	32.6	67.4	
	50歳代	961	31.3	68.7	
	60歳代	1,102	39.5	60.5	
年齢	20歳代・30歳代	1,774	42.1	57.9	0.000 [**]
	40～69歳	3,222	34.6	65.4	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	477	44.4	55.6	0.000 [**]
	そうは思わない	2,433	38.9	61.1	
	わからない	2,063	33.6	66.4	
	その他	23	30.4	69.6	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	477	44.4	55.6	0.024 [*]
	そうは思わない	2,433	38.9	61.1	

表5-8. 自肅下の心境と各種要因との関係(女性)

		自肅下におけるあなたの心境			
		合計	充実していた	充実していなかった	p値 判定
自肅下、中絶をした理由を3つまで	全体	4,994	38.6	61.4	
	パートナーに勧められた	2	100.0	0.0	0.160 [ ]
	親や親族に勧められた	2	100.0	0.0	
	友人に勧められた	1	0.0	100.0	
	コロナウィルス流行と子供への影響が心配だった	1	0.0	100.0	
	経済的に	2	100.0	0.0	
	自身(あなたのパートナー)の体調を考慮して	3	33.3	66.7	
年齢	その他	1	0.0	100.0	
	20歳代	756	46.4	53.6	0.000 [**]
	30歳代	967	39.8	60.2	
	40歳代	1,140	35.7	64.3	
	50歳代	970	35.8	64.2	
	60歳代	1,161	37.8	62.2	
年齢	20歳代・30歳代	1,723	42.7	57.3	0.000 [**]
	40～69歳	3,271	36.5	63.5	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	518	40.2	59.8	0.748 [ ]
	そうは思わない	2,245	38.9	61.1	
	わからない	2,205	37.9	62.1	
	その他	26	42.3	57.7	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	518	40.2	59.8	0.607 [ ]
	そうは思わない	2,245	38.9	61.1	

表6-1. 自肅下における暴力「あった」の背景(男性)

		自肅下、パートナー間の暴力			
		合計	あった	なかった	p値 判定
結婚の有無と形態	全体	2,848	4.3	95.7	
	未婚	383	5.7	94.3	0.133 [ ]
夫婦の就労状況	初婚・再婚以上	2,410	4.1	95.9	
	夫婦共に就労	1,406	5.1	94.9	0.008 [**]
	夫のみ就労	839	2.6	97.4	
子どもの有無	妻のみ就労	165	2.4	97.6	
	子供はいない	870	5.4	94.6	0.059 [ ]
あなたの職業	子供がいる	1,978	3.8	96.2	
	勤め人	2,232	4.6	95.4	0.003 [**]
あなたの最終学歴	自営業	293	2.4	97.6	
	学生	32	15.6	84.4	
	その他	291	3.1	96.9	
	高校卒まで	706	5.2	94.8	0.165 [ ]
あなたの昨年の年収(万円)	高校卒以上	2,142	4.0	96.0	
	400万未満	1,071	4.7	95.3	0.725 [ ]
	400~800万未満	1,305	4.2	95.8	
セックスの経験の有無	800万円以上	472	3.8	96.2	
	ある	2,805	4.2	95.8	0.105 [ ]
パートナー(配偶者・恋人など)がいるか?	ない	43	9.3	90.7	
	いる	2,804	4.2	95.8	0.117 [ ]
自肅下、あなたの心境に最も近いのは?	いない	44	9.1	90.9	
	充実していた	1,210	6.2	93.8	0.000 [**]
自肅下、自宅を過ごす時間は変わったか?	充実していない	1,638	2.9	97.1	
	減った	63	33.3	66.7	0.000 [**]
自肅下、在宅勤務経験の有無	増えた	1,449	3.2	96.8	
	在宅勤務した	1,028	7.1	92.9	0.000 [**]
自肅下、休日の頻度は?	在宅勤務しなかった	1,820	2.7	97.3	
	減った	93	20.4	79.6	0.000 [**]
自肅下、失業したか?	増えた	462	5.0	95.0	
	した	117	33.3	66.7	0.000 [**]
	しなかった	2,731	3.1	96.9	

表6-2. 自肅下における暴力「あった」の背景(女性)

		自肅下、パートナー間の暴力			
		合計	あった	なかった	p値 判定
結婚の有無と形態	全体	3,307	3.8	96.2	
	未婚	422	4.3	95.7	0.515 [ ]
夫婦の就労状況	初婚・再婚以上	2,788	3.6	96.4	
	夫婦共に就労	1,322	4.2	95.8	0.193 [ ]
	夫のみ就労	1,314	3.2	96.8	
子どもの有無	妻のみ就労	152	2.0	98.0	
	子供はいない	1,135	4.7	95.3	0.052 [ ]
あなたの職業	子供がいる	2,172	3.3	96.7	
	勤め人	1,653	4.3	95.7	0.171 [ ]
あなたの最終学歴	自営業	136	1.5	98.5	
	学生	39	0.0	100.0	
	その他	1,479	3.5	96.5	
	高校卒まで	1,132	3.9	96.1	0.816 [ ]
あなたの昨年の年収(万円)	高校卒以上	2,175	3.7	96.3	
	400万未満	2,885	3.5	96.5	0.062 [ ]
	400~800万未満	347	6.1	93.9	
セックスの経験の有無	800万円以上	75	4.0	96.0	
	ある	3,248	3.6	96.4	0.000 [**]
パートナー(配偶者・恋人など)がいるか?	ない	59	13.6	86.4	
	いる	3,259	3.6	96.4	0.000 [**]
自肅下、あなたの心境に最も近いのは?	いない	48	14.6	85.4	
	充実していた	1,331	3.5	96.5	0.538 [ ]
自肅下、自宅を過ごす時間は変わったか?	充実していない	1,976	3.9	96.1	
	減った	58	19.0	81.0	0.000 [**]
自肅下、在宅勤務経験の有無	増えた	1,919	3.4	96.6	
	在宅勤務した	493	8.1	91.9	0.000 [**]
自肅下、休日の頻度は?	在宅勤務しなかった	2,814	3.0	97.0	
	減った	125	6.4	93.6	0.282 [ ]
自肅下、失業したか?	増えた	574	4.2	95.8	
	した	126	15.9	84.1	0.000 [**]
	しなかった	3,181	3.3	96.7	

表6-3. 自肅下における暴力「あった」の背景(男性)

		自肅下、パートナー間の暴力			
		合計	あった	なかった	p値 判定
自肅下、休業したか?	全体	2,848	4.3	95.7	
	した	341	13.5	86.5	0.000 [**]
自肅下、収入は変わったか?	しなかった	2,507	3.1	96.9	
	減った	716	6.0	94.0	0.893 [ ]
自肅下、パートナーはいたか?	増えた	54	5.6	94.4	
	いた	2,848	4.3	95.7	-
自肅下、パートナーとの関係は?	いなかった	0	0.0	0.0	
	良好だった	1,070	5.2	94.8	0.000 [**]
自肅下、子どもと過ごす時間は?	悪くなった	202	15.8	84.2	
	減った	121	9.1	90.9	0.037 [*]
自肅下、子どもを預ける場所はあったか?	増えた	483	4.3	95.7	
	あった	263	6.8	93.2	0.453 [ ]
自肅下、結婚したか?	なかった	268	8.6	91.4	
	した	95	35.8	64.2	0.000 [**]
自肅下、離婚したか?	しなかった	2,753	3.2	96.8	
	した	34	76.5	23.5	0.000 [**]
自肅下、運動習慣は変わったか?	しなかった	2,814	3.4	96.6	
	減った	533	5.3	94.7	0.978 [ ]
自肅下、飲酒量は変わったか?	増えた	288	5.2	94.8	
	減った	227	8.4	91.6	0.487 [ ]
自肅下、喫煙量は変わったか?	増えた	366	6.8	93.2	
	減った	73	12.3	87.7	0.971 [ ]
自肅下、パートナーとの間での暴力行為は?	増えた	152	12.5	87.5	
	暴力があった	123	100.0	0.0	0.000 [**]
自肅下、暴力行為の種類は、いくつでも	なかった	2,725	0.0	100.0	
	身体的な暴力	38	100.0	0.0	-
	性的な暴力	38	100.0	0.0	-
	精神的な暴力	50	100.0	0.0	-
	経済的な暴力	22	100.0	0.0	-
	社会的な暴力	28	100.0	0.0	-

表6-4. 自肅下における暴力「あった」の背景(女性)

		自肅下、パートナー間の暴力			
		合計	あった	なかった	p値 判定
自肅下、休業したか?	全体	3,307	3.8	96.2	
	した	456	5.9	94.1	0.010 [**]
自肅下、収入は変わったか?	しなかった	2,851	3.4	96.6	
	減った	698	4.4	95.6	0.587 [ ]
自肅下、パートナーはいたか?	増えた	68	5.9	94.1	
	いた	3,307	3.8	96.2	-
自肅下、パートナーとの関係は?	いなかった	0	0.0	0.0	
	良好だった	1,170	2.6	97.4	0.000 [**]
自肅下、子どもと過ごす時間は?	悪くなった	312	13.1	86.9	
	減った	176	2.8	97.2	0.789 [ ]
自肅下、子どもを預ける場所はあったか?	増えた	805	3.2	96.8	
	あった	254	6.3	93.7	0.422 [ ]
自肅下、結婚したか?	なかった	284	8.1	91.9	
	した	106	19.8	80.2	0.000 [**]
自肅下、離婚したか?	しなかった	3,201	3.2	96.8	
	した	22	68.2	31.8	0.000 [**]
自肅下、運動習慣は変わったか?	しなかった	3,285	3.3	96.7	
	減った	644	4.2	95.8	0.778 [ ]
自肅下、飲酒量は変わったか?	増えた	305	4.6	95.4	
	減った	160	6.9	93.1	0.947 [ ]
自肅下、喫煙量は変わったか?	増えた	298	6.7	93.3	
	減った	38	21.1	78.9	0.043 [*]
自肅下、パートナーとの間での暴力行為は?	増えた	95	8.4	91.6	
	暴力があった	125	100.0	0.0	0.000 [**]
自肅下、暴力行為の種類は、いくつでも	なかった	3,182	0.0	100.0	
	身体的な暴力	38	100.0	0.0	-
	性的な暴力	27	100.0	0.0	-
	精神的な暴力	63	100.0	0.0	-
	経済的な暴力	16	100.0	0.0	-
	社会的な暴力	28	100.0	0.0	-

表6-5. 自肅下における暴力「あった」の背景(男性)

		自肅下、パートナー間の暴力			
		合計	あった	なかった	p値 判定
	全体	2,848	4.3	95.7	
自肅下、暴力はどちらから？	相手から振るわれた	47	100.0	0.0	-
	相手に振るった	42	100.0	0.0	-
	お互いに振るった	34	100.0	0.0	-
自肅下、パートナー間での暴力の頻度は？	減った	38	100.0	0.0	-
	増えた	19	100.0	0.0	-
自肅下、自慰の頻度は？	減った	86	17.4	82.6	0.105[ ]
	増えた	200	10.5	89.5	
自肅下、セックスの回数は？	減った	277	10.8	89.2	0.250[ ]
	増えた	128	14.8	85.2	
自肅下、パートナー以外とのセックスの有無	していない	2,358	2.6	97.4	0.000[**]
	した	447	13.0	87.0	
自肅下、主な避妊法の種類	女性避妊法	51	35.3	64.7	0.000[**]
	男性避妊法	1,299	4.8	95.2	
自肅下、緊急避妊を利用したか？	利用した	81	46.9	53.1	0.000[**]
	利用していない	2,336	2.9	97.1	
自肅下、妊娠したか	はい	110	30.9	69.1	0.000[**]
	いいえ	2,695	3.2	96.8	
自肅下、妊娠の結果は？	妊娠を継続した	98	25.5	74.5	0.000[**]
	人工妊娠中絶した	12	75.0	25.0	

表6-6. 自肅下における暴力「あった」の背景(女性)

		自肅下、パートナー間の暴力			
		合計	あった	なかった	p値 判定
	全体	3,307	3.8	96.2	
自肅下、暴力はどちらから？	相手から振るわれた	82	100.0	0.0	-
	相手に振るった	20	100.0	0.0	-
	お互いに振るった	23	100.0	0.0	-
自肅下、パートナー間での暴力の頻度は？	減った	28	100.0	0.0	-
	増えた	25	100.0	0.0	-
自肅下、自慰の頻度は？	減った	84	10.7	89.3	0.613[ ]
	増えた	83	13.3	86.7	
自肅下、セックスの回数は？	減った	249	4.4	95.6	0.037[* ]
	増えた	108	10.2	89.8	
自肅下、パートナー以外とのセックスの有無	していない	2,975	3.0	97.0	0.000[**]
	した	273	10.3	89.7	
自肅下、主な避妊法の種類	女性避妊法	104	9.6	90.4	0.042[* ]
	男性避妊法	1,075	4.9	95.1	
自肅下、緊急避妊を利用したか？	利用した	41	46.3	53.7	0.000[**]
	利用していない	2,671	2.9	97.1	
自肅下、妊娠したか	はい	124	12.9	87.1	0.000[**]
	いいえ	3,124	3.2	96.8	
自肅下、妊娠の結果は？	妊娠を継続した	117	10.3	89.7	0.000[**]
	人工妊娠中絶した	7	57.1	42.9	

表6-7. 自肅下における暴力「あった」の背景(男性)

		自肅下、パートナー間の暴力			
		合計	あった	なかった	p値 判定
	全体	2,848	4.3	95.7	
自肅下、中絶をした理由を3つまで	パートナーに勧められた	5	80.0	20.0	0.210[ ]
	親や親族に勧められた	1	100.0	0.0	
	友人に勧められた	1	100.0	0.0	
	コロナウイルス流行と子供への影響が心配だった	2	100.0	0.0	
	経済的に	3	33.3	66.7	
	自身(あなたのパートナー)の体調を考慮して	2	0.0	100.0	
	その他	1	100.0	0.0	
年齢	20歳代	237	12.2	87.8	0.000[**]
	30歳代	458	6.8	93.2	
	40歳代	665	4.8	95.2	
	50歳代	623	1.9	98.1	
	60歳代	865	2.2	97.8	
	40~69歳	2,153	2.9	97.1	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	307	11.1	88.9	0.000[**]
	そうは思わない	1,446	4.1	95.9	
	わからない	1,086	2.7	97.3	
	その他	9	0.0	100.0	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	307	11.1	88.9	0.000[**]
	そうは思わない	1,446	4.1	95.9	

表6-8. 自肅下における暴力「あった」の背景(女性)

		自肅下、パートナー間の暴力			
		合計	あった	なかった	p値 判定
	全体	3,307	3.8	96.2	
自肅下、中絶をした理由を3つまで	パートナーに勧められた	1	100.0	0.0	-
	親や親族に勧められた	2	100.0	0.0	-
	友人に勧められた	0	0.0	0.0	-
	コロナウイルス流行と子供への影響が心配だった	0	0.0	0.0	-
年齢	経済的に	1	0.0	100.0	
	自身(あなたのパートナー)の体調を考慮して	2	50.0	50.0	
	その他	1	0.0	100.0	
	20歳代	399	6.3	93.7	0.000[**]
	30歳代	610	4.6	95.4	
	40歳代	759	5.3	94.7	
年齢	50歳代	693	2.7	97.3	
	60歳代	846	1.5	98.5	
	20歳代・30歳代	1,009	5.3	94.7	0.003[**]
	40~69歳	2,298	3.1	96.9	
	そう思う	358	6.7	93.3	0.018[* ]
	そうは思わない	1,547	3.6	96.4	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	わからない	1,391	3.2	96.8	
	その他	11	0.0	100.0	
	そう思う	358	6.7	93.3	0.009[**]
	そうは思わない	1,547	3.6	96.4	

表7-1. 自粛下における暴力増減の背景(男性)

		自粛下、パートナー間の暴力			
		合計	減った	増えた	p値 判定
結婚の有無と形態	全体	57	66.7	33.3	
	未婚	14	78.6	21.4	0.277[ ]
夫婦の就労状況	初婚・再婚以上	43	62.8	37.2	
	夫婦共に就労	34	70.6	29.4	0.092[ ]
	夫のみ就労	8	37.5	62.5	
子どもの有無	妻のみ就労	1	0.0	100.0	
	子供はいない	26	73.1	26.9	0.347[ ]
あなたの職業	子供がいる	31	61.3	38.7	
	勤め人	49	67.3	32.7	0.888[ ]
あなたの最終学歴	自営業	4	75.0	25.0	
	学生	2	50.0	50.0	
	その他	2	50.0	50.0	
	高校卒まで	16	75.0	25.0	0.404[ ]
あなたの昨年の年収(万円)	高校卒以上	41	63.4	36.6	
	400万未満	20	60.0	40.0	0.698[ ]
	400~800万未満	29	69.0	31.0	
セックスの経験の有無	800万円以上	8	75.0	25.0	
	ある	55	67.3	32.7	0.611[ ]
パートナー(配偶者・恋人など)がいるか?	ない	2	50.0	50.0	
	いる	54	66.7	33.3	1.000[ ]
自粛下、あなたの心境に最も近いのは?	いない	3	66.7	33.3	
	充実していた	41	75.6	24.4	0.022[*]
自粛下、自宅で過ごす時間は変わったか?	充実していなかった	16	43.8	56.3	
	減った	14	100.0	0.0	0.001[**]
自粛下、在宅勤務経験の有無	増えた	23	47.8	52.2	
	在宅勤務した	38	73.7	26.3	0.112[ ]
自粛下、休日の頻度は?	在宅勤務しなかった	19	52.6	47.4	
	減った	12	100.0	0.0	0.002[**]
自粛下、失業したか?	増えた	17	47.1	52.9	
	した	25	80.0	20.0	0.059[ ]
	しなかった	32	56.3	43.8	

表7-2. 自粛下における暴力増減の背景(女性)

		自粛下、パートナー間の暴力			
		合計	減った	増えた	p値 判定
結婚の有無と形態	全体	53	52.8	47.2	
	未婚	6	83.3	16.7	0.124[ ]
夫婦の就労状況	初婚・再婚以上	44	50.0	50.0	
	夫婦共に就労	20	45.0	55.0	0.537[ ]
	夫のみ就労	23	52.2	47.8	
子どもの有無	妻のみ就労	1	100.0	0.0	
	子供はいない	22	59.1	40.9	0.442[ ]
あなたの職業	子供がいる	31	48.4	51.6	
	勤め人	28	53.6	46.4	-
あなたの最終学歴	自営業	0	0.0	0.0	
	学生	0	0.0	0.0	
	その他	25	52.0	48.0	
	高校卒まで	17	64.7	35.3	0.234[ ]
あなたの昨年の年収(万円)	高校卒以上	36	47.2	52.8	
	400万未満	42	50.0	50.0	0.378[ ]
	400~800万未満	9	55.6	44.4	
セックスの経験の有無	800万円以上	2	100.0	0.0	
	ある	48	50.0	50.0	0.201[ ]
パートナー(配偶者・恋人など)がいるか?	ない	5	80.0	20.0	
	いる	51	52.9	47.1	0.935[ ]
自粛下、あなたの心境に最も近いのは?	いない	2	50.0	50.0	
	充実していた	21	57.1	42.9	0.610[ ]
自粛下、自宅で過ごす時間は変わったか?	充実していなかった	32	50.0	50.0	
	減った	7	85.7	14.3	0.035[*]
自粛下、在宅勤務経験の有無	増えた	29	41.4	58.6	
	在宅勤務した	13	69.2	30.8	0.173[ ]
自粛下、休日の頻度は?	在宅勤務しなかった	40	47.5	52.5	
	減った	3	66.7	33.3	0.515[ ]
自粛下、失業したか?	増えた	11	45.5	54.5	
	した	4	100.0	0.0	0.049[*]
	しなかった	49	49.0	51.0	

表7-3. 自粛下における暴力増減の背景(男性)

		自粛下、パートナー間の暴力			
		合計	減った	増えた	p値 判定
自粛下、休業したか?	全体	57	66.7	33.3	
	した	29	72.4	27.6	0.349[ ]
自粛下、収入は変わったか?	しなかった	28	60.7	39.3	
	減った	27	55.6	44.4	-
自粛下、パートナーはいたか?	増えた	0	0.0	0.0	
	いた	57	66.7	33.3	-
自粛下、パートナーとの関係は?	いなかった	0	0.0	0.0	
	良好だった	36	80.6	19.4	0.023[*]
自粛下、子どもと過ごす時間は?	悪くなった	11	45.5	54.5	
	減った	8	62.5	37.5	0.260[ ]
自粛下、子どもを預ける場所はあったか?	増えた	11	36.4	63.6	
	あった	7	71.4	28.6	1.000[ ]
自粛下、結婚したか?	なかった	7	71.4	28.6	
	した	21	81.0	19.0	0.081[ ]
自粛下、離婚したか?	しなかった	36	58.3	41.7	
	した	19	78.9	21.1	0.164[ ]
自粛下、運動習慣は変わったか?	しなかった	38	60.5	39.5	
	減った	16	81.3	18.8	0.058[ ]
自粛下、飲酒量は変わったか?	増えた	9	44.4	55.6	
	減った	16	81.3	18.8	0.010[*]
自粛下、喫煙量は変わったか?	増えた	12	33.3	66.7	
	減った	6	83.3	16.7	0.216[ ]
自粛下、パートナーとの間での暴力行為は?	増えた	13	53.8	46.2	
	暴力があった	57	66.7	33.3	-
自粛下、暴力行為の種類は、いくつでも	なかった	0	0.0	0.0	
	身体的な暴力	25	64.0	36.0	0.464[ ]
	性的な暴力	21	71.4	28.6	
	精神的な暴力	24	50.0	50.0	
	経済的な暴力	12	58.3	41.7	
	社会的な暴力	13	76.9	23.1	

表7-4. 自粛下における暴力増減の背景(女性)

		自粛下、パートナー間の暴力			
		合計	減った	増えた	p値 判定
自粛下、休業したか?	全体	53	52.8	47.2	
	した	10	80.0	20.0	0.056[ ]
自粛下、収入は変わったか?	しなかった	43	46.5	53.5	
	減った	13	61.5	38.5	-
自粛下、パートナーはいたか?	増えた	0	0.0	0.0	
	いた	53	52.8	47.2	-
自粛下、パートナーとの関係は?	いなかった	0	0.0	0.0	
	良好だった	15	93.3	6.7	0.000[**]
自粛下、子どもと過ごす時間は?	悪くなった	22	13.6	86.4	
	減った	2	50.0	50.0	0.591[ ]
自粛下、子どもを預ける場所はあったか?	増えた	13	30.8	69.2	
	あった	6	66.7	33.3	0.398[ ]
自粛下、結婚したか?	なかった	9	44.4	55.6	
	した	10	100.0	0.0	0.001[**]
自粛下、離婚したか?	しなかった	43	41.9	58.1	
	した	7	100.0	0.0	0.007[**]
自粛下、運動習慣は変わったか?	しなかった	46	45.7	54.3	
	減った	15	53.3	46.7	0.469[ ]
自粛下、飲酒量は変わったか?	増えた	8	37.5	62.5	
	減った	5	100.0	0.0	0.016[*]
自粛下、喫煙量は変わったか?	増えた	9	33.3	66.7	
	減った	6	100.0	0.0	-
自粛下、パートナーとの間での暴力行為は?	増えた	2	100.0	0.0	
	暴力があった	53	52.8	47.2	-
自粛下、暴力行為の種類は、いくつでも	なかった	0	0.0	0.0	
	身体的な暴力	19	68.4	31.6	0.065[ ]
	性的な暴力	8	37.5	62.5	
	精神的な暴力	28	35.7	64.3	
	経済的な暴力	8	50.0	50.0	
	社会的な暴力	10	80.0	20.0	

表7-5. 自肅下における暴力増減の背景(男性)

		自肅下、パートナー間の暴力			
		合計	減った	増えた	p値 判定
自肅下、暴力はどこから？	全体	57	66.7	33.3	
	相手から振るわれた	27	74.1	25.9	0.282[ ]
	相手に振るった	19	52.6	47.4	
	お互いに振るった	11	72.7	27.3	
自肅下、パートナー間での暴力の頻度は？	減った	38	100.0	0.0	0.000[**]
	増えた	19	0.0	100.0	
自肅下、自慰の頻度は？	減った	11	81.8	18.2	0.010[*]
	増えた	11	27.3	72.7	
自肅下、セックスの回数は？	減った	18	66.7	33.3	0.039[*]
	増えた	11	27.3	72.7	
自肅下、パートナー以外とのセックスの有無	していない	26	65.4	34.6	0.778[ ]
	した	29	69.0	31.0	
自肅下、主な避妊法の種類	女性避妊法	7	57.1	42.9	0.558[ ]
	男性避妊法	35	68.6	31.4	
自肅下、緊急避妊を利用したか？	利用した	23	78.3	21.7	0.125[ ]
	利用していない	26	57.7	42.3	
自肅下、妊娠したか	はい	22	72.7	27.3	0.481[ ]
	いいえ	33	63.6	36.4	
自肅下、妊娠の結果は？	妊娠を継続した	19	73.7	26.3	0.800[ ]
	人工妊娠中絶した	3	66.7	33.3	

表7-6. 自肅下における暴力増減の背景(女性)

		自肅下、パートナー間の暴力			
		合計	減った	増えた	p値 判定
自肅下、暴力はどこから？	全体	53	52.8	47.2	
	相手から振るわれた	38	52.6	47.4	0.422[ ]
	相手に振るった	7	71.4	28.6	
	お互いに振るった	8	37.5	62.5	
自肅下、パートナー間での暴力の頻度は？	減った	28	100.0	0.0	0.000[**]
	増えた	25	0.0	100.0	
自肅下、自慰の頻度は？	減った	5	100.0	0.0	0.114[ ]
	増えた	5	60.0	40.0	
自肅下、セックスの回数は？	減った	7	71.4	28.6	0.079[ ]
	増えた	5	20.0	80.0	
自肅下、パートナー以外とのセックスの有無	していない	41	53.7	46.3	0.220[ ]
	した	7	28.6	71.4	
自肅下、主な避妊法の種類	女性避妊法	3	100.0	0.0	0.099[ ]
	男性避妊法	26	50.0	50.0	
自肅下、緊急避妊を利用したか？	利用した	7	85.7	14.3	0.018[*]
	利用していない	35	37.1	62.9	
自肅下、妊娠したか	はい	7	57.1	42.9	0.683[ ]
	いいえ	41	48.8	51.2	
自肅下、妊娠の結果は？	妊娠を継続した	4	50.0	50.0	0.659[ ]
	人工妊娠中絶した	3	66.7	33.3	

表7-7. 自肅下における暴力増減の背景(男性)

		自肅下、パートナー間の暴力			
		合計	減った	増えた	p値 判定
自肅下、中絶をした理由を3つまで	全体	57	66.7	33.3	
	パートナーに勧められた	1	100.0	0.0	-
	親や親族に勧められた	0	0.0	0.0	
	友人に勧められた	0	0.0	0.0	
	コロナウィルス流行と子供への影響が心配だった	0	0.0	0.0	
	経済的に	1	100.0	0.0	
	自身(あなたのパートナー)の体調を考慮して	0	0.0	0.0	
	その他	1	0.0	100.0	
年齢	20歳代	17	64.7	35.3	0.573[ ]
	30歳代	16	75.0	25.0	
	40歳代	16	56.3	43.8	
	50歳代	3	100.0	0.0	
	60歳代	5	60.0	40.0	
年齢	20歳代・30歳代	33	69.7	30.3	0.569[ ]
	40～69歳	24	62.5	37.5	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	24	70.8	29.2	-
	そうは思わない	23	69.6	30.4	
	わからない	10	50.0	50.0	
	その他	0	0.0	0.0	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	24	70.8	29.2	0.924[ ]
	そうは思わない	23	69.6	30.4	

表7-8. 自肅下における暴力増減の背景(女性)

		自肅下、パートナー間の暴力			
		合計	減った	増えた	p値 判定
自肅下、中絶をした理由を3つまで	全体	53	52.8	47.2	
	パートナーに勧められた	1	100.0	0.0	-
	親や親族に勧められた	1	100.0	0.0	
	友人に勧められた	0	0.0	0.0	
	コロナウィルス流行と子供への影響が心配だった	0	0.0	0.0	
	経済的に	0	0.0	0.0	
	自身(あなたのパートナー)の体調を考慮して	1	0.0	100.0	
	その他	0	0.0	0.0	
年齢	20歳代	13	76.9	23.1	0.034[*]
	30歳代	11	63.6	36.4	
	40歳代	17	29.4	70.6	
	50歳代	7	71.4	28.6	
	60歳代	5	20.0	80.0	
年齢	20歳代・30歳代	24	70.8	29.2	0.017[*]
	40～69歳	29	37.9	62.1	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	8	75.0	25.0	-
	そうは思わない	28	50.0	50.0	
	わからない	17	47.1	52.9	
	その他	0	0.0	0.0	
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	8	75.0	25.0	0.209[ ]
	そうは思わない	28	50.0	50.0	

表8-1. 自肅下の暴力、どちらから振るった(男性)

		自肅下、暴力はどちらから？				p値	判定
		合計	相手から振るわれた	相手に対して自分が振るった	お互いに振るった		
結婚の有無と形態	全体	123	38.2	34.1	27.6		
	未婚	22	36.4	27.3	36.4	0.557	[ ]
夫婦の就労状況	初婚・再婚以上	98	38.8	35.7	25.5		
	夫婦共に就労	72	40.3	37.5	22.2	0.676	[ ]
	夫のみ就労	22	36.4	27.3	36.4		
子どもの有無	妻のみ就労	4	25.0	50.0	25.0		
	子供はいない	47	34.0	31.9	34.0	0.453	[ ]
あなたの職業	子供がいる	76	40.8	35.5	23.7		
	勤め人	102	41.2	35.3	23.5	0.087	[ ]
	自営業	7	42.9	28.6	28.6		
あなたの最終学歴	学生	5	20.0	0.0	80.0		
	その他	9	11.1	44.4	44.4		
	高校卒まで	37	24.3	40.5	35.1	0.112	[ ]
あなたの昨年の年収(万円)	高校卒以上	86	44.2	31.4	24.4		
	400万未満	50	30.0	40.0	30.0	0.609	[ ]
	400~800万未満	55	43.6	29.1	27.3		
セックスの経験の有無	800万円以上	18	44.4	33.3	22.2		
	ある	119	38.7	35.3	26.1	0.084	[ ]
パートナー(配偶者・恋人など)がいるか？	ない	4	25.0	0.0	75.0		
	いる	119	38.7	33.6	27.7	0.777	[ ]
自肅下、あなたの心境に最も近いのは？	いない	4	25.0	50.0	25.0		
	充実していた	75	37.3	34.7	28.0	0.969	[ ]
	充実していなかった	48	39.6	33.3	27.1		

表8-2. 自肅下の暴力、どちらから振るった(女性)

		自肅下、暴力はどちらから？				p値	判定
		合計	相手から振るわれた	相手に対して自分が振るった	お互いに振るった		
結婚の有無と形態	全体	125	65.6	16.0	18.4		
	未婚	18	55.6	27.8	16.7	0.400	[ ]
夫婦の就労状況	初婚・再婚以上	101	66.3	14.9	18.8		
	夫婦共に就労	56	57.1	21.4	21.4	0.167	[ ]
	夫のみ就労	42	76.2	7.1	16.7		
子どもの有無	妻のみ就労	3	100.0	0.0	0.0		
	子供はいない	53	60.4	20.8	18.9	0.429	[ ]
あなたの職業	子供がいる	72	69.4	12.5	18.1		
	勤め人	71	60.6	19.7	19.7	-	
	自営業	2	50.0	0.0	50.0		
あなたの最終学歴	学生	0	0.0	0.0	0.0		
	その他	52	73.1	11.5	15.4		
	高校卒まで	44	77.3	6.8	15.9	0.074	[ ]
あなたの昨年の年収(万円)	高校卒以上	81	59.3	21.0	19.8		
	400万未満	101	68.3	12.9	18.8	0.121	[ ]
	400~800万未満	21	47.6	33.3	19.0		
セックスの経験の有無	800万円以上	3	100.0	0.0	0.0		
	ある	117	68.4	14.5	17.1	0.043	[*]
パートナー(配偶者・恋人など)がいるか？	ない	8	25.0	37.5	37.5		
	いる	118	67.8	15.3	16.9	0.096	[ ]
自肅下、あなたの心境に最も近いのは？	いない	7	28.6	28.6	42.9		
	充実していた	47	53.2	27.7	19.1	0.017	[*]
	充実していなかった	78	73.1	9.0	17.9		

表8-3. 自肅下の暴力、どちらから振るった(男性)

		自肅下、暴力はどちらから？				p値	判定
		合計	相手から振るわれた	相手に対して自分が振るった	お互いに振るった		
自肅下、自宅で過ごす時間は変わったか？	全体	123	38.2	34.1	27.6		
	減った	21	42.9	33.3	23.8	0.822	[ ]
自肅下、在宅勤務経験の有無	増えた	46	37.0	41.3	21.7		
	在宅勤務した	73	42.5	30.1	27.4	0.427	[ ]
自肅下、休日の頻度は？	在宅勤務しなかった	50	32.0	40.0	28.0		
	減った	19	42.1	31.6	26.3	0.558	[ ]
自肅下、失業したか？	増えた	23	30.4	47.8	21.7		
	した	39	48.7	28.2	23.1	0.263	[ ]
自肅下、休業したか？	しなかった	84	33.3	36.9	29.8		
	した	46	37.0	41.3	21.7	0.357	[ ]
自肅下、収入は変わったか？	しなかった	77	39.0	29.9	31.2		
	減った	43	34.9	44.2	20.9	0.167	[ ]
自肅下、パートナーはいたか？	増えた	3	0.0	33.3	66.7		
	いた	123	38.2	34.1	27.6	-	-
自肅下、パートナーとの関係は？	いなかった	0	0.0	0.0	0.0		
	良好だった	56	42.9	28.6	28.6	0.842	[ ]
自肅下、子どもと過ごす時間は？	悪くなった	32	40.6	34.4	25.0		
	減った	11	63.6	18.2	18.2	0.363	[ ]
自肅下、子どもを預ける場所はあったか？	増えた	21	38.1	38.1	23.8		
	あった	18	44.4	22.2	33.3	0.956	[ ]
自肅下、結婚したか？	なかった	23	43.5	26.1	30.4		
	した	34	47.1	29.4	23.5	0.459	[ ]
自肅下、離婚したか？	しなかった	89	34.8	36.0	29.2		
	した	26	50.0	26.9	23.1	0.377	[ ]
	しなかった	97	35.1	36.1	28.9		

表8-4. 自肅下の暴力、どちらから振るった(女性)

		自肅下、暴力はどちらから？				p値	判定
		合計	相手から振るわれた	相手に対して自分が振るった	お互いに振るった		
自肅下、自宅で過ごす時間は変わったか？	全体	125	65.6	16.0	18.4		
	減った	11	45.5	36.4	18.2	0.231	[ ]
自肅下、在宅勤務経験の有無	増えた	66	65.2	15.2	19.7		
	在宅勤務した	40	42.5	35.0	22.5	0.000	[**]
自肅下、休日の頻度は？	在宅勤務しなかった	85	76.5	7.1	16.5		
	減った	8	87.5	0.0	12.5	0.241	[ ]
自肅下、失業したか？	増えた	24	58.3	25.0	16.7		
	した	20	45.0	40.0	15.0	0.006	[**]
自肅下、休業したか？	しなかった	105	69.5	11.4	19.0		
	した	27	55.6	25.9	18.5	0.266	[ ]
自肅下、収入は変わったか？	しなかった	98	68.4	13.3	18.4		
	減った	31	64.5	9.7	25.8	0.403	[ ]
自肅下、パートナーはいたか？	増えた	4	75.0	25.0	0.0		
	いた	125	65.6	16.0	18.4	-	-
自肅下、パートナーとの関係は？	いなかった	0	0.0	0.0	0.0		
	良好だった	30	46.7	20.0	33.3	0.031	[*]
自肅下、子どもと過ごす時間は？	悪くなった	41	73.2	17.1	9.8		
	減った	5	100.0	0.0	0.0	0.295	[ ]
自肅下、子どもを預ける場所はあったか？	増えた	26	65.4	15.4	19.2		
	あった	16	68.8	18.8	12.5	0.514	[ ]
自肅下、結婚したか？	なかった	23	52.2	21.7	26.1		
	した	21	42.9	33.3	23.8	0.028	[*]
自肅下、離婚したか？	しなかった	104	70.2	12.5	17.3		
	した	15	53.3	40.0	6.7	0.020	[*]
	しなかった	110	67.3	12.7	20.0		

表8-5. 自肅下の暴力、どちらから振った(男性)

		自肅下、暴力はどちらから？				p値	判定
		合計	相手から振られた	相手に対して自分が振った	お互いに振った		
	全体	123	38.2	34.1	27.6		
自肅下、運動習慣は変わったか？	減った	28	42.9	32.1	25.0	0.816	[ ]
	増えた	15	33.3	40.0	26.7		
自肅下、飲酒量は変わったか？	減った	19	63.2	15.8	21.1	0.023	[*]
	増えた	25	24.0	48.0	28.0		
自肅下、喫煙量は変わったか？	減った	9	66.7	22.2	11.1	0.117	[ ]
	増えた	19	26.3	57.9	15.8		
自肅下、パートナーとの間での暴力行為は？	暴力あった	123	38.2	34.1	27.6	-	-
自肅下、暴力行為の種類は、いくつでも	なかった	0	0.0	0.0	0.0		
	身体的な暴力	38	52.6	34.2	13.2	0.059	[ ]
自肅下、パートナー間での暴力行為の頻度は？	性的な暴力	38	47.4	31.6	21.1		
	精神的な暴力	50	54.0	28.0	18.0		
	経済的な暴力	22	45.5	31.8	22.7		
	社会的な暴力	28	35.7	14.3	50.0		
自肅下、自慰の頻度は？	減った	38	52.6	26.3	21.1	0.282	[ ]
自肅下、自慰の頻度は？	増えた	19	36.8	47.4	15.8		
	減った	15	66.7	26.7	6.7	0.030	[*]
自肅下、セックスの回数は？	増えた	21	28.6	28.6	42.9		
	減った	30	66.7	23.3	10.0	0.002	[**]
自肅下、パートナー以外とのセックスの有無	増えた	19	15.8	57.9	26.3		
	していない	61	41.0	29.5	29.5	0.380	[ ]
自肅下、主な避妊法の種類	した	58	36.2	41.4	22.4		
	女性避妊法	18	50.0	38.9	11.1	0.415	[ ]
自肅下、緊急避妊を利用したか？	男性避妊法	62	43.5	30.6	25.8		
	利用した	38	47.4	31.6	21.1	0.672	[ ]
	利用していない	67	38.8	38.8	22.4		

表8-6. 自肅下の暴力、どちらから振った(女性)

		自肅下、暴力はどちらから？				p値	判定
		合計	相手から振られた	相手に対して自分が振った	お互いに振った		
	全体	125	65.6	16.0	18.4		
自肅下、運動習慣は変わったか？	減った	27	59.3	11.1	29.6	0.841	[ ]
	増えた	14	64.3	14.3	21.4		
自肅下、飲酒量は変わったか？	減った	11	63.6	18.2	18.2	0.766	[ ]
	増えた	20	50.0	25.0	25.0		
自肅下、喫煙量は変わったか？	減った	8	25.0	62.5	12.5	0.276	[ ]
	増えた	8	62.5	25.0	12.5		
自肅下、パートナーとの間での暴力行為は？	暴力あった	125	65.6	16.0	18.4	-	-
自肅下、暴力行為の種類は、いくつでも	なかった	0	0.0	0.0	0.0		
	身体的な暴力	38	65.8	21.1	13.2	0.012	[*]
自肅下、パートナー間での暴力行為の頻度は？	性的な暴力	27	70.4	22.2	7.4		
	精神的な暴力	63	76.2	6.3	17.5		
	経済的な暴力	16	87.5	6.3	6.3		
	社会的な暴力	28	42.9	21.4	35.7		
自肅下、自慰の頻度は？	減った	28	71.4	17.9	10.7	0.422	[ ]
自肅下、自慰の頻度は？	増えた	25	72.0	8.0	20.0		
	減った	9	55.6	22.2	22.2	0.638	[ ]
自肅下、セックスの回数は？	増えた	11	54.5	36.4	9.1		
	減った	11	63.6	18.2	18.2	0.819	[ ]
自肅下、パートナー以外とのセックスの有無	増えた	11	72.7	9.1	18.2		
	していない	89	67.4	12.4	20.2	0.184	[ ]
自肅下、主な避妊法の種類	した	28	71.4	21.4	7.1		
	女性避妊法	10	70.0	30.0	0.0	0.203	[ ]
自肅下、緊急避妊を利用したか？	男性避妊法	53	64.2	15.1	20.8		
	利用した	19	52.6	42.1	5.3	0.001	[**]
	利用していない	78	74.4	7.7	17.9		

表8-7. 自肅下の暴力、どちらから振った(男性)

		自肅下、暴力はどちらから？				p値	判定
		合計	相手から振られた	相手に対して自分が振った	お互いに振った		
	全体	123	38.2	34.1	27.6		
自肅下、妊娠したか	はい	34	52.9	26.5	20.6	0.128	[ ]
	いいえ	85	32.9	38.8	28.2		
自肅下、妊娠の結末は？	妊娠を継続した	25	56.0	24.0	20.0	0.818	[ ]
	人工妊娠中絶した	9	44.4	33.3	22.2		
自肅下、中絶をした理由を3つまで	パートナーに勧められた	4	50.0	25.0	25.0	-	-
	親や親族に勧められた	1	100.0	0.0	0.0		
	友人に勧められた	1	0.0	100.0	0.0		
	コロナウィルス流行と子供への影響が心配だった	2	50.0	50.0	0.0		
	経済的に	1	100.0	0.0	0.0		
	自身(あなたのパートナー)の体調を考慮して	0	0.0	0.0	0.0		
	その他	1	0.0	0.0	100.0		
年齢	20歳代	29	37.9	24.1	37.9	0.696	[ ]
	30歳代	31	41.9	32.3	25.8		
	40歳代	32	40.6	40.6	18.8		
	50歳代	12	25.0	33.3	41.7		
	60歳代	19	36.8	42.1	21.1		
年齢	20歳代・30歳代	60	40.0	28.3	31.7	0.378	[ ]
	40~69歳	63	36.5	39.7	23.8		
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	34	44.1	29.4	26.5	-	-
	そうは思わない	60	40.0	31.7	28.3		
	わからない	29	27.6	44.8	27.6		
	その他	0	0.0	0.0	0.0		
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	34	44.1	29.4	26.5	0.927	[ ]
	そうは思わない	60	40.0	31.7	28.3		

表8-8. 自肅下の暴力、どちらから振った(女性)

		自肅下、暴力はどちらから？				p値	判定
		合計	相手から振られた	相手に対して自分が振った	お互いに振った		
	全体	125	65.6	16.0	18.4		
自肅下、妊娠したか	はい	16	50.0	43.8	6.3	0.001	[**]
	いいえ	101	71.3	9.9	18.8		
自肅下、妊娠の結末は？	妊娠を継続した	12	41.7	50.0	8.3	0.490	[ ]
	人工妊娠中絶した	4	75.0	25.0	0.0		
自肅下、中絶をした理由を3つまで	パートナーに勧められた	1	0.0	100.0	0.0	-	-
	親や親族に勧められた	2	100.0	0.0	0.0		
	友人に勧められた	0	0.0	0.0	0.0		
	コロナウィルス流行と子供への影響が心配だった	0	0.0	0.0	0.0		
	経済的に	0	0.0	0.0	0.0		
	自身(あなたのパートナー)の体調を考慮して	1	100.0	0.0	0.0		
	その他	0	0.0	0.0	0.0		
年齢	20歳代	25	56.0	24.0	20.0	0.040	[*]
	30歳代	28	42.9	21.4	35.7		
	40歳代	40	80.0	12.5	7.5		
	50歳代	19	73.7	15.8	10.5		
	60歳代	13	76.9	0.0	23.1		
年齢	20歳代・30歳代	53	49.1	22.6	28.3	0.004	[**]
	40~69歳	72	77.8	11.1	11.1		
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	24	62.5	33.3	4.2	-	-
	そうは思わない	56	67.9	16.1	16.1		
	わからない	45	64.4	6.7	28.9		
	その他	0	0.0	0.0	0.0		
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	24	62.5	33.3	4.2	0.115	[ ]
	そうは思わない	56	67.9	16.1	16.1		

表9-1. 自粛下におけるセックスの回数の変化(男性)

		自粛下におけるセックスの回数				
		合計	減った	増えた	p値	判定
結婚の有無と形態	全体	564	70.6	29.4		
	未婚	238	71.0	29.0	0.704	[ ]
夫婦の就労状況	初婚・再婚以上	295	69.5	30.5		
	夫婦共に就労	190	65.3	34.7	0.105	[ ]
	夫のみ就労	92	77.2	22.8		
子どもの有無	妻のみ就労	13	76.9	23.1		
	子供はいない	305	71.8	28.2	0.485	[ ]
あなたの職業	子供がいる	259	69.1	30.9		
	勤め人	447	70.5	29.5	0.256	[ ]
あなたの最終学歴	自営業	54	70.4	29.6		
	学生	26	57.7	42.3		
	その他	37	81.1	18.9		
	高校卒まで	149	69.1	30.9	0.653	[ ]
あなたの昨年の年収(万円)	高校卒以上	415	71.1	28.9		
	400万未満	263	69.6	30.4	0.059	[ ]
	400~800万未満	221	75.1	24.9		
セックスの経験の有無	800万円以上	80	61.3	38.8		
	ある	564	70.6	29.4	-	-
パートナー(配偶者・恋人など)がいるか?	ない	0	0.0	0.0		
	いる	430	67.7	32.3	0.007	[**]
自粛下、あなたの心境に最も近いのは?	いない	134	79.9	20.1		
	充実していた	214	57.0	43.0	0.000	[**]
自粛下、自宅で過ごす時間は変わったか?	充実していなかった	350	78.9	21.1		
	減った	27	74.1	25.9	0.978	[ ]
自粛下、在宅勤務経験の有無	増えた	363	73.8	26.2		
	在宅勤務した	264	65.2	34.8	0.008	[**]
自粛下、休日の頻度は?	在宅勤務しなかった	300	75.3	24.7		
	減った	43	72.1	27.9	0.597	[ ]
自粛下、失業したか?	増えた	143	67.8	32.2		
	した	49	65.3	34.7	0.398	[ ]
	しなかった	515	71.1	28.9		

表9-2. 自粛下におけるセックスの回数の変化(女性)

		自粛下におけるセックスの回数				
		合計	減った	増えた	p値	判定
結婚の有無と形態	全体	397	70.0	30.0		
	未婚	153	77.8	22.2	0.004	[**]
夫婦の就労状況	初婚・再婚以上	217	63.6	36.4		
	夫婦共に就労	131	60.3	39.7	0.461	[ ]
	夫のみ就労	83	68.7	31.3		
子どもの有無	妻のみ就労	3	66.7	33.3		
	子供はいない	219	75.3	24.7	0.010	[*]
あなたの職業	子供がいる	178	63.5	36.5		
	勤め人	264	70.5	29.5	0.283	[ ]
あなたの最終学歴	自営業	16	75.0	25.0		
	学生	13	46.2	53.8		
	その他	104	71.2	28.8		
	高校卒まで	126	75.4	24.6	0.111	[ ]
あなたの昨年の年収(万円)	高校卒以上	271	67.5	32.5		
	400万未満	318	71.4	28.6	0.243	[ ]
	400~800万未満	67	67.2	32.8		
セックスの経験の有無	800万円以上	12	50.0	50.0		
	ある	397	70.0	30.0	-	-
パートナー(配偶者・恋人など)がいるか?	ない	0	0.0	0.0		
	いる	359	68.5	31.5	0.045	[*]
自粛下、あなたの心境に最も近いのは?	いない	38	84.2	15.8		
	充実していた	160	56.3	43.8	0.000	[**]
自粛下、自宅で過ごす時間は変わったか?	充実していなかった	237	79.3	20.7		
	減った	14	64.3	35.7	0.419	[ ]
自粛下、在宅勤務経験の有無	増えた	285	74.0	26.0		
	在宅勤務した	102	61.8	38.2	0.035	[*]
自粛下、休日の頻度は?	在宅勤務しなかった	295	72.9	27.1		
	減った	32	62.5	37.5	0.776	[ ]
自粛下、失業したか?	増えた	115	65.2	34.8		
	した	28	60.7	39.3	0.265	[ ]
	しなかった	369	70.7	29.3		

表9-3. 自粛下におけるセックスの回数の変化(男性)

		自粛下におけるセックスの回数				
		合計	減った	増えた	p値	判定
自粛下、休業したか?	全体	564	70.6	29.4		
	した	105	65.7	34.3	0.226	[ ]
自粛下、収入は変わったか?	しなかった	459	71.7	28.3		
	減った	220	71.4	28.6	0.101	[ ]
自粛下、パートナーはいたか?	増えた	22	54.5	45.5		
	いた	405	68.4	31.6	0.071	[ ]
自粛下、パートナーとの関係は?	いなかった	159	76.1	23.9		
	良好だった	196	53.6	46.4	0.002	[**]
自粛下、子どもと過ごす時間は?	悪くなった	53	77.4	22.6		
	減った	33	84.8	15.2	0.003	[**]
自粛下、子どもを預ける場所はあったか?	増えた	91	56.0	44.0		
	あった	46	56.5	43.5	0.340	[ ]
自粛下、結婚したか?	なかった	50	66.0	34.0		
	した	38	50.0	50.0	0.004	[**]
自粛下、離婚したか?	しなかった	526	72.1	27.9		
	した	19	57.9	42.1	0.218	[ ]
自粛下、運動習慣は変わったか?	しなかった	545	71.0	29.0		
	減った	161	77.0	23.0	0.001	[**]
自粛下、飲酒量は変わったか?	増えた	84	56.0	44.0		
	減った	77	74.0	26.0	0.150	[ ]
自粛下、喫煙量は変わったか?	増えた	129	64.3	35.7		
	減った	25	80.0	20.0	0.037	[*]
自粛下、パートナーとの間での暴力行為は?	増えた	86	57.0	43.0		
	暴力があった	49	61.2	38.8	0.250	[ ]
自粛下、暴力行為の種類は、いくつでも	なかった	356	69.4	30.6		
	身体的な暴力	25	72.0	28.0	0.277	[ ]
	性的な暴力	17	47.1	52.9		
	精神的な暴力	20	75.0	25.0		
	経済的な暴力	12	50.0	50.0		
	社会的な暴力	4	50.0	50.0		

表9-4. 自粛下におけるセックスの回数の変化(女性)

		自粛下におけるセックスの回数				
		合計	減った	増えた	p値	判定
自粛下、休業したか?	全体	397	70.0	30.0		
	した	86	68.6	31.4	0.745	[ ]
自粛下、収入は変わったか?	しなかった	311	70.4	29.6		
	減った	147	71.4	28.6	0.240	[ ]
自粛下、パートナーはいたか?	増えた	22	59.1	40.9		
	いた	357	69.7	30.3	0.719	[ ]
自粛下、パートナーとの関係は?	いなかった	40	72.5	27.5		
	良好だった	145	60.7	39.3	0.108	[ ]
自粛下、子どもと過ごす時間は?	悪くなった	71	71.8	28.2		
	減った	12	91.7	8.3	0.022	[*]
自粛下、子どもを預ける場所はあったか?	増えた	94	57.4	42.6		
	あった	50	56.0	44.0	0.050	[*]
自粛下、結婚したか?	なかった	25	32.0	68.0		
	した	21	42.9	57.1	0.005	[**]
自粛下、離婚したか?	しなかった	376	71.5	28.5		
	した	9	33.3	66.7	0.015	[*]
自粛下、運動習慣は変わったか?	しなかった	388	70.9	29.1		
	減った	106	67.9	32.1	0.914	[ ]
自粛下、飲酒量は変わったか?	増えた	70	67.1	32.9		
	減った	55	81.8	18.2	0.007	[**]
自粛下、喫煙量は変わったか?	増えた	77	59.7	40.3		
	減った	12	91.7	8.3	0.084	[ ]
自粛下、パートナーとの間での暴力行為は?	増えた	32	65.6	34.4		
	暴力があった	22	50.0	50.0	0.037	[*]
自粛下、暴力行為の種類は、いくつでも	なかった	335	71.0	29.0		
	身体的な暴力	10	60.0	40.0	-	-
	性的な暴力	8	25.0	75.0		
	精神的な暴力	11	63.6	36.4		
	経済的な暴力	2	50.0	50.0		
	社会的な暴力	0	0.0	0.0		

表9-5. 自肅下におけるセックスの回数の変化(男性)

		自肅下におけるセックスの回数				p値	判定
		合計	減った	増えた			
自肅下、暴力はどちらから？	全体	564	70.6	29.4			
	相手から振るわれた	23	87.0	13.0	0.002	[**]	
	相手に振るったお互いに振るった	18	38.9	61.1			
自肅下、パートナー間での暴力の頻度は？	減った	15	80.0	20.0	0.039	[*]	
	増えた	14	42.9	57.1			
自肅下、自慰の頻度は？	減った	66	77.3	22.7	0.016	[*]	
	増えた	149	60.4	39.6			
自肅下、セックスの回数は？	減った	398	100.0	0.0	0.000	[**]	
	増えた	166	0.0	100.0			
自肅下、パートナー以外とのセックスの有無	していない	382	78.0	22.0	0.000	[**]	
	した	182	54.9	45.1			
自肅下、主な避妊法の種類	女性避妊法	31	35.5	64.5	0.000	[**]	
	男性避妊法	378	71.7	28.3			
自肅下、緊急避妊を利用したか？	利用した	39	48.7	51.3	0.002	[**]	
	利用していない	464	72.0	28.0			
自肅下、妊娠したか	はい	42	59.5	40.5	0.103	[ ]	
	いいえ	522	71.5	28.5			
自肅下、妊娠の結末は？	妊娠を継続した	36	63.9	36.1	0.158	[ ]	
	人工妊娠中絶した	6	33.3	66.7			

表9-6. 自肅下におけるセックスの回数の変化(女性)

		自肅下におけるセックスの回数				p値	判定
		合計	減った	増えた			
自肅下、暴力はどちらから？	全体	397	70.0	30.0			
	相手から振るわれた	15	46.7	53.3	0.819	[ ]	
	相手に振るった	3	66.7	33.3			
	お互いに振るった	4	50.0	50.0			
自肅下、パートナー間での暴力の頻度は？	減った	6	83.3	16.7	0.079	[ ]	
	増えた	6	33.3	66.7			
自肅下、自慰の頻度は？	減った	40	75.0	25.0	0.001	[**]	
	増えた	50	40.0	60.0			
自肅下、セックスの回数は？	減った	278	100.0	0.0	0.000	[**]	
	増えた	119	0.0	100.0			
自肅下、パートナー以外とのセックスの有無	していない	308	77.3	22.7	0.000	[**]	
	した	89	44.9	55.1			
自肅下、主な避妊法の種類	女性避妊法	34	61.8	38.2	0.478	[ ]	
	男性避妊法	252	67.9	32.1			
自肅下、緊急避妊を利用したか？	利用した	23	21.7	78.3	0.000	[**]	
	利用していない	337	72.1	27.9			
自肅下、妊娠したか	はい	33	51.5	48.5	0.015	[*]	
	いいえ	364	71.7	28.3			
自肅下、妊娠の結末は？	妊娠を継続した	30	50.0	50.0	0.582	[ ]	
	人工妊娠中絶した	3	66.7	33.3			

表9-7. 自肅下におけるセックスの回数の変化(男性)

		自肅下におけるセックスの回数				p値	判定
		合計	減った	増えた			
自肅下、中絶をした理由を3つまで	全体	564	70.6	29.4			
	パートナーに勧められた	4	25.0	75.0			
	親や親族に勧められた	1	0.0	100.0			
	友人に勧められた	0	0.0	0.0			
	コロナウイルス流行と子供への影響が心配だった	2	50.0	50.0			
	経済的に	1	0.0	100.0			
	自身(あなたのパートナー)の体調を考慮して	0	0.0	0.0			
年齢	その他	1	100.0	0.0			
	20歳代	131	58.8	41.2	0.000	[**]	
	30歳代	117	70.1	29.9			
	40歳代	143	63.6	36.4			
	50歳代	84	84.5	15.5			
	60歳代	89	86.5	13.5			
年齢	20歳代・30歳代	248	64.1	35.9	0.003	[**]	
	40～69歳	316	75.6	24.4			
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	82	74.4	25.6	0.362	[ ]	
	そうは思わない	306	69.0	31.0			
	わからない	173	72.3	27.7			
	その他	3	33.3	66.7			
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	82	74.4	25.6	0.340	[ ]	
	そうは思わない	306	69.0	31.0			

表9-8. 自肅下におけるセックスの回数の変化(女性)

		自肅下におけるセックスの回数				p値	判定
		合計	減った	増えた			
自肅下、中絶をした理由を3つまで	全体	397	70.0	30.0			
	パートナーに勧められた	1	100.0	0.0			
	親や親族に勧められた	0	0.0	0.0			
	友人に勧められた	1	0.0	100.0			
	コロナウイルス流行と子供への影響が心配だった	0	0.0	0.0			
	経済的に	0	0.0	0.0			
	自身(あなたのパートナー)の体調を考慮して	0	0.0	0.0			
年齢	その他	1	100.0	0.0			
	20歳代	137	71.5	28.5	0.325	[ ]	
	30歳代	109	62.4	37.6			
	40歳代	92	72.8	27.2			
	50歳代	35	77.1	22.9			
	60歳代	24	75.0	25.0			
年齢	20歳代・30歳代	246	67.5	32.5	0.158	[ ]	
	40～69歳	151	74.2	25.8			
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	59	64.4	35.6	0.263	[ ]	
	そうは思わない	238	68.5	31.5			
	わからない	98	76.5	23.5			
	その他	2	100.0	0.0			
自肅下、不妊治療は不要不急か？	そう思う	59	64.4	35.6	0.549	[ ]	
	そうは思わない	238	68.5	31.5			

【調査表】

～調査にご協力いただく皆様へ～

未だ人類が経験したことのない新型コロナウイルス感染症。緊急事態宣言が発出され、自粛を求められたことから、皆さんの生活にも大きな変化があったに違いありません。このアンケート調査は、特に自粛生活を余儀なくされた頃を振り返って、以前の生活とどう変わったかなどについて、率直な意見をうかがい、将来に備える資料を収集することを目的に行うものです。

アンケートでご回答頂きました情報は、統計的な処理を行い、個人を特定できない情報として使用されますので、プライバシーにかかわる情報が公表されることは決してございません。また、取得したアンケート結果は個人の業績や評価を判断するものには一切使用致しません。

SA

P1

当アンケートには、「性に関する内容」や「暴力行為」についてお伺いする設問が含まれております。なお、当アンケートにより取得した回答結果につきましては、個人が特定されない形で処理し、統計的な調査結果としてのみ利用されます。本件趣旨にご同意いただける方は、ご回答をお願い致します。

- 1 同意する
- 2 同意しない

→対象外

改ページ

大項目 1-1 個人属性（コロナの影響が変化が少ない項目）一般項目

MA

SC1

あなたご自身やあなたのご家族の方に、次のようなところにお勤めの方はいらっしゃいますか。あてはまるものをすべてお知らせください。

- 1 エネルギー・素材・産業機械
- 2 食品
- 3 飲料・嗜好品
- 4 薬品・医療用品
- 5 化粧品・トイレタリー・サニタリー
- 6 ファッション・アクセサリー
- 7 精密機械・事務用品
- 8 家電・AV機器
- 9 自動車・輸送機器
- 10 家庭用品
- 11 趣味・スポーツ用品
- 12 不動産・住宅設備
- 13 情報・通信

- 14 流通・小売業
- 15 金融・保険
- 16 交通・レジャー
- 17 外食・各種サービス
- 18 官公庁・団体
- 19 教育・医療サービス・宗教
- 20 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・広告等マスコミ関係
- 21 市場調査
- 22 その他
- 23 あてはまるものはない

排他

改ページ

- SA SC2 あなたの性別をお知らせください。
- 1 男性
  - 2 女性
  - 3 その他

改ページ

- NU SC3 あなたの年齢は、満何歳ですか。
- 満  歳

改ページ

- SA SC4 あなたのお住まい(都道府県)をお知らせください。
- ▼

改ページ

- SA SC5 現在、あなたは結婚していらっしゃいますか。
- 1 未婚
  - 2 既婚(初婚)
  - 3 既婚(再婚以上)
  - 4 既婚(死別)
  - 5 離婚

改ページ

【 SC5 = 2~3 】

- SA SC6 ご夫婦の現在の就労状況をお選びください。
- ※ フルタイムには自営業やフリーランスも含まれます。

- 1 共働き(共にフルタイム)
- 2 共働き(夫はフルタイム、妻はフルタイムではない)
- 3 共働き(妻はフルタイム、夫はフルタイムではない)
- 4 夫のみ就労
- 5 妻のみ就労

改ページ

SA SC7\_A あなたにはお子さまがいらっしゃいますか。

- 1 子供はいない
- 2 子供がいる  2ケタ 人

改ページ

【 SC7\_A = 2 】

SA SC7\_B あなたは同居中のお子様は何人いらっしゃいますか。

人

改ページ

SA SC8 あなたの主な職業は、どれにあてはまりますか。

- 1 勤め人(常勤)
- 2 勤め人(非常勤、パートタイム、アルバイトなど)
- 3 自営業(事業の経営者、家業の手伝い、フリーランスなど)
- 4 学生
- 5 主婦・主夫 ← SC5 = 2~3 のみ表示
- 6 現在は働いていない

改ページ

SA SC9 あなたの最終学歴を以下の項目からお選びください。

※ 大学在学中の方は、「高等学校卒」をお選びください。

- 1 中学校卒
- 2 高等学校卒
- 3 専門学校卒
- 4 短期大学卒
- 5 高等専門学校（高専）卒
- 6 大学卒
- 7 大学院卒
- 8 海外大学卒

改ページ

NU SC10\_A あなたは1日あたりに平均でどれくらい働いていますか。

1日あたり

| 2ケタ

時間

2ケタ

分

改ページ

NU SC10\_B あなたは1週間に平均でどれくらい働いていますか。

1週間あたり

| 2ケタ

日

改ページ

SA SC11 あなたご自身の昨年 (2019年)の年収を教えてください。

- 1 100万円未満
- 2 100～200万円未満
- 3 200～300万円未満
- 4 300～400万円未満
- 5 400～500万円未満
- 6 500～600万円未満
- 7 600～800万円未満
- 8 800～1,000万円未満
- 9 1,000万円以上

改ページ

大項目1-1 個人属性 (セックスに関わる) 一般項目

SA Q1 あなたはこれまでにセックス(性交渉)をしたことがありますか?

- 1 ある
- 2 ない

改ページ

SA Q2 あなたにはパートナー (配偶者、恋人など) がいますか。

- 1 いる
- 2 いない

改ページ

大項目2 個人属性 (コロナの影響で変化し得る項目)

以降の設問は、2020年に公布された新型コロナウイルスによる「緊急事態宣言」前後(2020年3月下旬～5月下旬)での生活についておうかがいします。

※2020年3月下旬～5月下旬ということを常に表示するようにする

SA Q3 この時期におけるあなたの心境について最も近いものを教えてください。

- 1 充実していた
- 2 やや充実していた

- 3 やや充実していなかった
- 4 充実していなかった

改ページ

- SA Q4 この時期に、あなた自身は自宅で過ごす時間は変わりましたか。
- 1 減った
  - 2 変わらない
  - 3 増えた

改ページ

- SA Q5 この時期に、あなた自身は在宅勤務をしましたか。  
※ 働いている人だけ
- 1 在宅勤務をした（新たに始まった）
  - 2 在宅勤務をした（もともと在宅勤務をしていた）
  - 3 在宅勤務はしていない

改ページ

- SA Q6 この時期に、あなた自身の休日の頻度は変わりましたか。  
※ 働いている人だけ
- 1 減った
  - 2 変わらない
  - 3 増えた

改ページ

- SA Q7 この時期に、あなた自身は失業しましたか。  
※ 2 回以上の場合は 1 回目の時期をお答えください
- 1 した
  - 2 しなかった

改ページ

- SA Q8 この時期に、あなた自身は休業しましたか。  
（会社からの休業命令あるいは自営業の場合は自主的な休業の有無）  
※ 2 回以上の場合は 1 回目の時期をお答えください
- 1 した
  - 2 しなかった

改ページ

- SA Q9 この時期に、あなた自身の収入は変わりましたか。

※ 月収とボーナスを含めてお答えください

※ 働いている人だけ

- 1 減った
- 2 変わらない
- 3 増えた

改ページ

SA Q10 この時期に、あなたにはパートナー（配偶者、恋人など）はいましたか。

- 1 いた

改ページ

【 Q10=1 】

SA Q11 この時期に、あなたとパートナーとの関係はいかがでしたか。

- 1 良好だったと思う
- 2 悪くなったと思う
- 3 変わらなかったと思う

改ページ

SA Q12 この時期に、あなた自身は子供と過ごす時間は変わりましたか。

※ 子供がいると答えたひとだけ

- 1 減った
- 2 変わらない
- 3 増えた

改ページ

SA Q13 この時期に、あなたは子供を預ける場所（幼稚園、保育所など）はありましたか。

- 1 あった
- 2 なかった
- 3 子供は預けていなかった

改ページ

SA Q14 この時期に、あなた自身は結婚しましたか。

※ 2回以上の場合は1回目の時期をお答えください

- 1 した
- 2 しなかった

改ページ

- SA Q15 この時期に、あなた自身は離婚しましたか。
- 1 した
  - 2 しなかった

改ページ

- SA Q16 この時期に、あなた自身の運動習慣は変わりましたか。
- 1 減った
  - 2 変わらない
  - 3 増えた
  - 4 もともと運動習慣はない

改ページ

- SA Q17 この時期に、あなた自身の飲酒量は変わりましたか。
- 1 減った
  - 2 変わらない
  - 3 増えた
  - 4 もともと飲酒の習慣はない

改ページ

- SA Q18 この時期に、あなた自身の喫煙量は変わりましたか。
- 1 減った
  - 2 変わらない
  - 3 増えた
  - 4 もともと喫煙する習慣はない

改ページ

大項目3 個人属性（コロナの影響で変化し得る性行動・妊娠に関わる項目）

以降の設問は、2020年に公布された新型コロナウイルスによる「緊急事態宣言」前後（2020年3月下旬～5月下旬）での生活についておうかがいします。

※ 2020年3月下旬～5月下旬ということを常に表示するようにする

- SA Q19 この時期に、あなた自身の自慰（マスターベーション）の頻度が変わりましたか。
- 1 減った
  - 2 変わらなかった
  - 3 増えた
  - 4 していない／したことがない

改ページ

【 Q1 = 1 】

- SA Q20 この時期に、あなた自身のセックス回数は変わりましたか。
- 1 減った
  - 2 変わらなかった
  - 3 増えた
  - 4 していない

改ページ

【 Q20 = 1 】

- SA Q21 その理由に一番近いのはどれですか。
- 1 外出を控えていた
  - 2 機会がなかった。
  - 3 その気になれなかった
  - 4 本人あるいは相手がコロナに感染した
  - 5 その他 ( 100 文字 )

改ページ

【 Q1 = 1 】

- SA Q22 (浮気、不倫、性風俗の利用を含む)
- 1 していない
  - 2 特定の人物 1 人としている
  - 3 特定の人物 2 人以上としている
  - 4 出会い系やナンパ等でなりゆきでした
  - 5 特定の人物と、なりゆきの両方でした

改ページ

【 Q22 ≠ 1 】

- SA Q23 この時期のセックスに際しての主な避妊方法は次のうちどれでしたか。
- 1 コンドーム
  - 2 膈外射精法(外出し)
  - 3 オギノ式避妊法(月経からの日数計算)
  - 4 経口避妊薬・ピル
  - 5 基礎体温を測る
  - 6 不妊手術(精管や卵管の手術)
  - 7 殺精子剤(錠剤、ゼリー・フィルム)
  - 8 子宮内避妊具(銅付加子宮内避妊具、ミレーナ、リングなど)
  - 9 膈内を洗う

- 10 その他 ( 100 文字 )  
11 避妊はしなかった

改ページ

- SA Q24 この時期のセックスで、コンドームが破れた、外れた、レイプされたなどで、性交後 72 時間以内に対処する最後の避妊法（緊急避妊法）を本人または相手が利用しましたか。
- 1 (1 回だけ) 利用した
  - 2 (2 回以上) 利用した
  - 3 利用していない
  - 4 緊急避妊法という意味がわからない

改ページ

- SA Q25 この時期に、あなた（あるいはあなたのパートナー）は妊娠を経験しましたか。
- 1 はい
  - 2 いいえ

改ページ

【 Q25 = 1 】

- SA Q26 妊娠が判明した後、あなた（あなたのパートナー）は怎么样了か。
- 1 妊娠を継続した
  - 2 人工妊娠中絶した

改ページ

【 Q26 = 2 】

- SA Q27 中絶の理由で近いものを 3 つまで選んでください。
- 1 パートナーに勧められた
  - 2 親や親族に勧められた
  - 3 友人に勧められた
  - 4 コロナ流行と子供への影響が心配だった
  - 5 経済的に
  - 6 自身の体調を考慮して
  - 7 その他 ( 100 文字 )

改ページ

大項目 4 個人属性（コロナの影響で変化し得る家庭環境に関わる項目）

以降の設問は、2020年に公布された新型コロナウイルスによる「緊急事態宣言」前後（2020年3月下旬～5月下旬）での生活についておうかがいします。

※ 2020年3月下旬～5月下旬ということを常に表示するようにする

- SA Q28 この時期に、あなたはパートナーから暴力行為（身体的・性的・精神的な乱暴行為）はありましたか。
- ※ ご自身が暴力を振るってしまった場合も「あった」とお答えください
- 1 あった（現在もある）
  - 2 あった（現在はない）
  - 3 なかった ※ 「なかった」と答えた人はここで終了

改ページ

【 Q28 = 1～2 】

- MA Q29 どのような暴力行為に当てはまりますか。
- 1 身体的な暴力（殴る、蹴る、叩く、刺す、など）
  - 2 性的な暴力（セックスの強要、性器を見せる、など）
  - 3 精神的な暴力（暴言、強迫、差別的な発言、無視されるなど）
  - 4 経済的な暴力（生活費を渡さない、借金を作る・強制するなど）
  - 5 社会的な暴力（常に行動を監視される、外出を制限されるなど）

改ページ

【 Q28 = 1～2 】

- SA Q30 それは次のどちらに当てはまりますか。
- 1 同居者から振るわれた
  - 2 同居者に対して自分が振るってしまった

改ページ

【 Q28 = 1～2 】

- SA Q31 この時期に、家庭内での暴力行為の頻度は変わりましたか。
- 1 減った
  - 2 変わらない
  - 3 増えた

改ページ

- SA Q32 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、不妊治療（人工授精や体外受精胚移植など）で通院することは、「不要不急」とあるという意見がありました。

これについて、あなたの気持ちに近いものを選んでください。

- 1 その思う
- 2 そうは思わない
- 3 わからない
- 4 その他 ( 100 文字 )

## 回答データの精査と分析用データの作成

研究協力者 守泉理恵（国立社会保障・人口問題研究所）

### I. はじめに

インターネット調査会社の基準に照らして有効回答とされた10,000サンプルのデータセットについて、さらにデータの精査を行い、分析に用いる確定データセットを作成した。ここでは、自由回答のレコード及び不正回答者の抽出の2つの作業を行った。

なお、本調査は2020年10月に実施されているが、設問の多くは2020年3月下旬から5月下旬の3ヶ月間の状況について尋ねている。これ以降、この3ヶ月間については、「この時期」という言葉を用いる。

### II. 「問23 主な避妊方法」のレコード

本調査では、「この時期」における「セックス回数が減った理由」(問21)、「主な避妊方法」(問23)、「中絶の理由」(問27)、「不妊治療に対する考え方」(問32)の4問において「その他」の選択肢があり、これを選んだ場合は、その内容を具体的に自由記述にて回答することが必

須になっている。中絶理由と、不妊治療に対する考え方については、自由回答を確認した上でそのままとしたが、問23「主な避妊方法」については、その他の自由回答のほとんどが「セックス自体していない」というものであった。そこで、「この時期」のセックス回数をたずねた問20の「4.していない」という選択肢への回答を用いて、避妊回数の回答をレコードすることとした。この一連の修正作業では、問20「セックス回数」、問21「セックス回数が減った理由」(問20で「1.減った」を選択した人のみ回答)、問23「主な避妊方法」を一体的に修正した。

具体的な手順は次の通りである。まず、問23「主な避妊方法」で、「10.その他」と回答した928人のうち、「そもそもセックス自体していない」に該当しない自由回答をチェックしたところ、表1に示すように7ケースあった。これらについては、それぞれ適切と考えられる他の番号へレコードした。

表1. 問23「主な避妊方法」のその他自由回答のレコード一覧

「10 その他」の記述内容（セックスレス以外）	レコード
外に出す	2（膣外射精法）
パイプカット	6（不妊手術）
避妊の必要のない性行為をしていた	11（避妊はしなかった）
避妊の必要はない	11（避妊はしなかった）
生理が止まった	11（避妊はしなかった）
閉経している	11（避妊はしなかった）
生理はない	11（避妊はしなかった）

次に、「この時期」に「セックス回数は変わったか」(問20)という設問に対して、「4.していない」を選択したサンプルは、「問23 主な避妊方法」では全員「非該当」とした。また、セックス回数で「1.減った」または「2.変わらなかった」と回答し、避妊方法で「その他」を

選択したケースが60あったが、その具体的記述内容を確認したところ、全員が「セックス自体していない」に類する回答をしていた。そのため、避妊方法の問では、この60名も非該当とすることが適切と判断した。

表2は、以上の修正を視覚的に示したもので

ある。網掛け・太字になっている部分に該当する回答をした対象者は、「主な避妊方法」の回答を「非該当」に記録した。

表2. 避妊方法の回答データの修正箇所を示したクロス表(度数)

おもな避妊方法 (7ケースの記録後)	q24 この時期にセックス回数は変わったか				
	減った	変わらなかった	増えた	していない	合計
コンドーム	364	1,457	127	<b>712</b>	2,660
膣外射精法 (外出し)	85	406	61	<b>85</b>	637
オギノ式避妊法 (月経からの日数計算)	4	15	7	<b>3</b>	29
経口避妊薬・ピル	20	51	10	<b>14</b>	95
基礎体温を測る	3	12	7	<b>26</b>	48
不妊手術 (精管や卵管の手術)	0	3	3	<b>4</b>	10
殺精子剤 (錠剤、ゼリー・フィルム)	2	0	5	<b>1</b>	8
子宮内避妊具 (銅付加子宮内 避妊具、ミレーナ、リングなど)	1	11	0	<b>4</b>	16
膣内を洗う	3	7	4	<b>4</b>	18
その他	<b>20</b>	<b>40</b>	0	<b>861</b>	922
避妊はしなかった	182	1,334	61	<b>2,550</b>	4,126
総数	684	3,336	285	<b>4,264</b>	8,569

注：本設問は、「性交渉経験あり」のサンプルに限定された問であるため、総数は10,000にならない。

「この時期」の主な避妊方法の回答データを修正した結果、修正前後でその度数分布は表3のように変化した。

表3. 避妊方法の回答データの分布の比較:修正前・修正後

「この時期」の おもな避妊方法	修正前		修正後	
	(度数)	%	(度数)	%
コンドーム	(2,660)	31.0	(1,948)	45.9
膣外射精法 (外出し)	(636)	7.4	(552)	13.0
オギノ式避妊法 (月経からの日数計算)	(29)	0.3	(26)	0.6
経口避妊薬・ピル	(95)	1.1	(81)	1.9
基礎体温を測る	(48)	0.6	(22)	0.5
不妊手術 (精管や卵管の手術)	(9)	0.1	(6)	0.1
殺精子剤 (錠剤、ゼリー・フィルム)	(8)	0.1	(7)	0.2

子宮内避妊具（銅付加子宮内避妊具、ミレーナ、リングなど）	(16)	0.2	(12)	0.3
膣内を洗う	(18)	0.2	(14)	0.3
その他	(928)	10.8	—	—
避妊はしなかった	(4,122)	48.1	(1,577)	37.1
合計	(8,569)	100.0	(4,245)	100.0
非該当（セックスしていない）			(4,324)	
非該当（性交経験なし）	(1,431)		(1,431)	
総数	(10,000)		(10,000)	

### Ⅲ. 「問 20 セックス回数」のリコード

避妊方法の回答データ修正に対応して、問20「セックス回数は変わったか」の回答データも修正した。修正後の避妊方法データで、「非該当」となったサンプルは、セックス回数データでは「4.していない」に該当する。つまり、ここでは、セックス回数が「減った」または「変

わらなかつた」と回答し、かつ避妊方法で「その他:セックスしていない」と回答した60名が、問20のセックス回数データにおいて「4.していない」にリコードされた。この修正の結果、セックス回数への回答の度数分布は表4のように変化した。

表4. セックス回数の回答データの分布の比較

セックス回数	修正前		修正後	
	(度数)	%	(度数)	%
減った	(684)	8.0	(664)	7.7
変わらなかった	(3,336)	38.9	(3,296)	38.5
増えた	(285)	3.3	(285)	3.3
していない	(4,264)	49.8	(4,324)	50.5
合計	(8,569)	100.0	(8,569)	100.0
システム欠損値 (=性交経験なし)	(1,431)		(1,431)	
総数	(10,000)		(10,000)	

### Ⅳ. 「問 21 セックス回数が減った理由」のリコード

問20の修正で「1.減った」の度数が変わったため、問21「セックス回数が減った理由」

のデータも修正した。まず、問21で「その他」と回答した41名の具体的記述内容を確認し、他の選択肢に該当する11ケースを表5の通りリコードした。

表5. 問21「セックス回数が減った理由」のその他自由回答のリコード一覧

「5その他」の記述内容	リコード
他県に行かない	1 (外出を控えていた)
基本的に金出し専門なので、やはり薬ができるまでは風俗系には行けないので減りました。	1 (外出を控えていた)
フランス人の恋人が日本に来れなかったから	2 (機会がなかった)
パートナーが出張から帰って来れず	2 (機会がなかった)
夫が単身赴任になった	2 (機会がなかった)
相手に会えないから	2 (機会がなかった)
単身赴任となったから	2 (機会がなかった)
遠距離恋愛になっま	2 (機会がなかった)
遠距離になった	2 (機会がなかった)
仕事に忙殺されていた	2 (機会がなかった)
仕事が忙しすぎた	2 (機会がなかった)

注：自由回答の内容は、調査回答者の入力のまま示している。

その上で、修正済の間20（セックス回数は変わったか）の回答が「1.減った」である場合だけ、問21の回答を有効とした。

これらの修正の結果、セックス回数が減った理由の度数分布は、表6の通りとなった。

表6. セックス回数が減った理由のデータ分布の比較

セックス回数が減った理由	修正前		修正後	
	(度数)	%	(度数)	%
外出を控えていた	(306)	44.7	(299)	45.0
機会がなかった	(164)	24.0	(168)	25.3
その気になれなかった	(170)	24.9	(167)	25.2
本人あるいは相手がコロナに感染した	(3)	0.4	(3)	0.5
その他	(41)	6.0	(27)	4.1
合計	(684)	100.0	(664)	100.0
非該当（性経験なし、回数減っていない）	(9,316)		(9,336)	
総数	(10,000)		(10,000)	

## V. 不正回答のチェック

調査会社から納品されたデータ（N=10,000）で配偶関係の回答を確認していたところ、「この時期」の3ヶ月間で結婚も離婚もした、と回答したサンプルが52名いた。これ自体はあり得ないことではないが、この52名の回答状況を確認したところ、それ以外のサンプルと比べて、選択肢番号「1」を選んでいる割合が非常に高かった（「結婚した」「離婚した」に該当する回答も選択肢番号「1」である）。そこで、ほぼ全ての設問において、最初の選択肢を機械的に選んだ不正回答サンプルが残っている可能性があると考え、不正回答データをチェックした。

まず、各サンプルが選択肢番号「1」を選択した回数をカウントした。ここでカウント対象としたのは、性別・居住地・子供の有無・職業等の各回答者の基本属性をたずねたフェイスシート質問以外の設問で、全員が回答することになっている17問である。集計の結果、「1」の選択数は、平均値は3.25で、右に長く裾を引く度数分布が見られた（図1）。

次に、「1」の選択数がいくつ以上だと外れ値と判定されるか、箱ひげ図を描いて確認した。上限極値は、

第三四分位+1.5×四分位範囲（IQR）、下限極値は、第一四分位-1.5×IQRとなる。ただ、この方法の場合、両側0.35%は必ず外れ値判定されるため、サンプル数が多いほど、外れ値判定されるサンプル数は多くなる。総数10,000で箱ひげ図を描くと、「1」選択8回以上が外れ値となり、これに該当するサンプル数は142であった。これでは不正回答ではないサンプルも含まれてしまうと考え、「この時期」に結婚および／または離婚をしたと回答した278サンプルに限定して同様の分析をしたところ、外れ値は13回以上との判定になった。これに該当するサンプル数は20であった。総数の場合と、結婚／離婚経験サンプルに限定した場合のデータ統計量は表7に示した。

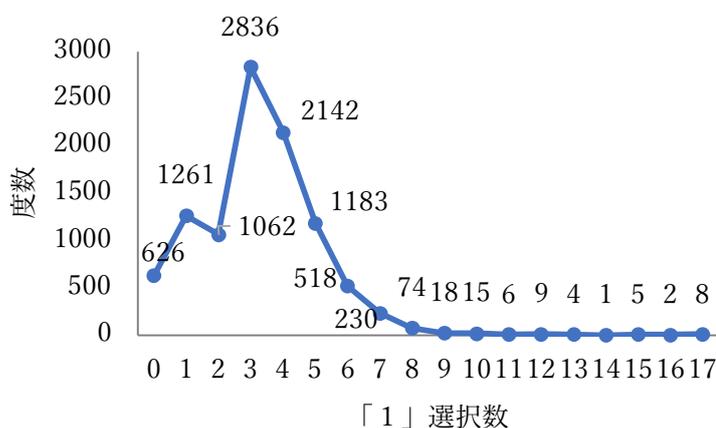


図1. 「1」選択数の度数分布

表7. 総数及び結婚／離婚経験者限定のデータセットの統計量

統計量	総数	結婚 and/or 離婚あり
サンプル数	10,000	278
平均値	3.25	6.7
—95% 信頼区間（下限）	3.21	6.32
—95% 信頼区間（上限）	3.28	7.08
5%トリム平均	3.19	6.39
中央値	3	6
分散	3.384	10.479
標準偏差	1.839	3.237

最小値	0	2
最大値	17	17
範囲	17	15
4分位範囲	2	3
—第一四分位数	2	5
—第二四分位数	3	6
—第三四分位数	4	8
歪度	0.886	1.494
尖度	4.328	2.132

箱ひげ図での外れ値判定では、「1」選択数が8回と13回の二つの基準が見出せたが、より厳しく13回を採用することとし、さらに配偶関係に関する回答状況で二重にチェックして絞り込むこととした。13回以上「1」を選択した20サンプルのうち、18名は「この時期」に結婚も離婚もしたと回答し、1名は結婚あり・離婚なし、もう1名は結婚も離婚もしていないと回答していた。本調査は2020年10月に実施されており、フェイスシートでは10月の調査時点での配偶関係もたずねているが、「この時期」に結婚も離婚もしたと答えた18名のうち、10名は調査時の配偶関係として「1.未婚」を選択していた。

この10名の「1」選択数は、すべて1を意味する「17」が6名、「15」が2名、「14」と「13」が1名ずつであった。

以上の分析から、選択肢番号「1」を13回以上選択しており、「この時期」に結婚も離婚もしたと回答しながら現在の配偶関係を「未婚」と答えたこの10名は、機械的に1を選択した不正回答者の確率が高いとみなし、分析データセットから除外することとした。除外したサンプルの基本属性は表8の通りである。本報告書では、総数9,990サンプルのデータセットで分析を行う。

表8. 除外サンプルの属性

No.	「1」 選択数	性別	年齢	居住地	配偶 関係	子供 有無	主な職業	最終 学歴	昨年年収 (万円)
1	17	女性	28	三重県	未婚	なし	勤め人(常勤)	高校	300-400
2	17	女性	29	神奈川県	未婚	なし	勤め人(常勤)	高校	400-500
3	15	男性	37	山口県	未婚	なし	勤め人(常勤)	高校	200-300
4	17	男性	25	栃木県	未婚	なし	勤め人(常勤)	大学	600-800
5	17	男性	30	茨城県	未婚	なし	勤め人(常勤)	高専	100-200
6	17	男性	32	埼玉県	未婚	なし	勤め人(常勤)	大学	200-300
7	13	女性	23	茨城県	未婚	なし	勤め人(非常勤)	高校	800-1000
8	17	男性	25	千葉県	未婚	なし	勤め人(常勤)	大学	600-800
9	14	男性	25	北海道	未婚	なし	勤め人(常勤)	中学	1000+
10	15	男性	40	愛知県	未婚	なし	勤め人(常勤)	大学	800-1000

「コロナ禍における第一次緊急事態宣言下の日本人1万人調査」の結果から  
ー変化に関する分析ー

研究協力者 林 玲子（国立社会保障・人口問題研究所）

I. はじめに

新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」とする）の流行は、日本においては2020年に3,414人の死者をもたらした（WHO 2021）。しかしながら、2020年の総死者数は人口動態統計速報ベースで1,384,544人と、2019年と比べ9,373人減少した。死亡減少は肺炎、心疾患、脳血管疾患、インフルエンザ、慢性閉塞性肺疾患で認められ、マスクの着用や三密防止といった行動変容が死亡者を減少させたと考えられる（林他 2021）。

一方、第一次緊急事態宣言下の2020年4月～5月に例年よりも著しく減った自殺は、その後10月をピークに大きく増加し、2010年から続いていた自殺者数減少の傾向を止め、反転させた。自殺の増加は女性、若者に顕著であり、この増加は長引くコロナ対策が、日常生活に影響を与えた結果であると考えられよう。つまり、コロナの影響は日本の場合、その直接的な感染による健康障害や死亡よりも、感染対策による行動

変容が人びとの生活に大きな影響を与えたと考えられるのである。

本稿では、2020年10月に実施された「日本における第一次緊急事態宣言下の1万人調査」を用い、特にコロナによる生活の変化についての設問を中心に、詳細分析するものである。まずネットモニター調査によるサンプルの偏りを把握するために全数統計である国勢調査、人口動態統計と比較しデータの特徴を明らかにし、次いで性行動を含む日常生活の変化を分析する。

II. データの特徴

1. 国勢調査との比較

本調査はインターネットによるモニター調査であることから、全数調査である国勢調査と比べ、どの程度サンプルに偏りがあるかを検証した。有意水準は5%とし、誤差範囲errを次式で計算した。

$$\text{err} = 1.96 \times \sqrt{p \times (1 - p) / n}$$

p: 該当項目の割合、n: サンプル数

まず配偶関係を比べると（**図1**）、本調査は未婚者が多く有配偶者が少ない。離別・死別は対

象が20～60代であるため割合は少ないが、離別者の割合は誤差範囲内に収まっている。

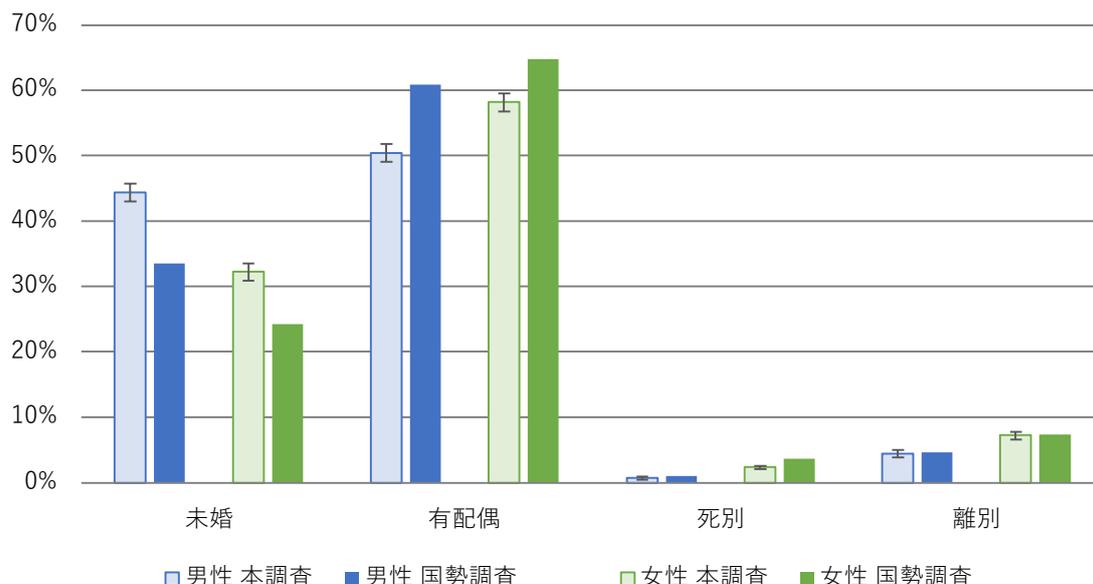


図1. 配偶関係構成割合の比較

注: 国勢調査は2015年、20～69歳、不詳を除いた割合。範囲は95%信頼区間

就業状況について、本調査の設問と2015年国勢調査の「従業上の地位」および「労働力状態」の構成割合を比較した。両調査の項目表章は異なっているため、に示したように対応さ

せ構成割合を比較すると、本調査は常勤の勤め人、女性の非労働者が多く、非常勤の勤め人、自営業が少ない(図2)。主婦の割合は誤差範囲内に収まっている。

表1. 就業状況の項目対応表

本調査選択肢	国勢調査 (2015年)	
	設問	選択肢
勤め人 (常勤)	従業上の地位	雇用者 正規の職員・従業員
勤め人 (非常勤、パートタイム、アルバイトなど)	従業上の地位	雇用者 労働者派遣事業所の派遣社員
		雇用者 パート・アルバイト・その他
自営業 (事業の経営者、家業の手伝い、フリーランスなど)	従業上の地位	役員
		雇人のある業主
		雇人のない業主
		家族従業者 家庭内職者
学生	労働力状態	通学
主婦・主夫	労働力状態	家事
現在は働いていない (非労働)	労働力状態	完全失業者
		その他

表2. 就業状況の項目対応表

本調査選択肢	国勢調査（2015年）	
	設問	選択肢
勤め人（常勤）	従業上の地位	雇用者 正規の職員・従業員
勤め人（非常勤、パートタイム、アルバイトなど）	従業上の地位	雇用者 労働者派遣事業所の派遣社員
		雇用者 パート・アルバイト・その他
自営業（事業の経営者、家業の手伝い、フリーランスなど）	従業上の地位	役員
		雇人のある業主
		雇人のない業主
		家族従業者
		家庭内職者
学生	労働力状態	通学
主婦・主夫	労働力状態	家事
現在は働いていない（非労働）	労働力状態	完全失業者
		その他

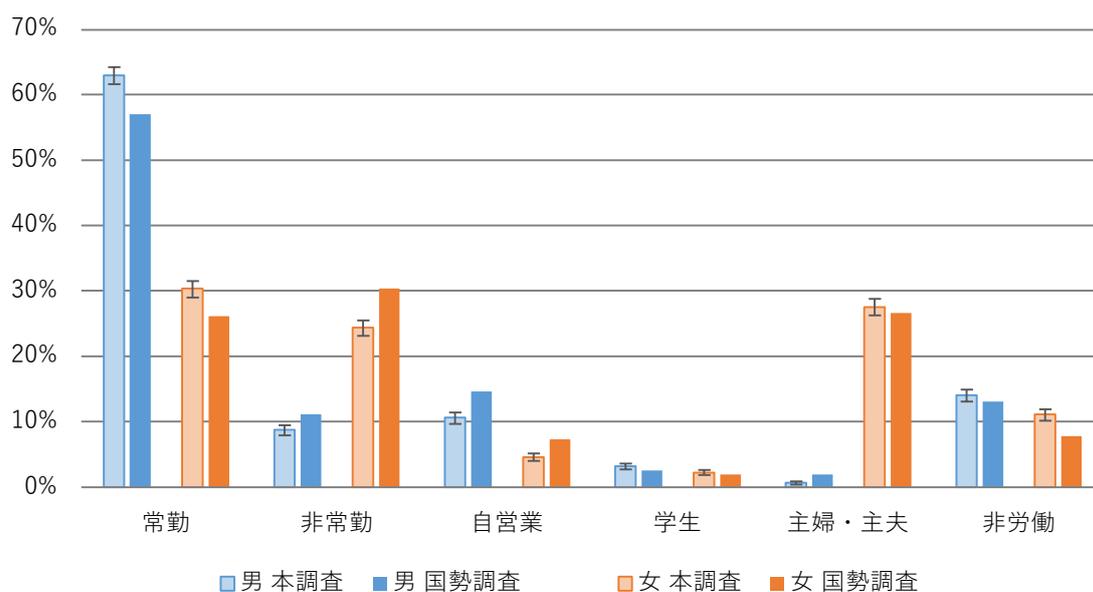


図2. 就業状況別構成割合の比較

注: 国勢調査は2015年、20～69歳、不詳を除いた割合。範囲は95%信頼区間

学歴については、2015年の国勢調査で訊かれておらず、2010年国勢調査の結果を用い、**表3**のように対応させ比較すると、本調査は中卒、高卒が少なく、短大等卒、大卒が多いことがわかる (**図3**)。しかしながら、2010年と調査実施の2020年では10年の違いがあり、世代により学歴構成が異なっていることが想定され

るため、世代別に比較した。その結果、大卒が多く、中卒・高卒が少ないという傾向は同様であった (**図4**)。男女別に構成割合でみると、男女とも本調査は大学・大学院卒が国勢調査の倍程度、高等学校卒が女性で三分の二、男性で半分程度と差が大きい (**図5**)。

表3. 学歴の項目対応表

本調査	国勢調査（2010年）
中学校卒	卒業者 小学校・中学校
高等学校卒	卒業者 高校・旧中
	在学者
専門学校卒	卒業者 短大・高専
短期大学卒	
高等専門学校（高専）卒	
大学卒	卒業者 大学・大学院
大学院卒	
-	未就学者

注: 本調査では調査票に「※ 大学在学中の方は、「高等学校卒」をお選びください」と明記されていることから、国勢調査20～69歳の在学者は同様に高等学校卒とした。また国勢調査では20～69歳で未就学者が65,417名、全体の0.1%あり、これらの人は障害を持つ人、外国人、低所得者であることが分析されているが（碓井 2017）、本調査で同様の選択肢がないことから、比較からは除いた。

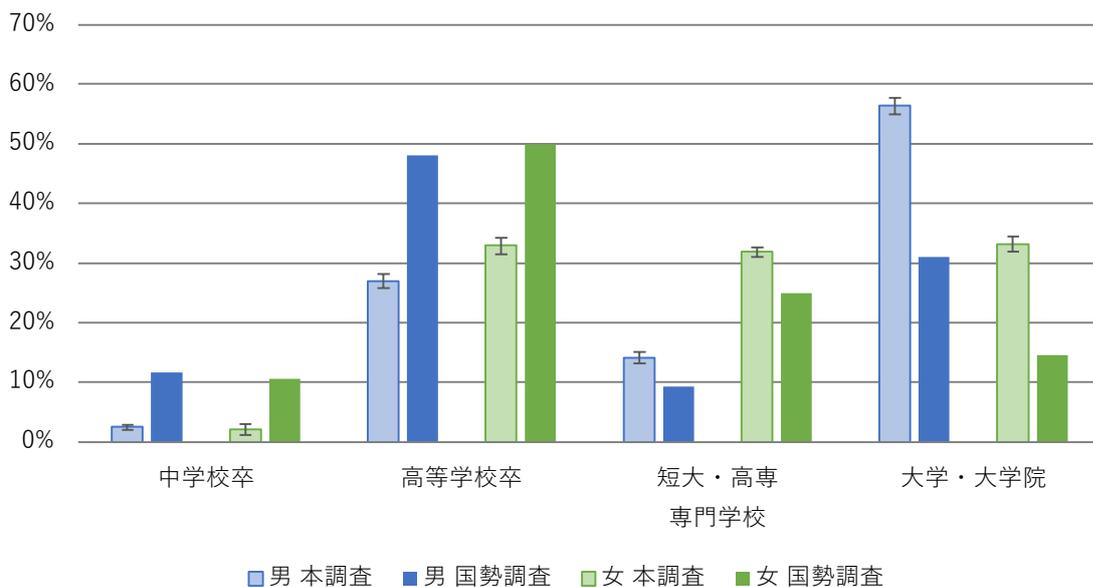


図3. 学歴別構成割合の比較

注: 国勢調査は2010年、20～69歳、不詳を除いた割合。範囲は95%信頼区間

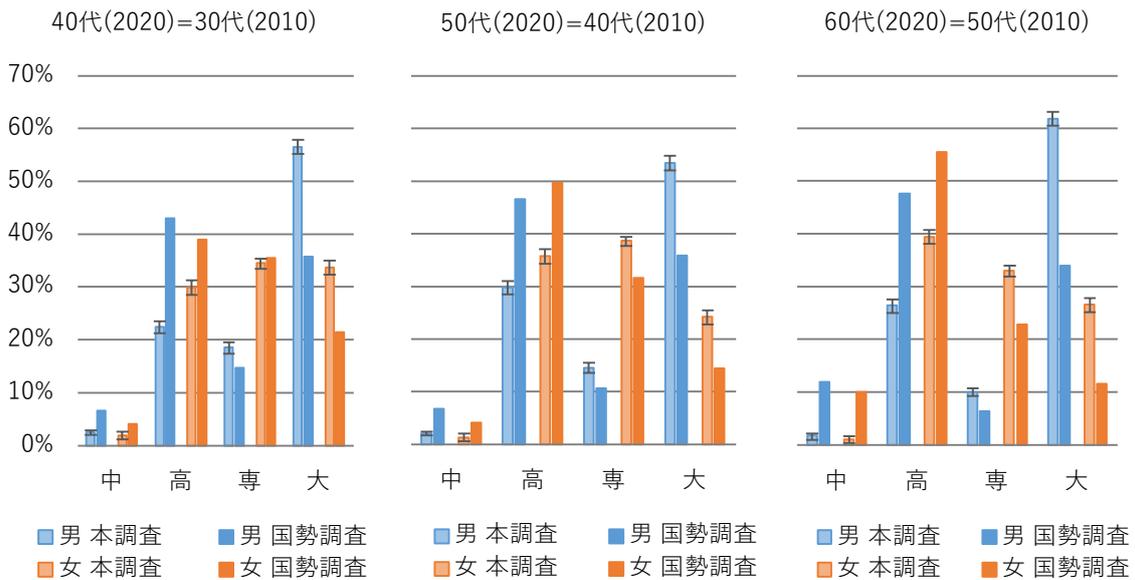


図4. 学歴別構成割合の比較(世代別)

注: 国勢調査は2010年、本調査40代は国勢調査30代、50代、60代も同様。範囲は95%信頼区間

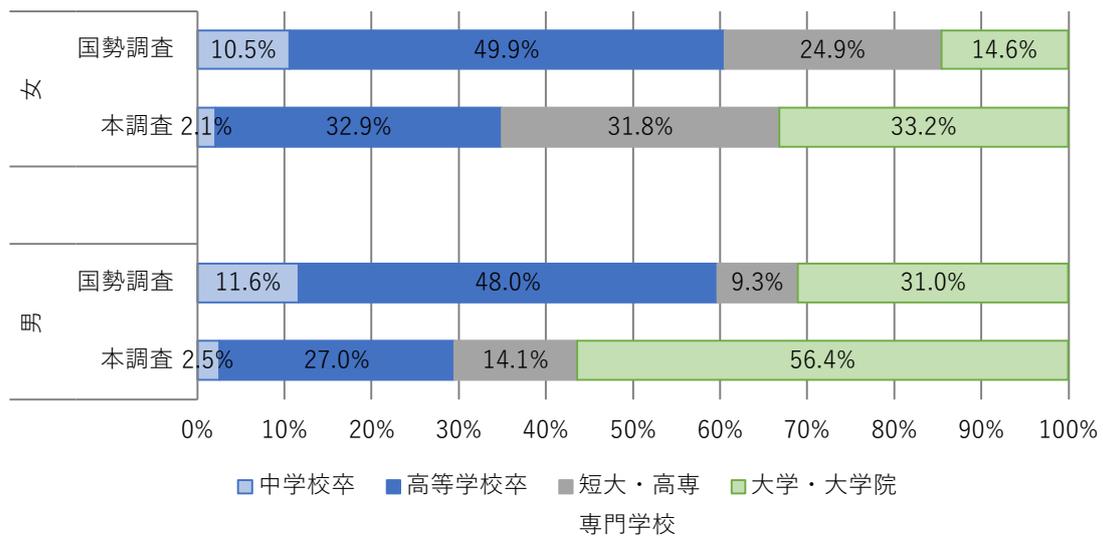


図5. 学歴別構成割合

注: 国勢調査は2010年、20~69歳、不詳を除いた割合。

本調査において、高学歴者に偏っているという点は、オンライン調査でよくみられる現象である(二瓶 2015、本多・本川 2005)。一方、労働・就業状態について常勤者が多く非常勤者が少ない、という傾向は、既存研究とは逆である。本項で確認した配偶関係、労働・就業状況、学歴のうち、配偶関係、労働・就業状況は有意差があるが大まかな割合としては国勢調査と同様であるが、学歴について

はかなりの差があると考えられる。本調査は、比較すべき紙面調査がないため、学歴により本調査内容の回答が異なるのかどうかという点は不明であり、現時点で結果を補正することは適切ではないが、学歴別に分析し、全体の傾向に違いをもたらさないか適宜確認する必要がある。

## 2. 結婚・離婚・妊娠割合の比較

本調査では、調査対象時期である緊急事態宣言前後の2020年3月下旬～5月下旬（以下「この時期」とする）に結婚したか、離婚したかを聞いている。結婚した人の割合は、全体の2.4%であった。一方、人口動態統計（厚生労働省、概報ベース）によれば、調査時期と同じ2020年3月～5月の婚姻件数は合計111,466組であった。総務省人口推計4月確定値では20代から60代の人口は7,742万人であり、婚姻割合は0.29%となる。本調査対象は、結婚した人の割合が全国値の8倍程度多い。

次いで、離婚について同様にみると、本調査では0.7%の人がこの時期に離婚したと答えている。一方人口動態統計では、3～5月の離婚件数は50,767件、離婚割合は0.13%と算出されるので、本調査の割合は人口動態統計よりも6倍程度多い。

新型コロナウイルス感染症による性行動の変化については、国内外において、感染の早い段階から家庭内暴力や望まない妊娠が増加する、という指摘があった<sup>1</sup>。一方、緊急事態宣言により家族で過ごす時間が増加することで、大停電後ベビーブーム<sup>2</sup>のように、妊娠件数が増加する可能性もある。本調査では、調査対象期間中に妊娠したかどうかを聞いているが、それが通常の妊娠確率とどの程度違うかを算定する。

本調査で2020年3月～5月の間に妊娠したと答えた人の割合は20～40代の女性で117人、そのうち中絶せずに妊娠を継続した人は109人で、20～40代女性回答者2,863人の3.8%であった。1年換算として単純に4倍すると、15.2%となる。一方全国の統計により妊娠率について試算すれば、2019年1年間の妊娠登録数は918,733件で<sup>3</sup>、20～40代の女性に対する割合は4.1%である。本調査は3.7倍程度多い。

本調査は、結婚、離婚、妊娠割合とも、全国統計と比べかなり大きいため、これらの事象が起こった人が回答しやすく、オーバーサンプルになっていることも考えられ、分析には注意が必要である。

## Ⅲ. 新型コロナウイルスによる日常生活の変化

### 1. 変化の相関

調査対象時期である緊急事態宣言前後の2020年3月下旬～5月下旬（以下「この時期」とする）、コロナに感染したなど、直接的な影響もさることながら、緊急事態宣言という行動制限により、日常生活の変化が多であったことは疑いようもない。本調査では、以下の項目についてこの時期の変化を聞いており、この時期の変化にはどのような特性があるかをみる。

表4. この時期の変化に関する設問項目

質問 No 略称	質問文	回答選択肢
Q4 自宅	この時期に、あなた自身は自宅で過ごす時間は変わりましたか。	1 減った, 2 変わらない, 3 増えた
Q6 休日	この時期に、あなた自身の休日の頻度は変わりましたか。	1 減った, 2 変わらない, 3 増えた
Q9 収入	この時期に、あなた自身の収入は変わりましたか。	1 減った, 2 変わらない, 3 増えた

<sup>1</sup> UNFPA website, 28 April 2020, <https://www.unfpa.org/news/millions-more-cases-violence-child-marriage-female-genital-mutilation-unintended-pregnancies>

<sup>2</sup> Elaine Schwartz, 15 July 2019, <https://econlife.com/2019/07/nyc->

[blackout-babies/](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15670.html)

<sup>3</sup> 厚生労働省「令和2年度の妊娠届出数の状況について」  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_15670.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15670.html)

Q11 パ関	この時期に、あなたとパートナーとの関係はいかがでしたか。	1 良好だったと思う, 2 悪くなったと思う, 3 変わらなかったと思う
Q12 子供	この時期に、あなた自身は子供と過ごす時間は変わりましたか。	1 減った, 2 変わらない, 3 増えた
Q16 運動	この時期に、あなた自身の運動習慣は変わりましたか。	1 減った, 2 変わらない, 3 増えた, 4 もともと運動習慣はない
Q17 飲酒	この時期に、あなた自身の飲酒量は変わりましたか。	1 減った, 2 変わらない, 3 増えた, 4 もともと飲酒の習慣はない
Q18 喫煙	この時期に、あなた自身の喫煙量は変わりましたか。	1 減った, 2 変わらない, 3 増えた, 4 もともと喫煙する習慣はない
Q22 暴力	この時期に、家庭内での暴力行為の頻度は変わりましたか。	1 減った, 2 変わらない, 3 増えた
Q23 自慰	この時期に、あなた自身の自慰（マスターベーション）の頻度が変わりましたか。	1 減った, 2 変わらない, 3 増えた, 4 していない/したことがない
Q24 性交	この時期に、あなた自身のセックス回数は変わりましたか。	1 減った, 2 変わらない, 3 増えた, 4 していない

表4で示した11設問それぞれに、減ったもしくは増えたと答えると変化得点を1点加算することとし、回答者全員について変化得点を作成すると、変化得点は0～11点の範囲となり、その平均は合計で2.1点、男女で差はなかった。し

かしながら、性別年代別にみると、若年層で大きく高齢層で低く、20代女性は2.6と一番高い(図6)。これは、メディア等で若年女性の自殺増加や貧困などが言及されていることと整合的である。

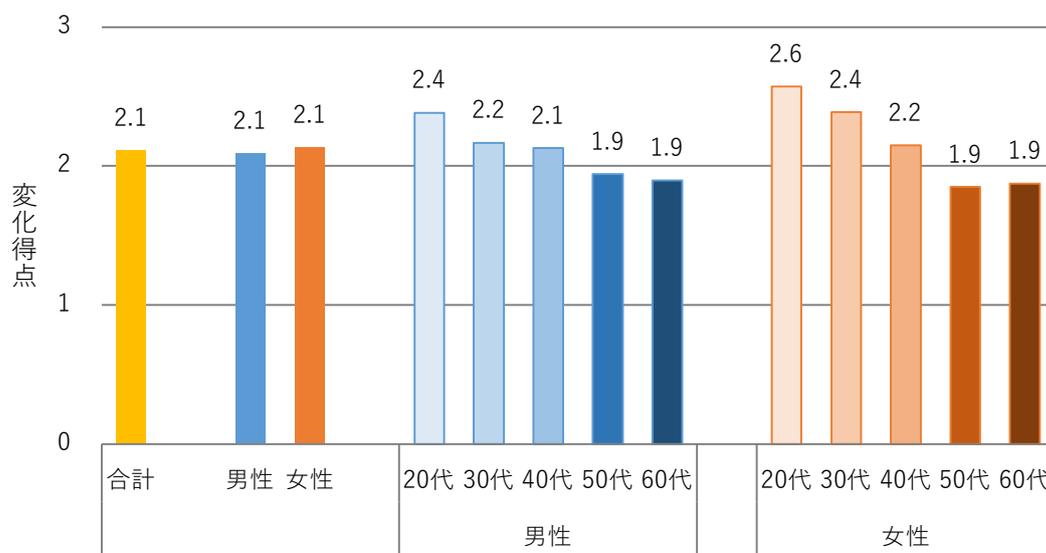


図6. 性・年代別変化得点

一方、変化がなかった人の割合を11項目別にみると、自宅で過ごす時間が変わらない人は半数以下であったが、それ以外の項目では7割以上の人は変化がなく、飲酒、暴力、自慰、セッ

クスの回数については、9割以上の人に変化がない(図7)。変化が起こっている人は必ずしも多くない、ということ念頭に変化をみる必要がある。

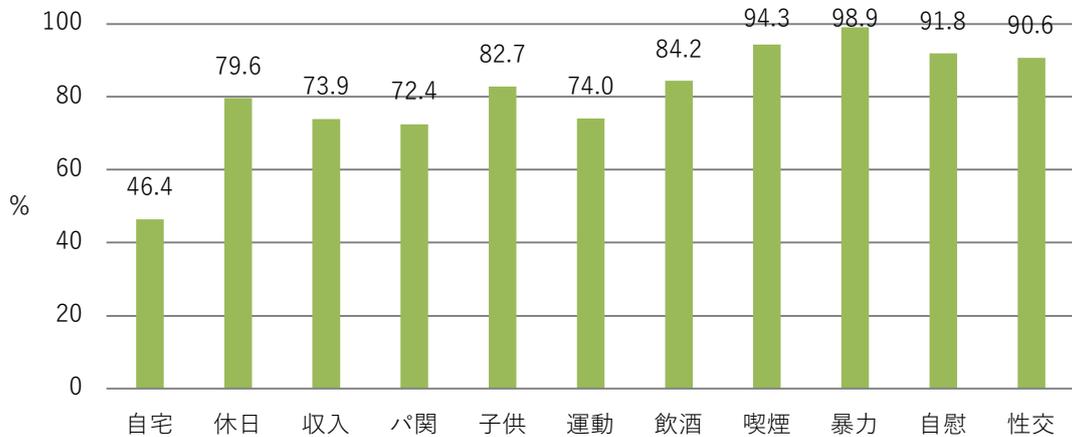


図7. 変化がない人の割合

注: パートナーがいない人、子どもがいない人、もともと運動・飲酒・喫煙習慣がない人、パートナーとの暴力行為がない人、自慰をしていない/したことがない人、セックスをしていない/したことがない人は変化がない人に含む。

次に、それぞれの変化項目が増えたを3、変わらないが2、減ったを1と置き換え<sup>4</sup>、11設問の相関をみると(表5)、自宅で過ごす時間が増えると休日も増える、休日が減ると収入が増える、パートナー関係が悪くなると暴力が増える、という相関係数の絶対値が0.3以上の強い相関が認められる。これらはある意味で当然ともいえる相関であるが、さらに相関係数の絶対値が0.2台である組み合わせをみると、自宅で過ごす時間が増えると子供と過ごす時間が増え、暴力が増え、収入が減る、飲酒量が増えると暴力が増える、暴力が増えると自慰、

セックス回数が増える、という相関が認められる。さらに、相関係数の絶対値が0.1台で5%水準で有意な相関をみると、休日が増えると暴力が増え、子どもといる時間が増えると飲酒量および暴力が増え、飲酒量が増えると喫煙量が増える、という相関が示される。緊急事態宣言により自宅で過ごす時間が増えると、収入は減り、子供と過ごす時間は増えるが、運動は減り、飲酒・喫煙が増え、暴力、自慰は増え、セックス回数は減る、という全体的な相関が示された。

<sup>4</sup> Q16 運動習慣、Q17 飲酒量、Q18 喫煙量、Q23 自慰頻度、Q24 セックス回数について、4 のもともとない、していない

は、2 の変わらないとした。Q11 パートナーとの関係は、良好を3、悪くなったを1とした。

表5. 11項目の相関

	休日	収入	パ関係	子供	運動	飲酒	喫煙	暴力	自慰	性交
自宅	0.302*	-0.204*	-0.008	0.254*	-0.083*	0.059*	0.055*	0.284*	0.057*	-0.059*
休日		-0.310*	0.008	0.089*	0.025*	0.045*	0.030*	0.190*	0.069*	-0.003
収入			0.052*	-0.059*	0.042*	-0.023*	-0.024*	0.001	-0.014	0.048*
パ関				-0.024	0.008	-0.020	-0.029*	-0.389*	-0.015	0.073*
子供					0.049*	0.103*	0.023	0.191*	0.048*	0.051*
運動						-0.006	-0.018	0.125	0.009	0.040*
飲酒							0.165*	0.261*	0.035*	0.030*
喫煙								0.115	0.084*	0.020
暴力									0.215*	0.205*
自慰										0.058*

<凡例>

< -0.3	< -0.2	< -0.1	< 0.0	0.0 <	0.1 <	0.2 <	0.3 <
--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------

注:\*は 5%水準で有意 (両側)

11項目のうち、暴力、飲酒、自慰、性交は、それぞれの組み合わせで有意な正の相関がみられる。この四項目が増えたと答えた人の組み合わせをみると(図8)、いずれの組み合わせも重なり具合は同じであり、例えば暴力が増えた人は必ず飲酒も増えた、といった連携の強い項

目は見当たらない。また、暴力、飲酒、自慰、性交のすべてが増えた人は2人のみである。飲酒、暴力、自慰、性交のいずれかが増えた人は1,530人であり、女性よりも男性が多く、若い人に多い。

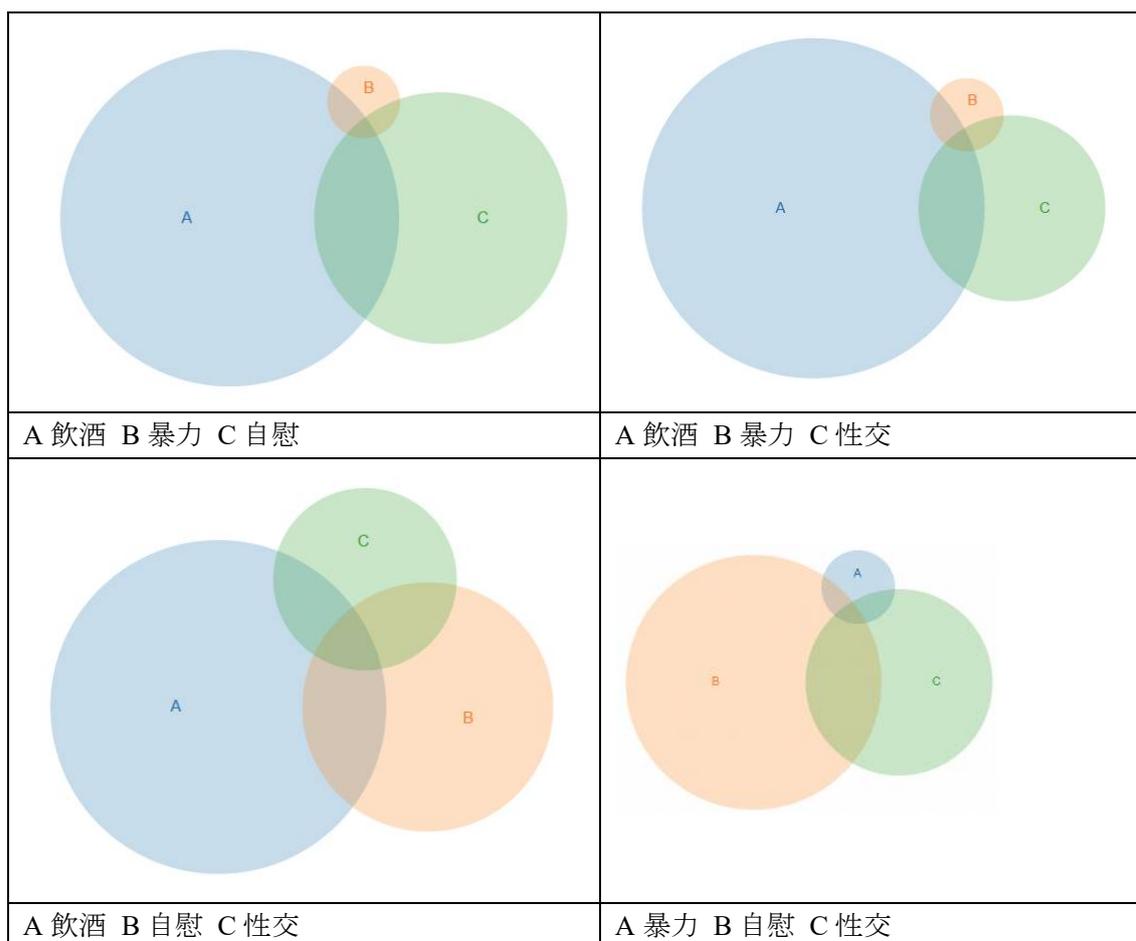


図8. 飲酒、暴力、自慰、性交が増えた人の組み合わせ

## 2. コロナによる性行動の変化

### a. コロナの性行動に対する影響

この時期、セックス回数が減った人は6.8%で増えた人の2.9%よりも多かった。その傾向は、性別、配偶別、学歴別にみても同様で、増えた人の割合は、減った人の半分程度である(表16)。全体的に見れば、コロナによりセックス回数が減ったといえるが、増えた人も少ない割合ながら存在しており、コロナによる影響

は人により異なる、ともいえる。

この時期にセックスをした人に限れば、全体では減った人は15.9%、増えた人は6.6%、変わらない人は77.5%であり、この割合は、男女別、学歴別にみても同様である。無配偶は有配偶と比べ減った人が倍程度多いが、増えた人もやや多い。無配偶では、性行動の変化が多極化しているということもできよう。

表16. コロナによるセックス回数の変化（属性別）

	合計	男性	女性	無配偶	有配偶	中高卒	短大等卒	大学等卒
経験なし	14.3%	15.6%	13.1%	29.1%	1.9%	17.1%	13.5%	12.8%
減った	6.8%	8.1%	5.6%	7.5%	6.3%	6.3%	6.0%	7.7%
不変	33.4%	39.7%	27.0%	23.4%	41.7%	30.6%	29.4%	37.4%
増えた	2.9%	3.3%	2.4%	2.5%	3.1%	2.4%	2.5%	3.4%
していない	42.6%	33.3%	52.0%	37.5%	47.0%	43.7%	48.7%	38.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
N	10,000	5,003	4,997	4,567	5,433	3,224	2,298	4,478
（「経験なし」、「していない」を除く）								
減った	15.9%	15.8%	16.0%	22.3%	12.3%	16.0%	15.8%	15.9%
不変	77.5%	77.7%	77.2%	70.1%	81.6%	77.9%	77.7%	77.2%
増えた	6.6%	6.5%	6.8%	7.6%	6.1%	6.1%	6.6%	7.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
N	4,305	2,558	1,747	1,526	2,779	1,265	869	2,171

注: 「無配偶」は、「未婚」「既婚（死別）」「離婚」の計。「有配偶」は「既婚（初婚）」「既婚（再婚以上）」の計。「中高卒」は「中学校卒」「高等学校卒」の計。「短大等卒」は「専門学校卒」「短期大学卒」「高等学校専門学校（高専）卒」の計。「大学等卒」は「大学卒」「大学院卒」「海外大学卒」の計。

セックスの経験なしをみると、男性は女性よりやや高く、無配偶は有配偶よりかなり高く、学歴が中高卒であると高い<sup>5</sup>。また、セックスを「していない」と答えた人は、コロナによりしなかったのか、通常していないのかは判然としないが、女性で多く、有配偶で多く、短大等の卒業者が高い傾向がある。短大等が高いのは、このカテゴリに女性が多いことに起因していると考えられる。

なお、「第8回男女の生活と意識に関する調査（2016年）」（日本家族計画協会 2017）では、セックスレス、つまり過去1か月間にセックスをしなかった人の割合は50.8%であった。本調査では、比較のために、20～40代に限り、経験なしを除いて計算すると、「していない」割合は39.1%であった。本調査は3月から5月の3か

月間のセックスをしなかった人の割合であるため、低めにでると考えられるが、本調査サンプルは結婚、妊娠の割合が高いことから、性行動が活発なサンプルであるとも考えられ、セックスレスの割合が低めに出ているとも考えられる。

#### セックス回数が減った理由

セックス回数が減った656人に理由を訊くと、「外出を控えていた」が一番多く、次いで「機会がなかった」（167人）、「その気になれなかった」（167人）が多い。これを配偶の有無別にみると、無配偶者で一番多い理由は「外出を控えていた」であるが、有配偶者で一番多いのは「その気になれなかった」で全体の4割を占める（表7）。

<sup>5</sup> 本調査においては大学に在学中の人は高卒とされているため、若年者が高卒とされ経験なしが高くなっているとも考え

られる。

表7. セックス回数が減った理由(配偶状態別)

	無配偶		有配偶		合計	
	人	%	人	%	人	%
外出を控えていた	204	63.6%	88	26.3%	292	44.5%
機会がなかった	78	24.3%	89	26.6%	167	25.5%
その気になれなかった	34	10.6%	133	39.7%	167	25.5%
本人あるいは相手がコロナに感染した	1	0.3%	2	0.6%	3	0.5%
その他	4	1.2%	23	6.9%	27	4.1%
合計	321	100.0%	335	100.0%	656	100.0%

注: 「無配偶」は、「未婚」「既婚(死別)」「離婚」の計。「有配偶」は「既婚(初婚)」「既婚(再婚以上)」の計。

「本人あるいは相手がコロナに感染した」という回答は、わずか3名であるが、減った理由「その他」の自由回答をみると、コロナの感染予防のためと答えた人は7名、合計10名は、セックス回数が減った人の1.5%に過ぎない。感染を気にして「外出を控え」、「その気になれなかった」ことも考えられるが、感染そのものよりも「緊急事態」という非日常が心理的に影響を与え、セックス回数を減らした原動力となったのではないだろうか。

セックス回数が減少する要因

有効回数9,990人のうち、セックス回数が減った人は656人(6.6%)である。ロジスティック回帰分析により、単変数(非調整)、多変数(調整)で要因をみると(表8)、有意にセックス回数を減らす要因は、男性、低年齢、生活が充実していなかった、在宅時間が増えた、在宅勤務があった、失業した、収入が減った、であった。

表8. セックス回数が減少する要因

変数	非調整			調整		
	オッズ比	(95% CI)	有意確率	オッズ比	(95% CI)	有意確率
性別(対男性)	0.696	0.593-0.818	0.000	0.708	0.563-0.890	0.003
年齢(各歳)	0.973	0.967-0.979	0.000	0.955	0.948-0.962	0.000
有配偶	0.867	0.740-1.016	0.078			
子供あり	0.853	0.727-1.000	0.051			
学歴段階	1.060	1.002-1.121	0.043	0.958	0.893-1.029	0.239
感染県	1.064	0.906-1.249	0.450	0.908	0.750-1.100	0.326
年収	1.108	1.073-1.144	0.000	1.021	0.972-1.073	0.408
非充実	1.147	1.052-1.251	0.002	1.259	1.127-1.406	0.000
在宅時間増	1.942	1.652-2.281	0.000	1.405	1.152-1.712	0.001
在宅勤務無	0.710	0.648-0.778	0.000	0.848	0.752-0.955	0.007
休日増	1.237	1.034-1.479	0.020	0.906	0.731-1.124	0.370
失業した	1.814	1.325-2.482	0.000	1.506	1.014-2.236	0.043
休業した	1.680	1.368-2.064	0.000	1.075	0.807-1.432	0.623
収入増	1.490	0.971-2.286	0.068			
収入減	2.143	1.818-2.527	0.000	1.592	1.270-1.995	0.000

関係悪化	1.278	1.104-1.480	0.001	1.188	1.023-1.380	0.024
子供との時間	1.015	0.821-1.256	0.888			

### セックス回数と自慰回数の関係

情欲が不変とみなすと、セックス回数が減ったので自慰回数が増加する、もしくはセックス回数が増え自慰回数が減少するという関係があると想定される。本調査ではセックス回数と自慰回数の変化を聞いており、合計でみるとセックス回数が減った人は増えた人よりも多く、自慰回数が増えた人は減った人よりも多かった。したがって、緊急事態宣言によりセックスは減り自慰が増えた、ということもできる。しかし自慰回数とセックス回数は弱い有意な正の相関があり（表9）、自慰回数が増えるとセックス回数が増える、という関係も認められる。

そこで、セックス回数と自慰回数の変化をクロス集計してみた。調査期間中にセックス及び自慰をした人の合計は3,089人（表着色部分）で、そのうちセックス回数が減り自慰回数が増え

た、もしくはセックス回数が増え自慰回数が減った（図中オレンジ色、「情欲バランス型」とする）のは131人（25+106）であったところ、セックス回数、自慰回数共に減った、もしくは増えた人（図中緑色、「過剰反応型」とする）は169人（80+89）であり、過剰反応型は情欲バランス型よりも多かった。また、セックス回数が増えた人をみると、自慰回数が減った25人よりも増えた89人の方が圧倒的に多い。この部分が、変化の相関に影響したと考えられる。なお、セックス回数もしくは自慰回数が変わらなかったのは9割にあたる2,789人であった。

これらのことから、緊急事態宣言によりセックスの回数が減り、自慰回数が増えた人もいるが、セックスの回数も自慰の回数も増えた人も少なからずいる、といえる。

表9. セックス回数と自慰回数の変化

		自慰回数				計
		減った	変わらなかった	増えた	していない／したことがない	
セックス回数	経験なし	36	722	93	580	1,431
	減った	80	336	106	134	656
	不変	54	2,174	112	954	3,294
	増えた	25	113	89	58	285
	していない	94	1,661	133	2,436	4,324
	計	289	5,006	533	4,162	9,990

### VI. おわりに

緊急事態宣言により、一番変化をもたらしたのは自宅で過ごす時間が増えたことであるが、それ以外の収入やパートナーの関係、暴力や性行動は、7割以上の人に変化がなかった。メディアで喧嘩されるような家庭内暴力や予期さ

れない妊娠は、広く一般的に広がっているわけではない。しかしながら、セックス回数が減る人が多数派ではあるものの、無配偶者の性行動が多極化したように、セックス、自慰、暴力、飲酒が連動して高くなっている人も一定数存在する。コロナによる家庭内暴力や予期されな

い妊娠を防止するためには、このような少数派のハイリスク群にアプローチする必要があるだろう。

全体で見れば、性活動が減った傾向があるが、これは全国の妊娠届が5～8月に例年よりも減ったことと整合的である。第一次緊急事態宣言下では、新型コロナウイルス感染症の将来的な進展が予測できず、不妊治療も不要不急とされたように、何事も行動を控え災禍が過ぎるのを待つ、という状況であったともいえる。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が一過性のものとして終わらず、現在も継続している中、きちんと感染対策を講じたうえで普通の日常生活を過ごせるような新たな方向付け、しくみが必要である。

新型コロナウイルス感染症は、今もなお継続する長期戦となった。調査対象時点であった第一次緊急事態宣言下は「非常事態」として人々の行動を変えたが、その後感染が長引くにつれ異なった影響を与えている。その影響は、例えば自殺数の変動に顕著に表れているように、第一次緊急事態宣言下と全く逆の方向になるこ

とも考えられる。継続的に変化をモニターする仕組みが望まれる。

#### 参考文献

碓井健寛 (2017)「未就学者128,187 人に関するカウントデータ分析」『基礎教育保障学研究』、創刊号、pp.49-60.

二瓶哲也 (2015)「インターネット調査の新潮流—スマホユーザーの増加とその活用可能性—」『政策と調査』第9号.

日本家族計画協会 (2017)『第8回 男女の生活と意識に関する調査 報告書』

林玲子・別府志海・石井太 (2021)「日本における新型コロナ感染症と死亡数の減少」『超長寿社会における人口・経済・社会のモデリングと総合分析— 第1報告書 —』所内研究報告第91号、国立社会保障・人口問題研究所.

本多則恵・本川明 (2005)『インターネット調査は社会調査に利用できるか—実験調査による検証結果—』労働政策研究報告書、No.17、労働政策研究・研修機構.

WHO (2021) *WHO Coronavirus (COVID-19) Dashboard*, <https://covid19.who.int/info/>

「コロナ禍における第一次緊急事態宣言下の日本人1万人調査」を多変量解析で解明（報告）

研究協力者 吉田 穂波（神奈川県立保健福祉大学）

田代 藍（東北大学大学院環境科学研究科）

## I. はじめに

若年妊娠を含む予期しない/計画していない妊娠（以下、予期せぬ妊娠等）に関しては、行政において相談支援体制の実態調査や連携支援体制の構築に向けたアセスメントツールの開発、若年妊婦等支援事業（令和2年～）等が行われてきたところである。また、民間においても各種団体により、全国的な相談窓口の設置が進みつつある。一方、今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により、これまでに経験したことのない状況（学校の一斉休校や就業制限等による所得低下、他者との接触の制限、外出制限による自宅滞在時間の増加など）が発生しており、当該社会的背景と予期せぬ妊娠等との関係については不明である。国連などの声明によれば、弱い立場の者、女性への暴力の増加、家庭内暴力の増加などへの警鐘が国際的に鳴らされており、本邦でも性暴力の増加、予期せぬ妊娠等の増加や、低所得によるあるいは暴力による妊娠に対する中絶件数が増加する可能性もある。これらは女性のメンタルヘルスを含めた健康に大きな影響を与えるばかりでなく、少子化への拍車、児童虐待の増加へつながるとの指摘もある。本邦においてはこれらの実態は不明であるため、種々の観点から調査し、課題を把握することによってその対策、支援体制を構築し、女性の健康推進に寄与することは重要である。

本研究では、COVID-19が蔓延する状況下における一般人の性行動、妊娠、子育て等に対する意識調査を行い、かつ、他者との接触を控える自粛環境や抑圧的な風潮により、性行動や意識にどのような影響を与えているかについて調査を行った。この中で、妊娠の頻度や中絶に至る背景の調査、その際の避妊の有無や緊急避妊使用の有無を調査し、予期せぬ妊娠等の実態調査を行い、比較可能な基礎資料とした。災害

等の有事の際に増加するとされる性暴力の実態や、自粛状況から妊娠継続への恐怖や不安を訴える妊婦の実態についても、緊急事態宣言開始後の時期における心境や意識を把握し、メンタルヘルスまで含めた評価・支援を提供できるよう、支援の方策を検討した。

地震、水害、パンデミック等の自然災害時には、ハイリスクな立場にある人々がよりハイリスクな状況に追いやられるということが分かっており、「困難な問題を抱える居場所のない若年女性」の予期せぬ妊娠等に関する実態についても、生活形態、経済水準や学歴、社会疫学的要因だけでなく環境要因についても把握し、対応策について検討する必要がある。

本分担研究では、特に、COVID-19が蔓延する状況下における一般人の性行動、妊娠、子育て等に対する意識調査を行い、非常事態という抑圧的な風潮が一般人の不妊治療に対する捉え方にどのような影響を与えているかについて、アンケート調査から国民の意識を分析した。

## II. 研究目的

本章では、「コロナ禍（第一次緊急事態宣言が発令された前後の2020年3月下旬～5月下旬）における日本人の“性”1万人調査」について、別稿（北村研究分担者、守泉研究協力者、林研究協力者）で考察した調査手法の吟味や、個々の属性、自粛期間の性生活の変化との関連等、様々な要因を同時に考慮した上で、多変量解析の中で議論することを目的とした。

そのうえで、本調査において特に重要な項目をピックアップし、その関連する個人の属性を特定し、それらの関連について考察した。さらにこの解析結果をもとに、今後の望ましい女性の健康に対する適切な支援提供体制構築のための提案をした。

### III. 研究方法

一般社会における性行動の実態、妊娠や避妊への意識や行動を反映するような調査項目をデザインし、インターネット調査を調査専門機関に委託して実施した。調査票の作成に際しては、自治医科大学医学部公衆衛生学教室の協力を得て、2015年に実施した国勢調査の結果に準じ、20歳から69歳までの性・年代・都道府県に割り付けて標本数を配分し1万人を調査対象者とした。回収後、データ・クリーニングを行い、不適正回答と思われる10人を集計対象者から除外し、9,990人について集計解析した。

以下の設問は緊急事態宣言発令前後(2020年3月下旬～5月下旬)を想定して回答してもらうようにした。

研究倫理審査については一般社団法人日本家族計画協会の研究倫理審査委員会に諮り承認された。(2020年10月9日、承認番号JFPA-2020022(日家協第2020178号))。

本節では、各従属変数(3.1性行動、3.2妊娠・中絶、3.3暴力頻度、3.4人工妊娠中絶の認識)と個人の社会経済的項目及び社会心理的項目との関連を探るべく、ロジスティック回帰分析による多変量解析を実施した。解析にあたり、多重共線性の問題に考慮し、VIF(Variance Inflation Factor)が5以上のものは解析から除外した。従属変数に全回答した者を対象とし、個人の属性(社会経済的、社会心理的項目)の未回答項目についても基本的に除外して分析した。解析にあたっては、全体と男女層別でのモデルを設定し、有意水準はすべて5%とした。

### IV. 研究結果(解析結果)

#### 4.1 性行動

第一次緊急事態宣言発出前後である2020年3月下旬～5月下旬における、回答者の自粛期間中のセックス回数と自慰の変化について解析した。

#### 4.1.1 セックス頻度の変化

「この時期に、あなた自身のセックス回数は変わりましたか。」について、減少したと回答した者を1、その他(変わらない・増えた)を0とした。セックス回数の減少と社会経済的項目及び社会心理的項目との関連を検証した。結果を表4-1に示す。

全体の傾向として、セックス回数の減少と統計的に有意な正の関連(減少)がみられたのは、婚姻状態(未婚:OR=1.99; 死別・離婚:OR=1.98、vs. 既婚(初婚・再婚))、パートナーとの関連で、良好に対し変化なしがOR=2.64、自宅で過ごす時間が増えた人が不変の人に対し、OR=1.89、休日の頻度が自粛期間に減った人が不変の人に対しOR=1.73であった。社会心理的項目との関連については、飲酒量について、飲酒の習慣がない人に対し、飲酒の減少(OR=2.03)、増加(OR=1.48)、喫煙の減少(OR=1.98)であった。

男性については、パートナーとの関係が良好だったに対し変化なしがOR=3.03、自宅で過ごす時間が増えた人が不変の人に対し、OR=2.04、休日の頻度が自粛期間に減った人が不変の人に対しOR=2.10であった。社会心理的項目については、運動習慣の減少(OR=1.55、vs. 習慣なし)、飲酒の減少(OR=1.86、vs. 習慣なし)、飲酒の増加(OR=1.51、vs. 習慣なし)であった。

女性については、60代に対し、20代でOR=2.28、既婚に対し未婚(OR=2.39)と死別・離婚(OR=2.49)、パートナーとの関係で変化なし(OR=2.42)、自宅で過ごす時間の増加(OR=1.60、vs. 不変)であった。社会心理的項目との関連については、飲酒と喫煙の減少と関連があった(飲酒の減少:OR=2.43; 喫煙の減少:OR=3.95、vs. 習慣なし)。

表 4-1. セックス回数の減少との関連

	全体 (N = 4,295)			男性 (N = 2,551)			女性 (N = 1,744)		
	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p
社会経済的項目									
性別									
女性	0.89	0.72,1.09	0.26						
男性	基準								
年齢層									
20-29 歳	1.38	0.97,1.95	0.07	0.98	0.61,1.56	0.92	2.28**	1.22,4.26	0.01
30-39 歳	0.99	0.72,1.36	0.96	0.88	0.60,1.31	0.54	1.46	0.80,2.65	0.22
40-49 歳	0.91	0.67,1.24	0.57	0.68*	0.47,0.99	0.05	1.74	0.96,3.14	0.07
50-59 歳	0.85	0.61,1.17	0.32	0.77	0.52,1.13	0.18	1.13	0.58,2.20	0.72
60-69 歳	基準			基準			基準		
最終学歴									
中卒	1.14	0.60,2.16	0.7	1.03	0.45,2.37	0.94	1.18	0.41,3.43	0.76
高卒	1.09	0.88,1.36	0.43	1.03	0.77,1.38	0.85	1.15	0.81,1.63	0.45
短・専・高専卒	1.06	0.83,1.35	0.63	1.16	0.83,1.62	0.39	0.99	0.69,1.43	0.96
大卒以上	基準			基準			基準		
職業									
会社員・自営業	基準			基準			基準		
学生・専業主婦(夫)	0.83	0.61,1.13	0.23	1.16	0.57,2.36	0.69	0.9	0.62,1.31	0.59
無職	1.08	0.75,1.56	0.66	0.9	0.56,1.44	0.65	1.17	0.65,2.11	0.61
自肅期間に失業した									
失業した	基準			基準			基準		
失業していない	1.09	0.73,1.62	0.67	1.41	0.84,2.37	0.19	0.79	0.42,1.51	0.48
収入の変化									
減少した	基準			基準			基準		
変わらなかった	0.74**	0.60,0.92	0.01	0.85	0.65,1.12	0.25	0.57**	0.39,0.82	p<0.001
増加した	1.03	0.61,1.74	0.91	1.08	0.52,2.27	0.83	0.97	0.45,2.08	0.93
婚姻状態									
未婚	1.99***	1.47,2.68	p<0.001	1.68*	1.09,2.60	0.02	2.39***	1.54,3.69	p<0.001
既婚(初婚・再婚)	基準			基準			基準		
死別・離婚	1.98***	1.33,2.96	p<0.001	1.59	0.92,2.77	0.1	2.49**	1.34,4.61	p<0.001
子供の有無									
無	基準			基準			基準		
有	1.09	0.84,1.41	0.52	1.1	0.76,1.58	0.61	1.05	0.71,1.56	0.79
パートナー有無									
無	基準			基準			基準		
有	1.21	0.81,1.82	0.35	1.05	0.63,1.78	0.84	1.41	0.70,2.82	0.33
パートナーとの関係									

良好だった	基準			基準			基準		
変化なし	2.64***	1.91,3.65	p<0.001	3.03***	1.90,4.82	p<0.001	2.42***	1.52,3.85	p<0.001
悪くなった	1.22	0.98,1.52	0.08	1.15	0.85,1.55	0.37	1.31	0.94,1.84	0.11
未回答	1.2	0.80,1.81	0.37	1.33	0.79,2.22	0.28	1.03	0.50,2.12	0.93
在宅勤務									
しなかった	基準			基準			基準		
した	1.01	0.82,1.25	0.9	0.98	0.76,1.27	0.9	0.94	0.64,1.38	0.76
自宅で過ごす時間の变化									
減った	1.63	0.94,2.82	0.08	1.59	0.78,3.23	0.2	1.5	0.58,3.85	0.4
変わらない	基準			基準			基準		
増えた	1.89***	1.52,2.36	p<0.001	2.04***	1.54,2.71	p<0.001	1.60*	1.11,2.30	0.01
休日の頻度									
減った	1.73**	1.14,2.62	0.01	2.10*	1.18,3.74	0.01	1.28	0.68,2.40	0.44
変わらない	基準			基準			基準		
増えた	1	0.78,1.27	0.98	1.08	0.79,1.48	0.63	0.85	0.57,1.25	0.40
社会心理的項目									
心境の変化									
充実していなかった	基準			基準			基準		
充実していた	0.62***	0.50,0.75	p<0.001	0.66**	0.50,0.86	p<0.001	0.54***	0.40,0.75	p<0.001
運動習慣の変化									
減った	1.25	0.97,1.62	0.08	1.55*	1.09,2.20	0.01	1.02	0.70,1.50	0.92
変わらない	0.70***	0.55,0.89	p<0.001	0.83	0.60,1.14	0.25	0.55***	0.38,0.80	p<0.001
増えた	0.99	0.73,1.35	0.95	0.95	0.61,1.46	0.8	1.06	0.67,1.68	0.8
習慣なし	基準			基準			基準		
飲酒量の変化									
減った	2.03***	1.48,2.79	p<0.001	1.86**	1.21,2.84	p<0.001	2.43***	1.47,4.00	p<0.001
変わらない	0.96	0.77,1.21	0.75	0.93	0.68,1.27	0.64	1.04	0.73,1.47	0.82
増えた	1.48*	1.11,1.97	0.01	1.51*	1.03,2.21	0.03	1.41	0.90,2.22	0.13
習慣なし	基準			基準			基準		
喫煙の変化									
減った	1.98*	1.21,3.24	0.01	1.37	0.75,2.52	0.3	3.95***	1.55,10.03	p<0.001
変わらない	0.64***	0.51,0.81	p<0.001	0.59***	0.45,0.78	p<0.001	0.77	0.50,1.18	0.23
増えた	1.29	0.92,1.80	0.14	1.33	0.88,1.99	0.17	1.25	0.68,2.30	0.47
習慣なし	基準			基準			基準		
定数項	0.10***	0.05,0.18	p<0.001	0.11***	0.05,0.24	p<0.001	0.07***	0.02,0.22	p<0.001

基準：OR = 1 とした参照項目。\*\*\*p<0.001, \*\*p<0.01, \*p<0.05.

#### 4.1.2 自慰の頻度

「この時期に、あなた自身の自慰（マスターベーション）の頻度が変わりましたか。」の問いに対し、自慰の頻度が減ったと回答した人を1、その他（変わらない、増えた）を0として社会経済的項目及び社会心理的項目との関連を検証した（表4-2）。

全体として、社会経済的項目との関連について、性別では男性に対し、女性がOR=4.33、自肅期間に失業していないがOR=2.02、収入の減少がOR=1.56 (vs. 不変)、在宅勤務をしたがOR=1.50 (vs. しなかった)、自宅で過ごす時間

の減少がOR=2.26であった。社会心理的項目については、飲酒量の増加でOR=1.79であった。

男性について、社会経済的項目と自慰の減少との間に統計的に有意な関連はみられなかった。社会心理的項目との関連については、飲酒増加との関連がみられた (OR=2.55)。女性について、社会経済的項目との関連については、収入の減少 (OR=3.72)、自宅で過ごす時間の減少 (OR=4.20) であった。社会心理的項目と自慰の減少との間に統計的に有意な関連はみられなかった。

表4-2. 自慰頻度の減少との関連

	全体 (N = 3,142)			男性 (N = 2,277)			女性 (N = 865)		
	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p
<b>社会経済的項目</b>									
性別									
男性	基準								
女性	4.33***	3.02,6.20	p<0.001						
年齢層									
20-29 歳	1.13	0.55,2.33	0.74	0.93	0.37,2.36	0.87	1.21	0.24,6.25	0.82
30-39 歳	1.56	0.82,2.94	0.18	1.29	0.59,2.81	0.52	1.75	0.36,8.44	0.49
40-49 歳	1.38	0.73,2.59	0.32	1.12	0.52,2.39	0.77	2.25	0.46,10.94	0.32
50-59 歳	1.34	0.69,2.61	0.39	1.26	0.58,2.72	0.56	1.53	0.28,8.25	0.62
60-69 歳	基準			基準			基準		
最終学歴									
中卒	1.83	0.62,5.43	0.27	1.93	0.55,6.75	0.3	1.42	0.16,12.95	0.75
高卒	1.4	0.92,2.13	0.12	1.36	0.78,2.36	0.28	1.32	0.65,2.68	0.44
短・専・高専卒	1.14	0.71,1.83	0.6	1.09	0.57,2.11	0.79	0.98	0.46,2.07	0.95
大卒以上	基準			基準			基準		
職業									
会社員・自営業	基準			基準			基準		
学生・専業主婦(夫)	1.26	0.69,2.29	0.45	0.31	0.04,2.56	0.27	1.05	0.50,2.23	0.89
無職	1.56	0.78,3.09	0.21	2.14	0.95,4.84	0.07	0.68	0.13,3.45	0.64
自肅期間に失業した									
失業した	基準			基準			基準		
失業していない	2.02*	1.13,3.62	0.02	2	0.89,4.50	0.09	1.95	0.79,4.86	0.15
収入の変化									
減少した	1.56*	1.04,2.33	0.03	0.94	0.54,1.63	0.81	3.72***	1.84,7.53	p<0.001
変わらなかった	基準			基準			基準		

増加した	1.54	0.65,3.66	0.33	1.64	0.51,5.22	0.41	1.95	0.49,7.82	0.35
婚姻状態									
未婚	0.69	0.39,1.21	0.2	0.9	0.41,1.96	0.78	0.72	0.30,1.74	0.46
既婚(初婚・再婚)	基準			基準			基準		
死別・離婚	0.82	0.36,1.83	0.62	1.39	0.51,3.77	0.52	0.38	0.08,1.93	0.24
子供の有無									
無	基準			基準			基準		
有	0.75	0.47,1.19	0.22	0.73	0.39,1.38	0.33	0.95	0.46,1.96	0.89
パートナー有無									
無	基準			基準			基準		
有	0.82	0.38,1.73	0.6	1	0.37,2.70	1	0.69	0.19,2.44	0.56
パートナーとの関係									
良好だった	基準			基準			基準		
変化なし	0.84	0.45,1.59	0.6	0.52	0.20,1.37	0.18	1.34	0.53,3.36	0.54
悪くなった	0.73	0.48,1.14	0.16	0.64	0.35,1.15	0.14	0.84	0.42,1.67	0.62
未回答	0.72	0.35,1.47	0.37	0.72	0.28,1.83	0.48	0.67	0.19,2.35	0.53
在宅勤務									
しなかった	基準			基準			基準		
した	1.50*	1.02,2.20	0.04	1.62	0.99,2.65	0.05	1.59	0.79,3.18	0.19
自宅で過ごす時間の変化									
減った	2.26*	1.01,5.05	0.05	1.32	0.43,4.03	0.62	4.20*	1.13,15.64	0.03
変わらない	基準			基準			基準		
増えた	1.11	0.72,1.71	0.63	0.92	0.53,1.59	0.78	1.28	0.59,2.76	0.53
休日の頻度									
減った	1.43	0.73,2.80	0.29	2.27	0.93,5.53	0.07	0.66	0.21,2.04	0.47
変わらない	基準			基準			基準		
増えた	0.88	0.55,1.41	0.6	1.04	0.54,2.00	0.9	0.54	0.26,1.15	0.11
社会心理的項目									
心境の変化									
充実していなかった	基準			基準			基準		
充実していた	1.2	0.82,1.76	0.36	0.96	0.58,1.58	0.86	1.23	0.65,2.33	0.52
運動習慣の変化									
減った	0.97	0.59,1.60	0.91	1.11	0.54,2.28	0.77	0.94	0.44,2.00	0.87
変わらない	0.7	0.44,1.12	0.14	1.01	0.52,1.96	0.97	0.54	0.25,1.18	0.12
増えた	0.79	0.43,1.44	0.44	1.24	0.54,2.89	0.61	0.6	0.23,1.55	0.29
習慣なし	基準			基準			基準		
飲酒量の変化									
減った	1.64	0.90,3.00	0.11	2.08	0.90,4.82	0.09	1.47	0.57,3.83	0.43
変わらない	0.95	0.59,1.53	0.84	1.07	0.54,2.12	0.85	0.81	0.40,1.66	0.56
増えた	1.79*	1.04,3.08	0.04	2.55*	1.20,5.42	0.01	1.03	0.41,2.57	0.95

習慣なし	基準			基準			基準		
喫煙の変化									
減った	1.46	0.64,3.34	0.37	2.17	0.83,5.63	0.11	0.75	0.10,5.85	0.79
変わらない	0.77	0.50,1.20	0.25	1.01	0.59,1.73	0.97	0.71	0.29,1.74	0.45
増えた	0.75	0.40,1.41	0.37	0.9	0.42,1.96	0.8	0.57	0.17,1.93	0.36
習慣なし	基準			基準			基準		
定数項	0.03***	0.01,0.09	p<0.001	0.02***	0.00,0.08	p<0.001	0.04**	0.00,0.34	p<0.001

基準：OR = 1 とした参照項目。\*\*\*p<0.001, \*\*p<0.01, \*p<0.05.

## 4.2 妊娠経験・人工妊娠中絶

### 4.2.1 妊娠経験

「この時期にあなた（あるいはあなたのパートナー）は妊娠を経験しましたか」の問いに対し、「妊娠した」と回答した人を1、しなかった人を0として社会経済的項目及び社会心理的項目との関連を検証した（表4-3）。

全体として、社会経済的項目との関連については、年齢で40歳未満（20代：OR=31.03、30代：OR=9.10）、失業していない（OR=5.38）、収入の増加（OR=2.98）、既婚（初婚・再婚）でOR=4.30、子供がいない人に対し、いる人でOR=1.84、在宅勤務をした人でしなかった人に対し、OR=1.82であった。社会心理的項目との関連については、心が充実していた人でそうでない人に比べOR=1.62、運動習慣の減少でOR=2.42、喫煙の頻度が変わらなかった人でOR=1.89、増えた人でOR=1.86であった。

男性について、パートナーが妊娠したと回答した人の社会経済的項目との関連については、40代未満（20代：OR=18.53、30代：OR=5.97）、

失業していない（OR=7.29）、収入の増加（OR=4.75）、子供がいない人に対し、いる人でOR=1.89、在宅勤務をした人でしなかった人に対し、OR=1.81であった。社会心理的項目との関連については、心が充実していた人はそうでない人に対しOR=1.89、運動習慣の減少でOR=2.94、喫煙の頻度が変わらなかった人でOR=1.95であった。

女性について、妊娠したと回答した人の社会経済的項目との関連については、40代未満（20代：OR=40.23、30代：OR=11.24；50代：OR=2.53）、無職（OR=2.38、vs. 会社員・自営業）、失業していない（OR=3.35）、収入の増加（OR=2.54）、既婚（初婚・再婚）（OR=7.52、vs. 死別・離婚）、子供がいない人に対し、いる人でOR=1.85、在宅勤務をした人でしなかった人に対し、OR=1.85であった。社会心理的項目との関連については運動習慣の減少でOR=2.43、喫煙の頻度が変わらなかった人でOR=1.93であった。

表4-3. 妊娠経験との関連

	全体 (N = 8,559)			男性 (N = 4,218)			女性 (N = 4,341)		
	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p
社会経済的項目									
性別									
女性	0.96	0.69,1.33	0.8						
男性	基準								
年齢層									
20-29 歳	31.03***	18.14,53.08	p<0.001	18.53***	8.34,41.21	p<0.001	40.23***	18.61,86.96	p<0.001
30-39 歳	9.10***	5.52,15.00	p<0.001	5.97***	3.02,11.77	p<0.001	11.24***	5.31,23.78	p<0.001

40-49 歳	1.76	0.98,3.17	0.06	1.1	0.50,2.45	0.81	2.25	0.94,5.40	0.07
50-59 歳	1.78	0.99,3.20	0.05	1.07	0.47,2.43	0.87	2.53*	1.07,5.98	0.03
60-69 歳	基準			基準			基準		
最終学歴									
中卒	0.5	0.17,1.53	0.23	0.13	0.01,1.66	0.12	0.97	0.26,3.65	0.97
高卒	1.31	0.94,1.83	0.12	1.11	0.67,1.86	0.68	1.51	0.95,2.42	0.08
短・専・高専卒	1.15	0.80,1.65	0.46	1.31	0.73,2.36	0.36	1.12	0.69,1.81	0.65
大卒以上	基準			基準			基準		
職業									
会社員・自営業	基準			基準			基準		
学生・専業主婦 (夫)	1.17	0.80,1.72	0.43	0.6	0.11,3.16	0.54	1.16	0.76,1.76	0.5
無職	1.38	0.73,2.61	0.32	0.57	0.18,1.80	0.34	2.38*	1.06,5.36	0.04
自肅期間に失業した									
失業した	基準			基準			基準		
失業していない	5.38***	3.40,8.50	p<0.001	7.29***	3.72,14.27	p<0.001	3.35***	1.65,6.80	p<0.001
収入の変化									
減少した	0.78	0.53,1.14	0.2	0.89	0.51,1.55	0.68	0.73	0.42,1.25	0.25
変わらなかった	基準			基準			基準		
増加した	2.98***	1.62,5.48	p<0.001	4.75***	2.02,11.17	p<0.001	2.54*	1.00,6.45	0.05
婚姻状態									
未婚	0.34*	0.12,0.98	0.05	0.25	0.05,1.25	0.09	0.41	0.09,1.90	0.26
既婚(初婚・再婚)	4.30**	1.61,11.48	p<0.001	2.46	0.55,10.92	0.24	7.52**	1.95,29.04	p<0.001
死別・離婚	基準			基準			基準		
子供の有無									
無	基準			基準			基準		
有	1.84***	1.29,2.61	p<0.001	1.89*	1.07,3.34	0.03	1.85*	1.16,2.96	0.01
パートナーとの関係									
良好だった	基準			基準			基準		
変化なし	1.05	0.66,1.68	0.83	1	0.49,2.04	0.99	1.1	0.58,2.12	0.77
悪くなった	0.64**	0.47,0.89	0.01	0.60*	0.37,0.99	0.05	0.67	0.43,1.03	0.07
未回答	0.81	0.50,1.31	0.39	0.71	0.36,1.39	0.32	0.89	0.42,1.90	0.77
在宅勤務									
しなかった	基準			基準			基準		
した	1.82***	1.32,2.51	p<0.001	1.81**	1.17,2.82	0.01	1.85*	1.11,3.06	0.02
自宅で過ごす時間の変化									
減った	1.52	0.75,3.08	0.24	2.12	0.79,5.68	0.14	0.61	0.16,2.33	0.47
変わらない	基準			基準			基準		
増えた	0.71*	0.51,0.98	0.04	0.69	0.42,1.13	0.14	0.7	0.44,1.10	0.12

休日の頻度									
減った	0.79	0.41,1.52	0.48	1	0.40,2.54	0.99	0.47	0.15,1.49	0.2
変わらない	基準			基準			基準		
増えた	1.17	0.78,1.77	0.45	0.77	0.40,1.50	0.45	1.67	0.96,2.91	0.07
社会心理的項目									
心境の変化									
充実していなかった	基準			基準			基準		
充実していた	1.62**	1.20,2.17	p<0.001	1.89**	1.19,3.00	0.01	1.34	0.90,2.00	0.15
運動習慣の変化									
減った	2.42***	1.60,3.64	p<0.001	2.94**	1.32,6.57	0.01	2.43***	1.47,4.02	p<0.001
変わらない	1.21	0.83,1.78	0.32	1.75	0.84,3.64	0.14	1.06	0.65,1.73	0.81
増えた	0.93	0.54,1.61	0.81	1.62	0.65,4.02	0.3	0.6	0.26,1.35	0.22
習慣なし	基準			基準			基準		
飲酒量の変化									
減った	1.5	0.92,2.46	0.11	2.22*	1.01,4.90	0.05	1.3	0.63,2.68	0.47
変わらない	0.85	0.60,1.20	0.35	1.39	0.74,2.61	0.3	0.67	0.42,1.05	0.08
増えた	0.61	0.36,1.04	0.07	0.96	0.41,2.23	0.93	0.58	0.28,1.23	0.16
習慣なし	基準			基準			基準		
喫煙の変化									
減った	2.06	0.92,4.62	0.08	2.65	0.97,7.27	0.06	2.26	0.48,10.62	0.3
変わらない	1.89***	1.35,2.64	p<0.001	1.95**	1.23,3.09	p<0.001	1.93*	1.15,3.24	0.01
増えた	1.86*	1.03,3.36	0.04	2.01	0.91,4.42	0.08	1.47	0.53,4.05	0.46
習慣なし	基準			基準			基準		
定数項	0.00***	0.00,0.00	p<0.001	0.00***	0.00,0.01	p<0.001	0.00***	0.00,0.00	p<0.001

基準：OR = 1 とした参照項目。\*\*\*p<0.001, \*\*p<0.01, \*p<0.05.

#### 4.2.2 人工妊娠中絶

4.2.1について、さらに「妊娠が判明した後、あなた（あなたのパートナー）はどうしましたか。」の問いに対し、「人工妊娠中絶をした」と回答した人を1、「妊娠を継続した」と回答した人を0として、社会経済的項目及び社会心理的項目との関連を検証した（表4-4）。全体の回答者数がN=273と少なく、社会心理的項目の回答の偏りがあり、回帰分析としてモデルの整合性が取れなかったため、社会経済的項目のみの、人工妊娠中絶との関連を検証した。

全体として、自宅で過ごす時間の減少と人工妊娠中絶において、正の関連がみられた（OR = 5.19）。その他の社会経済的項目との統計的な有意な関連性はみられなかった。

男性について、パートナーが人工妊娠中絶したと回答した人の関連がみられる社会経済的項目は、有職（無職、学生以外の回答者）でOR = 17.09、パートナーとの関係に変化なしでOR = 8.26（vs. 関係が良好）であった。女性については、パートナーとの関係について未回答であった人がOR = 61.92（vs. 関係が良好）であった。

表4-4. 人工妊娠中絶との関連

	全体(N =273)			男性 (N =132)			女性(N =89)		
	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p
<b>社会経済的項目</b>									
性別									
女性	1.16	0.38,3.56	0.8						
男性	基準								
年齢層									
20-29 歳	0.91	0.16,5.04	0.91	2.95	0.20,43.58	0.43	0.07	0.00,3.45	0.18
30-39 歳	0.14	0.02,1.07	0.06	0.68	0.04,11.54	0.79	1	1.00,1.00	.
40-49 歳	1.63	0.25,10.55	0.61	2.62	0.15,45.81	0.51	1.42	0.04,56.15	0.85
50-59 歳	0.49	0.07,3.60	0.48	0.59	0.02,18.46	0.76	0.08	0.00,8.15	0.28
60-69 歳	基準			基準			基準		
最終学歴									
中卒	1.49	0.11,19.40	0.76	1	1.00,1.00	.	15.61	0.06,4043.04	0.33
高卒	1.92	0.65,5.63	0.24	0.76	0.15,3.86	0.74	6.87	0.19,249.30	0.29
短・専・高専卒	0.44	0.10,1.88	0.27	0.64	0.09,4.48	0.65	0.18	0.00,15.07	0.45
大卒以上	基準			基準			基準		
職業									
有職	1.77	0.49,6.41	0.39	17.09*	1.43,204.41	0.02	2.84	0.09,93.89	0.56
無職	基準			基準			基準		
自肅期間に失業した									
失業した	基準			基準			基準		
失業していない	1.95	0.56,6.83	0.3	1.94	0.36,10.33	0.44	7.82	0.18,347.17	0.29
子供の有無									
無	基準			基準			基準		
有	0.72	0.27,1.94	0.52	1.15	0.24,5.47	0.86	0.57	0.06,5.65	0.63
パートナーとの関係									
良好だった	基準			基準			基準		
変化なし	3.57	0.92,13.80	0.07	8.26*	1.32,51.88	0.02	6.64	0.07,600.07	0.41
悪くなった	1.24	0.30,5.16	0.76	1.95	0.25,15.46	0.53	4.27	0.10,178.59	0.45
未回答	3.08	0.91,10.37	0.07	2.14	0.45,10.06	0.34	61.92*	1.33,2875.88	0.04
在宅勤務									
しなかった	基準			基準			基準		
した	1.82	0.49,6.77	0.37	2.33	0.39,13.83	0.35	2.72	0.11,65.01	0.54
自宅で過ごす時間の変化									
減った	5.19*	1.24,21.84	0.02	3.73	0.60,23.24	0.16	1	1.00,1.00	.
変わらない	基準			基準			基準		
増えた	0.43	0.14,1.36	0.15	0.89	0.20,3.98	0.88	0.45	0.02,12.27	0.64
定数項	0.07*	0.01,0.53	0.01	0.01*	0.00,0.39	0.01	0.02	0.00,3.00	0.13

基準：OR = 1 とした参照項目。\*\*\*p<0.001, \*\*p<0.01, \*p<0.05.

### 4.3 暴力

本調査における自粛期間中の暴力頻度と心境の変化（心の充実）について解析した。

#### 4.3.1 暴力の頻度

「この時期に、パートナー間での暴力頻度は変わりましたか。」の問いに対し、暴力頻度が「増えた」と回答した人を1、その他（変わらない、減った）と回答した人を0として、社会経済的項目及び社会心理的項目との関連を検証した（表4-5）。

全体として、社会経済的項目について、暴力頻度の増加と関連がみられた項目は、パートナーとの関係が良好であるのに対し、変わらなかった人でOR=17.26、セックス回数が増えた人でOR=29.83 (vs. 変わらない) であった。社会

心理的項目との関連については、暴力頻度の増加と統計的に有意な正の関連がある項目はなかった。

男性について、社会経済的項目について、暴力頻度の増加と関連がみられた項目は、セックス回数の増加であった（OR=678.29）。社会心理的項目との関連については、暴力頻度の増加と統計的に有意な正の関連がある項目はなかった。女性について、社会経済的項目について、暴力頻度の増加と関連がみられた項目は、在宅をしたOR=1750.94、セックス回数の増加でOR=64053.60であった。社会心理的項目との関連については、心境が充実していた人でOR=1015.48、運動習慣の増加でOR=431426.46、飲酒の頻度が不変でOR=17571.65であった。

表4-5. 暴力との関連

	全体(N =229)			男性(N =83)			女性(N =96)		
	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p
<b>社会経済的項目</b>									
性別									
女性	1.42	0.38,5.32	0.6						
男性	基準			基準			基準		
年齢層									
20-29 歳	1.24	0.14,10.83	0.85	0.54	0.00,364.59	0.85	154878.9	0.66,3.62e+10	0.06
30-39 歳	0.24	0.03,1.79	0.17	0.4	0.00,106.62	0.75	9.3	0.00,32125.48	0.59
40-49 歳	1.15	0.22,5.98	0.87	4.01	0.01,1228.91	0.63	72.04	0.04,124765.89	0.26
50-59 歳	0.05	0.00,1.04	0.05	1	1.00,1.00	.	0	0.00,1.63	0.07
60-69 歳	基準			基準			基準		
最終学歴									
中卒	0.71	0.03,14.72	0.83	2875.47	0.03,3.20e+08	0.18	1	1.00,1.00	.
高卒	0.36	0.09,1.42	0.14	0.01*	0.00,0.78	0.04	0	0.00,1.28	0.06
短・専・高専卒	2.12	0.57,7.93	0.26	0.15	0.00,11.01	0.39	0.08	0.00,25.12	0.39
大卒以上	基準			基準			基準		
職業									
会社員・自営業	1	1.00,1.00	.	1	1.00,1.00	.	1	1.00,1.00	.
学生・専業主婦(夫)	0.68	0.14,3.26	0.63	1	1.00,1.00	.	2.78	0.04,189.59	0.64
無職	1.51	0.16,13.92	0.71	0	0.00,63.35	0.27	6526857	0.12,3.69e+14	0.08
収入の変化									
減少した	1.12	0.34,3.63	0.85	46	0.89,2370.94	0.06	0.00*	0.00,0.46	0.03

変わらなかった	基準			基準			基準		
増加した	1	1.00,1.00	.	1	1.00,1.00	.	1	1.00,1.00	.
婚姻状態									
未婚	0.25	0.01,5.53	0.38	40.06	0.20,7973.49	0.17	0.00*	0.00,0.05	0.03
既婚(初婚・再婚)	1.09	0.09,13.87	0.95	1	1.00,1.00	.	0	0.00,66.41	0.19
死別・離婚	基準			基準			基準		
子供の有無									
無	基準			基準			基準		
有	1.2	0.30,4.76	0.79	0.37	0.00,94.68	0.73	297.95	0.07,1341305.09	0.18
パートナーとの関係									
良好だった	基準			基準			基準		
変化なし	17.26***	3.41,87.23	0	22.31	0.12,4101.65	0.24	3.60e+08**	116.96,1.11e+15	0.01
悪くなった	1.94	0.41,9.22	0.4	3.13	0.08,130.39	0.55	23.04	0.06,8432.22	0.3
在宅勤務									
しなかった	基準			基準			基準		
した	1.12	0.30,4.23	0.86	0.2	0.01,5.13	0.33	1750.94*	1.59,1926155.58	0.04
自宅で過ごす時間の変化									
減った	0.07	0.00,1.35	0.08	1	1.00,1.00	.	0.02	0.00,136.91	0.37
変わらない	1	1.00,1.00	.	1	1.00,1.00	.	1	1.00,1.00	.
増えた	1.7	0.51,5.67	0.39	1.51	0.14,15.95	0.73	0.06	0.00,23.52	0.36
休日の頻度									
減った	0.21	0.01,4.26	0.31	1	1.00,1.00	.	0.03	0.00,.	1
変わらない	基準			基準			基準		
増えた	2.22	0.60,8.26	0.23	9.64	0.11,853.52	0.32	0.48	0.00,1123.09	0.85
セックス回数の変化									
減った	2.96	0.55,15.98	0.21	119.51	0.84,17074.04	0.06	0.05	0.00,568120.14	0.71
変わらない	基準			基準			基準		
増えた	29.83***	5.42,164.35	0	678.29**	5.18,88861.04	0.01	64053.60*	5.29,7.75e+08	0.02
していない	2.54	0.71,9.09	0.15	16.33	0.15,1724.12	0.24	141.92	0.23,88676.78	0.13
<b>社会心理的項目</b>									
心境の変化									
充実していなかった	基準			基準			基準		
充実していた	1.66	0.50,5.58	0.41	3.01	0.11,84.49	0.52	1015.48*	1.21,852028.64	0.04
運動習慣の変化									
減った	1.68	0.34,8.24	0.52	7.47	0.00,24227.15	0.63	54.56	0.10,28849.62	0.21
変わらない	1.39	0.30,6.46	0.67	34.26	0.03,36596.07	0.32	0.00*	0.00,0.83	0.05
増えた	4.04	0.74,21.98	0.11	14.66	0.00,49049.60	0.52	431426.46*	5.68,3.28e+10	0.02
習慣なし	基準			基準			基準		
飲酒量の変化									
減った	0.67	0.05,9.26	0.77	0.00*	0.00,0.66	0.04	1	1.00,1.00	.

変わらない	1.31	0.30,5.77	0.73	0.01*	0.00,0.77	0.04	17571.65*	3.59,86097722.19	0.02
増えた	0.82	0.18,3.80	0.8	0.01	0.00,3.14	0.12	36.82	0.08,17325.57	0.25
習慣なし	基準			基準			基準		
喫煙の変化									
減った	0.98	0.03,29.00	0.99	17.95	0.00,2732795.47	0.64	1	1.00,1.00	.
変わらない	0.11**	0.02,0.52	0.01	0.06	0.00,2.93	0.15	0.00*	0.00,0.07	0.01
増えた	0.35	0.06,2.22	0.27	0.24	0.00,22.55	0.54	1	1.00,1.00	.
習慣なし	基準			基準			基準		
定数項	0.02*	0.00,0.65	0.03	0.01	0.00,177.59	0.37	0	0.00,19.16	0.1

基準：OR = 1 とした参照項目。\*\*\*p<0.001, \*\*p<0.01, \*p<0.05.

#### 4.4 心境の変化

##### 4.4.1 心境の変化

「この時期におけるあなたの心境について最も近いものを教えてください。」に対し、充実していた(=充実していた・やや充実していた)を1、充実していなかった(=充実していなかった、やや充実していなかった)を0として、社会経済的項目及び社会心理的項目との関連を検証した(表4-6)。

全体として、社会経済的項目について、心の充実と正の関連がみられた項目は、性別で男性に対して女性がOR=1.29、40歳未満(20代:OR=1.62、30代:OR=1.17)、自粛期間に失業していない(OR=1.40)、パートナーがいるOR=1.32(vs. いない)、在宅勤務をした(OR=1.48)、休日の頻度が増えた(OR=1.34)であった。社会心理的項目との関連については、運動習慣の増加(OR=1.92)と不変(OR=1.52)であった。

男性について、社会経済的項目について、心の充実と正の関連がみられた項目は、20代:OR=1.53、学生・専業主婦(夫)でOR=1.50、失業していないでOR=1.70、在宅勤務をした(OR=1.52)、休日の頻度が増えた(OR=1.23)であった。社会心理的項目との関連については、運動習慣の増加(OR=2.12)と不変(OR=1.49)であった。

女性について社会経済的項目について、心の充実と正の関連がみられた項目は、20代:OR=1.64、パートナーがいるOR=1.51(vs. いない)、在宅勤務をした(OR=1.39)、無職(OR=0.74)、自宅で過ごす時間が増えた(OR=0.42)、休日の頻度が増えた(OR=1.38)であった。社会心理的項目との関連については、運動習慣の増加(OR=1.76)と不変(OR=1.53)であった。

表4-6. 心境の変化との関連

	全体 (N = 9,990)			男性 (N = 4,996)			女性 (N = 4,994)		
	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p
<b>社会経済的項目</b>									
性別									
女性	1.29***	1.17,1.42	p<0.001						
男性	基準								
年齢層									
20-29 歳	1.62***	1.38,1.92	p<0.001	1.53***	1.19,1.96	p<0.001	1.64***	1.30,2.05	p<0.001
30-39 歳	1.17*	1.02,1.35	0.03	1.24	1.00,1.53	0.05	1.12	0.92,1.37	0.25
40-49 歳	0.86*	0.75,0.99	0.04	0.83	0.68,1.02	0.07	0.91	0.76,1.10	0.34

50-59 歳	0.83**	0.72,0.95	0.01	0.76**	0.62,0.93	0.01	0.91	0.75,1.10	0.33
60-69 歳	基準			基準			基準		
最終学歴									
中卒	0.77	0.57,1.04	0.09	0.97	0.64,1.46	0.87	0.60*	0.38,0.94	0.03
高卒	0.95	0.86,1.06	0.37	0.89	0.77,1.04	0.15	0.99	0.84,1.15	0.85
短・専・高専卒	0.91	0.81,1.02	0.1	0.95	0.79,1.15	0.59	0.89	0.76,1.04	0.15
大卒以上	基準			基準			基準		
職業									
会社員・自営業	基準			基準			基準		
学生・専業主婦(夫)	0.9	0.78,1.03	0.11	1.50*	1.06,2.13	0.02	0.86	0.73,1.01	0.06
無職	0.77***	0.67,0.90	p<0.001	0.74**	0.60,0.91	p<0.001	0.81	0.65,1.01	0.06
自肅期間に失業した									
失業した	基準			基準			基準		
失業していない	1.40**	1.11,1.76	0.01	1.70**	1.21,2.39	p<0.001	1.11	0.80,1.53	0.54
収入の変化									
減少した	0.58***	0.52,0.66	p<0.001	0.49***	0.41,0.58	p<0.001	0.69***	0.58,0.83	p<0.001
変わらなかった	基準			基準			基準		
増加した	1.15	0.87,1.51	0.32	1.02	0.69,1.50	0.92	1.37	0.92,2.05	0.12
婚姻状態									
未婚	0.72**	0.59,0.88	p<0.001	0.78	0.56,1.08	0.13	0.73*	0.56,0.95	0.02
既婚(初婚・再婚)	0.68***	0.55,0.84	p<0.001	0.68*	0.48,0.96	0.03	0.74*	0.56,0.99	0.04
死別・離婚	基準			基準			基準		
子供の有無									
無	基準			基準			基準		
有	1.04	0.92,1.19	0.52	1.01	0.82,1.23	0.95	1.08	0.91,1.28	0.36
パートナー有無									
無	基準			基準			基準		
有	1.32*	1.05,1.66	0.02	1.17	0.85,1.61	0.35	1.51*	1.09,2.11	0.01
パートナーとの関係									
良好だった	基準			基準			基準		
変化なし	0.29***	0.23,0.36	p<0.001	0.39***	0.28,0.55	p<0.001	0.24***	0.18,0.32	p<0.001
悪くなった	0.38***	0.33,0.42	p<0.001	0.37***	0.31,0.44	p<0.001	0.38***	0.32,0.45	p<0.001
未回答	0.39***	0.31,0.48	p<0.001	0.28***	0.21,0.39	p<0.001	0.52***	0.38,0.70	p<0.001
在宅勤務									
しなかった	基準			基準			基準		
した	1.48***	1.33,1.66	p<0.001	1.52***	1.31,1.76	p<0.001	1.39***	1.17,1.65	p<0.001
自宅で過ごす時間の変化									
減った	1.01	0.74,1.40	0.94	1.09	0.69,1.75	0.71	0.88	0.56,1.39	0.59
変わらない	基準			基準			基準		
増えた	0.41***	0.37,0.45	p<0.001	0.40***	0.34,0.46	p<0.001	0.42***	0.36,0.48	p<0.001

休日の頻度									
減った	0.86	0.66,1.13	0.27	0.96	0.64,1.43	0.83	0.78	0.53,1.14	0.2
変わらない	基準			基準			基準		
増えた	1.34***	1.17,1.53	p<0.001	1.23*	1.01,1.51	0.04	1.38***	1.15,1.67	p<0.001
社会心理的項目									
運動習慣の変化									
減った	1.04	0.90,1.20	0.58	0.99	0.80,1.24	0.96	1.08	0.90,1.31	0.41
変わらない	1.52***	1.37,1.70	p<0.001	1.49***	1.27,1.75	p<0.001	1.53***	1.32,1.77	p<0.001
増えた	1.92***	1.63,2.27	p<0.001	2.12***	1.66,2.72	p<0.001	1.76***	1.41,2.21	p<0.001
習慣なし	基準			基準			基準		
飲酒量の変化									
減った	1.11	0.92,1.35	0.28	1.09	0.83,1.43	0.53	1.17	0.88,1.56	0.28
変わらない	1.11	1.00,1.23	0.05	1.24*	1.06,1.45	0.01	1	0.87,1.15	0.96
増えた	0.96	0.81,1.14	0.66	0.96	0.75,1.22	0.72	1	0.78,1.28	0.99
習慣なし	基準			基準			基準		
喫煙の変化									
減った	1.06	0.75,1.51	0.74	1.01	0.64,1.58	0.97	1.12	0.62,2.02	0.7
変わらない	1	0.90,1.12	0.94	0.93	0.80,1.07	0.31	1.12	0.94,1.34	0.21
増えた	0.75*	0.59,0.95	0.02	0.78	0.57,1.08	0.13	0.7	0.48,1.03	0.07
習慣なし	基準			基準			基準		
定数項	1.53*	1.11,2.11	0.01	1.88*	1.17,3.03	0.01	1.48	0.96,2.29	0.08

基準：OR = 1 とした参照項目。 \*\*\*p<0.001, \*\*p<0.01, \*p<0.05.

#### 4.5 不妊治療の認識

「新型コロナウイルス感染症が拡大する中、不妊治療（人工授精や体外受精胚移植など）で通院することは、「不要不急」であるという意見がありました。これについて、あなたの気持ちに近いものを選んでください。」に対して、1=不要不急の外出である、0=不要不急の外出ではない、の回答について、社会経済的項目及び社会心理的項目との関連を検証した(表4-7)。

全体として、社会経済的項目について、不妊治療のための通院が「不要不急」であると回答した人と、統計的に有意な正の関連がみられた項目は、性別では男性に対して女性はOR = 1.21、40代でOR = 1.25、無職でOR = 1.34、失業していない人でOR = 1.56、収入が増加した人でOR = 1.60、子供がいる人でOR = 1.37、在宅勤務をした人でOR = 1.30、自宅で過ごす時間が減った人でOR = 2.19であった。社会心理的項

目では、運動習慣の減少 (OR = 1.41)、不変 (OR = 1.26)、増加 (OR = 1.57) であった。さらに喫煙の減少 (OR = 2.21)、喫煙の増加 (OR = 1.69) であった。

男性では、社会経済的項目について、不妊治療のための通院が「不要不急」であると回答した人と、統計的に有意な正の関連がみられた項目は、40代でOR = 1.57、50代でOR = 1.41、無職でOR = 1.62、失業していない人でOR = 1.53、子供がいる人でOR = 1.42、自宅で過ごす時間が減った人でOR = 2.69であった。社会心理的項目では、心境が充実していた人がOR = 1.33、運動習慣の減少 (OR = 1.43)、増加 (OR = 1.50) であった。さらに喫煙の減少 (OR = 2.61)、不変 (OR = 1.31) 喫煙の増加 (OR = 1.93) であった。

女性では、社会経済的項目について、不妊治療のための通院が「不要不急」であると回答し

た人と、統計的に有意な正の関連がみられた項目は、失業していない人でOR=1.51、収入の増加でOR=1.82、子供がいる人でOR=1.34、在宅

勤務をした人でOR=1.41であった。社会心理的項目では、運動習慣の減少（OR=1.37）、増加（OR=1.67）であった。

表 4-7. 不妊治療のための通院との関連

	全体 (N =8,941)			男性 (N =4,973)			女性 (N =4,968)		
	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p	OR	95%CI	p
<b>社会経済的項目</b>									
性別									
女性	1.21*	1.03, 1.40	0.02						
男性	基準								
<b>年齢層</b>									
20-29 歳	0.96	0.74, 1.24	0.74	1.18	0.78, 1.78	0.43	0.83	0.58, 1.19	0.31
30-39 歳	1.02	0.81, 1.27	0.9	1.27	0.90, 1.79	0.17	0.85	0.62, 1.15	0.28
40-49 歳	1.25*	1.02, 1.54	0.03	1.57**	1.15, 2.15	p<0.001	1.04	0.79, 1.37	0.79
50-59 歳	1.1	0.89, 1.37	0.37	1.41*	1.02, 1.94	0.04	0.93	0.70, 1.24	0.63
60-69 歳	基準			基準			基準		
<b>最終学歴</b>									
中卒	0.87	0.53, 1.41	0.56	0.98	0.52, 1.87	0.96	0.72	0.34, 1.54	0.4
高卒	0.89	0.75, 1.05	0.17	0.96	0.75, 1.22	0.73	0.8	0.63, 1.02	0.07
短・専・高専卒	1.04	0.87, 1.24	0.65	1.06	0.79, 1.41	0.7	0.97	0.77, 1.22	0.81
大卒以上	基準			基準			基準		
<b>職業</b>									
会社員・自営業	基準			基準			基準		
学生・専業主婦(夫)	1.05	0.85, 1.30	0.63	1.06	0.59, 1.90	0.84	1	0.79, 1.28	0.98
無職	1.34*	1.07, 1.68	0.01	1.62**	1.18, 2.21	p<0.001	1.16	0.83, 1.63	0.38
<b>自肅期間に失業した</b>									
失業した	基準			基準			基準		
失業していない	1.56**	1.17, 2.09	p<0.001	1.53*	1.01, 2.32	0.05	1.51*	1.00, 2.28	0.05
<b>収入の変化</b>									
減少した	1.12	0.94, 1.33	0.22	1.13	0.89, 1.45	0.32	1.12	0.86, 1.44	0.4
変わらなかった	基準			基準			基準		
増加した	1.60*	1.11, 2.30	0.01	1.52	0.90, 2.57	0.12	1.82*	1.09, 3.03	0.02
<b>婚姻状態</b>									
未婚	1.11	0.81, 1.52	0.52	1.47	0.85, 2.54	0.17	0.91	0.61, 1.37	0.66
既婚(初婚・再婚)	0.99	0.71, 1.37	0.95	1.07	0.61, 1.87	0.8	1.01	0.66, 1.56	0.96
死別・離婚	基準			基準			基準		
<b>子供の有無</b>									
無	基準			基準			基準		
有	1.37**	1.12, 1.67	p<0.001	1.42*	1.02, 1.98	0.04	1.34*	1.03, 1.74	0.03

パートナー有無									
無	基準			基準			基準		
有	0.96	0.67, 1.38	0.84	0.96	0.57, 1.61	0.88	0.99	0.59, 1.64	0.96
パートナーとの関係									
良好だった	基準			基準			基準		
変化なし	0.78	0.57, 1.06	0.11	0.53*	0.30, 0.91	0.02	0.97	0.66, 1.43	0.9
悪くなった	0.77**	0.64, 0.91	p<0.001	0.85	0.65, 1.10	0.21	0.71**	0.55, 0.90	0.01
未回答	0.73	0.52, 1.01	0.06	0.63	0.39, 1.02	0.06	0.85	0.53, 1.34	0.48
在宅勤務									
しなかった	基準			基準			基準		
した	1.30**	1.11, 1.53	p<0.001	1.25	1.00, 1.56	0.05	1.41**	1.10, 1.80	0.01
自宅で過ごす時間の变化									
減った	2.19***	1.49, 3.22	p<0.001	2.69***	1.57, 4.62	p<0.001	1.63	0.92, 2.91	0.1
変わらない	基準			基準			基準		
増えた	1.13	0.96, 1.33	0.13	1.16	0.91, 1.46	0.23	1.11	0.89, 1.39	0.35
休日の頻度									
減った	1.09	0.77, 1.55	0.63	1.14	0.68, 1.92	0.61	0.96	0.59, 1.58	0.89
変わらない	基準			基準			基準		
増えた	0.99	0.81, 1.20	0.92	0.93	0.70, 1.25	0.63	1.03	0.79, 1.35	0.81
社会心理的項目									
心境の変化									
充実していなかった	基準			基準			基準		
充実していた	1.15	0.99, 1.33	0.06	1.33**	1.08, 1.65	0.01	1.01	0.83, 1.24	0.89
運動習慣の変化									
減った	1.41***	1.15, 1.73	p<0.001	1.43*	1.04, 1.96	0.03	1.37*	1.04, 1.79	0.02
変わらない	1.26*	1.06, 1.50	0.01	1.28	0.98, 1.68	0.07	1.25	0.99, 1.58	0.06
増えた	1.57***	1.24, 2.00	p<0.001	1.50*	1.03, 2.17	0.03	1.67**	1.21, 2.30	p<0.001
習慣なし	基準			基準			基準		
飲酒量の変化									
減った	1.21	0.92, 1.59	0.17	1.32	0.91, 1.92	0.15	1.13	0.75, 1.71	0.55
変わらない	0.95	0.81, 1.11	0.52	0.92	0.72, 1.18	0.51	0.99	0.80, 1.22	0.91
増えた	1.07	0.84, 1.36	0.58	1.1	0.78, 1.55	0.6	1.07	0.77, 1.51	0.68
習慣なし	基準			基準			基準		
喫煙の変化									
減った	2.21***	1.48, 3.31	p<0.001	2.61***	1.58, 4.33	p<0.001	1.82	0.91, 3.67	0.09
変わらない	1.13	0.95, 1.34	0.18	1.31*	1.04, 1.64	0.02	0.92	0.69, 1.22	0.57
増えた	1.69***	1.27, 2.26	p<0.001	1.93***	1.32, 2.81	p<0.001	1.44	0.90, 2.31	0.12
習慣なし	基準			基準			基準		
定数項	0.06***	0.03, 0.09	p<0.001	0.03***	0.02, 0.08	p<0.001	0.09***	0.05, 0.18	p<0.001

基準：OR = 1 とした参照項目。\*\*\*p<0.001, \*\*p<0.01, \*p<0.05.

## V. 考察

4.1の性行動の変化について、セックス回数の減少について、全体と男女の層別とで統計的に有意な関連がみられる社会経済的項目及び社会心理的項目の傾向としては、未婚、死別・離婚で女性の方がORの値が大きい傾向にあった。その他パートナーとの関係が変わらなかった人、自宅で過ごす時間が増えた人、飲酒量が減った人は、本調査における自粛期間のセックス回数が有意に減少する傾向にあることが分かった。その一方で、心が充実していた人はセックス回数が有意に増加する傾向があることがわかった。

自慰については、女性の方が男性より減少の傾向にあった。層別による解析の方では、女性の自慰減少の関連項目が有意に現れており、収入の減少、自宅で過ごす時間の減少が関連していた。

4.2の妊娠については、全体、男女の層別ともに、60代を基準としたとき、40歳未満で、妊娠したと回答した人のORが有意に高い傾向にあった。その他、自粛期間に失業していないこと、既婚（初婚・再婚）であること、収入が増加したこと、在宅勤務をしていたこと、心が充実していたこと（女性以外）が関連していた。このことから、回答者あるいはパートナーが妊娠した人の、回答者の特徴としては、40歳未満の若い世代で、自粛期間中でも収入が安定しており、在宅勤務をしながらも心が充実していた人にその傾向があることが推察される。人工妊娠中絶に関しては、回答者が少なかつたため、個人の属性との有意な関連を示す項目は多くはみられなかった。全体では自宅で過ごす時間が減った人、女性ではパートナーとの関係について回答しなかった人の間で有意に人工妊娠中絶との関連がみられた。このことから、自宅で過ごす時間が減った人のパートナーとの関係について、詳しく調査し、今回の調査では見いだせなかった隠れた要因を探索する必要があると思われる。

4.3の暴力頻度の増加について、全体と男性の解析結果よりも女性の解析結果について、

ORが高い傾向を示した。女性で、社会経済的項目については、セックス回数が自粛期間に増えた人、在宅勤務をしていた人が関連していた。これらのことから、性的暴力の可能性と自宅にいる時間の変化でなく、在宅勤務をしていたことと有意な関連があったことから、女性の自宅での働き方とパートナーとの関係の実態把握や、女性の働く場の工夫が必要に思われる。社会心理的項目については、心が充実していた人の方が充実していなかった人と比べて暴力頻度が増加している結果となっていることから、女性の被害加害のどちらの影響によるものであるかを踏まえた上で、女性が感じる心の充実の実態について調査する必要がある。さらに飲酒の量が変わらなかった人についても、暴力頻度の増加について、行為の主体が回答者自身かパートナーなのか区別して分析する必要があると思われる。

心の充実については、全体、層別ともに60代を基準として、20代の間で有意に心が充実していた。その一方で収入の減少、既婚者（初婚・再婚）、パートナーとの関係が良好でなかった人は有意に心が充実していない結果となった。さらに自宅で過ごす時間の増加は心が充実しない傾向を示したのに対し、在宅勤務は心の充実と関連していた。このことから、どのように自宅で過ごすか、時間の使い方の中身によって、こころの充実度が違っている可能性が考えられる。さらに在宅勤務は、ただ家にいるのではなく、家庭で仕事をする中で、仕事をしている間は、家事や育児のことを考えずに、ある程度自分の空間や時間を確保することとなり、収入の増加にもつながるので、女性にとっては精神的な心の支えになっているのかもしれない。

4.4の不妊治療のための通院に関する認識については、全体では男性よりも女性の方が、自粛期間の不要不急の外出とみなす傾向がやや高い結果となった。しかし、年代別では、全体では40代、層別による男性の解析では40代、50代で有意に不要不急の外出であるとみなす傾向のあることが分かった。その他、全体、層別

ともに、失業していない人、子供がいる人、運動習慣が増加または減少した人の間で、不妊治療のための通院を不要不急の外出とみなす傾向があることが分かった。

以上の結果より、今後続いていく With コロナ時代にあって、男女双方に日常生活、特に生殖活動面における委縮傾向が増長されないよう、Sexual and Reproductive Health and Rights

(SRHR)領域にかかわるすべての人が、これまでよりもきめ細やかな配慮と支援をしていく必要があると思われる。現代の生殖可能時期にある当事者たちが、普段であれば誰でも受けることができる医療サービスにアクセスできないことでSRHR上の悪影響が出ることはないよう、行政や社会システム、医療制度の新たなデザインが求められる。

## VI. 総括

政策提言として整備すべき内容としては下記の点が挙げられる。

### (1) 自粛下での心境が「充実していない」国民へのサポート

国への提言
<p>内戦、紛争下における外出禁止令とは異なり、目に見えない感染症拡大防止のための自粛であるため、健康教育や感染予防について、平時からリスクコミュニケーションチームを整備し、人材育成と研修、自治体への派遣・支援体制を整備することが望まれる。</p> <p>自粛要請について、国民への犠牲を求めるだけではなく、バーチャルな活動や屋内における文化芸術活動、スポーツ等の充足活動に参加できるよう、年代や性別、居住地等の実情に合わせた支援策を進めることが出来ると、社会生活の抑圧が国の芸術面での発展をもたらすとともに、メンタルヘルスケアにもつながる。</p> <p>学術団体や教育研究機関と協働で、簡易なストレスマネジメントツールを準備し、周知する。</p>
地方公共団体への提言
<p>外出自粛やエンターテイメントの自粛、旅行等県境をまたいだ移動や活動を抑制されている時期だからこそ、地域活動や居住地における社会参加、地方活性を促す機会にもなる。</p> <p>また、実際に訪れることが出来なくとも、ふるさと納税等の事業の一環として、自治体の魅力を発信し、特産品を届ける等、自治体内の住民の囲い込みと、自治体外へのPRと将来的な集客につながる事業提案、企画を進めておく。</p>
企業/学校や家庭が取り組むべきこと
<p>メンタルヘルス支援を効率的かつ有効にできるよう、簡易なチェックリストや、従業員のストレスチェックシステム、産業医との面接、心の健康を測定できるアプリ等に先行投資し、感染症予防を妨げない範囲で交流する機会を増やすと、リフレッシュできず疲労が蓄積しやすい従業員のストレスマネジメントにつながる。</p> <p>家庭では、今まで以上に対話や共同作業、社会参加の機会を設けていく。</p>

自粛下、パートナー間での「暴力」を回避するために
国への提言
<p>自粛化でDVが増加するという先行研究をもとに、簡易なDVのスクリーニングについて、関係団体に周知し、自治体における啓発や教育に用いられるような教材を開発し配布する。</p> <p>既存のDVシェルターに加え、ワンストップセンター、女性の健康支援センター等に、類似の機能を持たせるようにする。</p>

地方公共団体への提言
<p>DV 被害者がすぐに支援を求められるよう、自治体の管轄である施設、教育機関等に DV の専門家を配置する、または、地域の連携協議会等を立ち上げるよう働きかける。</p> <p>医師会や薬剤師会、看護協会等、自治体と平時から連携している職能団体に DV 啓発・教育の機会を提供し、医療専門職が現場で発見する支援を行う。</p> <p>DV 被害における実情把握のための調査を行い、産官学連携で、DV の早期発見、早期介入、支援のための地域資源やネットワークを構築する</p>
企業/学校や家庭が取り組むべきこと
<p>DV が常態化すると、抵抗力が弱ったり、自己肯定感が低下して抵抗できなくなるため、DV 判定リストや SOS を出すための LINE、コールセンター、地域避難拠点を作り、周知徹底を図る</p> <p>DV の被害を受けたり見聞きしたりした時に助けを求め、逃げても良いという「受援力」を高めるためのセミナーや教材、研修機会を提供し、個人の中の「受援力」を向上させる。</p>
自粛下、予期せぬ妊娠を回避する国民へのサポート
国への提言
<p>防災教育同様、小学校低学年から避妊や性行動に関する教育機会の提供、教育現場への支援、教材開発を行う。</p> <p>自治体における予期せぬ妊娠防止事業を母子保健事業の中に位置づけ、保健センター等で啓発できるようなコミュニケーション媒体を作って配布する。</p> <p>学術団体や職能団体とともにプレコンセプションケアの啓発教育を進める。</p>
地方公共団体への提言
<p>自治体におけるプレコンセプションケア研修や避妊をテーマにした出前講座等を企画し、出来るだけ住民が避妊についての知識に接することが出来るよう、公費負担を行う。</p>
企業/学校や家庭が取り組むべきこと
<p>組織内のメンタルヘルスチェックシステムを作り、ストレスが蓄積して過剰なアルコール摂取や同意のない性交に発展しないよう、適度な運動や交流等、起業・学校や家庭内でストレス解消できるような設備や機会を提供できるようにする。</p> <p>生殖行動について恥ずかしくて相談できないという風潮を改め、助けを求めても良いという「受援力」のセミナーや教材、研修機会を作る。</p> <p>また、家庭の中で、幼少期から個人の中の「受援力」を向上させ、自己肯定感を上昇させるような声かけを心がけ、計画外の妊娠を予防したり、相談できるような環境を生み出すよう努める。</p>

## 調査票（設問と回答状況）

当アンケートには、「性に関する内容」や「暴力行為」についてお伺いする設問が含まれております。なお、当アンケートにより取得した回答結果につきましては、個人が特定されない形で処理し、統計的な調査結果としてのみ利用されます。本件趣旨にご同意いただける方は、ご回答をお願い致します。（SA）

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	同意する	10,000	100.0
2	同意しない	0	0.0

あなたご自身やあなたのご家族の方に、次のようなところにお勤めの方はいらっしゃいますか。あてはまるものをすべてお知らせください。（MA）

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	エネルギー・素材・産業機械	309	3.1
2	食品	394	3.9
3	飲料・嗜好品	108	1.1
4	薬品・医療用品	171	1.7
5	化粧品・トイレタリー・サニタリー	91	0.9
6	ファッション・アクセサリ	128	1.3
7	精密機械・事務用品	168	1.7
8	家電・AV機器	243	2.4
9	自動車・輸送機器	436	4.4
10	家庭用品	28	0.3
11	趣味・スポーツ用品	29	0.3
12	不動産・住宅設備	352	3.5
13	情報・通信	471	4.7
14	流通・小売業	851	8.5
15	金融・保険	493	4.9
16	交通・レジャー	279	2.8
17	外食・各種サービス	629	6.3
18	官公庁・団体	677	6.8
19	教育・医療サービス・宗教	1,323	13.2
20	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・広告等マスコミ関係	0	0.0
21	市場調査	0	0.0
22	その他	1,785	17.9
23	あてはまるものはない	2,871	28.7

あなたの性別をお知らせください。（SA）

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	男性	5,003	50.0
2	女性	4,997	50.0
3	その他	0	0.0

あなたの年齢は、満何歳ですか。／歳 (NU)

		回答数	%
全体		10000	100.0
平均値			46.02
最小値			20.00
最大値			69.00

あなたのお住まい（都道府県）をお知らせください。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	北海道	425	4.3
2	青森県	102	1.0
3	岩手県	98	1.0
4	宮城県	182	1.8
5	秋田県	77	0.8
6	山形県	85	0.9
7	福島県	149	1.5
8	茨城県	231	2.3
9	栃木県	158	1.6
10	群馬県	154	1.5
11	埼玉県	589	5.9
12	千葉県	498	5.0
13	東京都	1,131	11.3
14	神奈川県	745	7.5
15	新潟県	177	1.8
16	富山県	82	0.8
17	石川県	87	0.9
18	福井県	57	0.6
19	山梨県	66	0.7
20	長野県	156	1.6
21	岐阜県	156	1.6
22	静岡県	288	2.9
23	愛知県	597	6.0
24	三重県	140	1.4
25	滋賀県	112	1.1

26	京都府	697	7.0
27	大阪府	432	4.3
28	兵庫県	105	1.1
29	奈良県	72	0.7
30	和歌山県	202	2.0
31	鳥取県	42	0.4
32	島根県	50	0.5
33	岡山県	145	1.5
34	広島県	217	2.2
35	山口県	105	1.1
36	徳島県	58	0.6
37	香川県	73	0.7
38	愛媛県	103	1.0
39	高知県	54	0.5
40	福岡県	399	4.0
41	佐賀県	64	0.6
42	長崎県	103	1.0
43	熊本県	135	1.4
44	大分県	87	0.9
45	宮崎県	82	0.8
46	鹿児島県	124	1.2
47	沖縄県	109	1.1

現在、あなたは結婚していらっしゃいますか。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	未婚	3,832	38.3
2	既婚（初婚）	5,038	50.4
3	既婚（再婚以上）	395	4.0
4	既婚（死別）	152	1.5
5	離婚	583	5.8

ご夫婦の現在の就労状況をお選びください。(SA)

		回答数	%
全体		5,433	100.0
1	共働き（共にフルタイム）	1,372	25.3
2	共働き（夫はフルタイム、妻はフルタイムではない）	1,416	26.1
3	共働き（妻はフルタイム、夫はフルタイムではない）	79	1.5
4	夫のみ就労	2,234	41.1
5	妻のみ就労	332	6.1

あなたにはお子さまがいらっしゃいますか。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	子供はいない	5,307	53.1
2	子供がいる	4,693	46.9

あなたにはお子さまがいらっしゃいますか。／子供がいる (NU)

		回答数	%
全体		4,693	100.0
平均値			1.90
最小値			1.00
最大値			6.00

あなたは同居中のお子様は何人いらっしゃいますか。／人 (NU)

		回答数	%
全体		4,693	100.0
平均値			1.10
最小値			0.00
最大値			5.00

あなたの主な職業は、どれにあてはまりますか。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	勤め人（常勤）	4,663	46.6
2	勤め人（非常勤、パートタイム、アルバイトなど）	1,652	16.5
3	自営業（事業の経営者、家業の手伝い、フリーランスなど）	756	7.6
4	学生	269	2.7
5	主婦・主夫	1,407	14.1
6	現在は働いていない	1,253	12.5

あなたの最終学歴を以下の項目からお選びください。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	中学校卒	229	2.3
2	高等学校卒	2,995	30.0
3	専門学校卒	1,128	11.3
4	短期大学卒	950	9.5
5	高等専門学校（高専）卒	220	2.2
6	大学卒	4,012	40.1
7	大学院卒	439	4.4
8	海外大学卒	27	0.3

あなたは1日あたりに平均でどれくらい働いていますか。／時間 (NU)

	回答数	%
全体	7,071	100.0
平均値		7.53
最小値		0.00
最大値		23.00

あなたは1日あたりに平均でどれくらい働いていますか。／分 (NU)

	回答数	%
全体	7,071	100.0
平均値		7.48
最小値		0.00
最大値		59.00

あなたは1週間に平均でどれくらい働いていますか。／日 (NU)

	回答数	%
全体	7,071	100.0
平均値		4.76
最小値		1.00
最大値		7.00

あなたご自身の昨年（2019年）の年収を教えてください。(SA)

	回答数	%
全体	10,000	100.0
1   100万円未満	2,991	29.9
2   100~200万円未満	1,458	14.6
3   200~300万円未満	1,346	13.5
4   300~400万円未満	1,208	12.1
5   400~500万円未満	955	9.6
6   500~600万円未満	636	6.4
7   600~800万円未満	721	7.2
8   800~1,000万円未満	361	3.6
9   1,000万円以上	324	3.2

あなたはこれまでにセックス（性交渉）をしたことがありますか？ (SA)

	回答数	%
全体	10,000	100.0
1   ある	8,569	85.7

2	ない	1,431	14.3
---	----	-------	------

あなたにはパートナー（配偶者、恋人など）がいますか。（SA）

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	いる	6,453	64.5
2	いない	3,547	35.5

この時期におけるあなたの心境について最も近いものを教えてください。（SA）

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	充実していた	869	8.7
2	やや充実していた	2,930	29.3
3	やや充実していなかった	3,579	35.8
4	充実していなかった	2,622	26.2

この時期に、あなた自身は自宅で過ごす時間は変わりましたか。（SA）

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	減った	212	2.1
2	変わらない	4,637	46.4
3	増えた	5,151	51.5

この時期に、あなた自身は在宅勤務をしましたか。（SA）

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	在宅勤務をした（新たに始まった）	1,689	16.9
2	在宅勤務をした（もともと在宅勤務をしていた）	736	7.4
3	在宅勤務はしていない	7,575	75.8

この時期に、あなた自身の休日の頻度は変わりましたか。（SA）

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	減った	328	3.3
2	変わらない	7,949	79.5
3	増えた	1,723	17.2

この時期に、あなた自身は失業しましたか。（SA）

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	した	438	4.4

2	しなかった	9,562	95.6
---	-------	-------	------

この時期に、あなた自身は休業しましたか。(会社からの休業命令あるいは自営業の場合は自主的な休業の有無) (SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	した	1,260	12.6
2	しなかった	8,740	87.4

この時期に、あなた自身の収入は変わりましたか。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	減った	2,365	23.7
2	変わらない	7,379	73.8
3	増えた	256	2.6

この時期に、あなたにはパートナー(配偶者、恋人など)はいましたか。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	いた	6,165	61.7
2	いなかった	3,835	38.4

この時期に、あなたとパートナーとの関係はいかがでしたか。(SA)

		回答数	%
全体		6,165	100.0
1	良好だったと思う	2,249	36.5
2	悪くなったと思う	515	8.4
3	変わらなかったと思う	3,401	55.2

この時期に、あなた自身は子供と過ごす時間は変わりましたか。(SA)

		回答数	%
全体		4,693	100.0
1	減った	346	7.4
2	変わらない	2,965	63.2
3	増えた	1,382	29.4

この時期に、あなたは子供を預ける場所(幼稚園、保育所など)はありましたか。(SA)

		回答数	%
全体		4,693	100.0
1	あった	555	11.8

2	なかった	670	14.3
3	子供は預けていなかった	3,468	73.9

この時期に、あなた自身は結婚しましたか。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	した	247	2.5
2	しなかった	9,753	97.5

この時期に、あなた自身は離婚しましたか。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	した	83	0.8
2	しなかった	9,917	99.2

この時期に、あなた自身の運動習慣は変わりましたか。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	減った	1,702	17.0
2	変わらない	4,171	41.7
3	増えた	902	9.0
4	もともと運動習慣はない	3,225	32.3

この時期に、あなた自身の飲酒量は変わりましたか。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	減った	631	6.3
2	変わらない	4,618	46.2
3	増えた	956	9.6
4	もともと飲酒の習慣はない	3,795	38.0

この時期に、あなた自身の喫煙量は変わりましたか。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	減った	170	1.7
2	変わらない	2,225	22.3
3	増えた	412	4.1
4	もともと喫煙する習慣はない	7,193	71.9

この時期に、あなたはパートナーとの間で暴力行為(身体的・性的・精神的な乱暴行為)はありましたか。(SA)

		回答数	%
全体		6,165	100.0
1	あった（現在もある）	135	2.2
2	あった（現在は無い）	122	2.0
3	なかった	5,908	95.8

どのような暴力行為に当てはまりますか。(MA)

		回答数	%
全体		257	100.0
1	身体的な暴力（殴る、蹴る、叩く、刺す、など）	82	31.9
2	性的な暴力（セックスの強要、性器を見せる、など）	69	26.8
3	精神的な暴力（暴言、強迫、差別的な発言、無視されるなど）	114	44.4
4	経済的な暴力（生活費を渡さない、借金を作る・強制するなど）	40	15.6
5	社会的な暴力（常に行動を監視される、外出を制限されるなど）	58	22.6

それは次のどちらに当てはまりますか。(SA)

		回答数	%
全体		257	100.0
1	パートナーから振るわれた	136	52.9
2	パートナーに対して自分が振るってしまった	64	24.9
3	お互いに振るった	57	22.2

この時期に、パートナー間での暴力行為の頻度は変わりましたか。(SA)

		回答数	%
全体		257	100.0
1	減った	73	28.4
2	変わらない	140	54.5
3	増えた	44	17.1

この時期に、あなた自身の自慰（マスターベーション）の頻度が変わりましたか。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	減った	296	3.0
2	変わらなかった	5,006	50.1
3	増えた	535	5.4
4	していない／したことがない	4,163	41.6

この時期に、あなた自身のセックス回数は変わりましたか。(SA)

		回答数	%
全体		8,569	100.0
1	減った	684	8.0
2	変わらなかった	3,336	38.9

3	増えた	285	3.3
4	していない	4,264	49.8

その理由に一番近いのはどれですか。(SA)

		回答数	%
全体		684	100.0
1	外出を控えていた	306	44.7
2	機会がなかった。	164	24.0
3	その気になれなかった	170	24.9
4	本人あるいは相手がコロナに感染した	3	0.4
5	その他	41	6.0

この時期に、パートナー（恋人や結婚相手）以外の人とセックスをしましたか。(浮気、不倫、性風俗の利用を含む) (SA)

		回答数	%
全体		8,569	100.0
1	していない	7,505	87.6
2	特定の人物1人とした	750	8.8
3	特定の人物2人以上とした	156	1.8
4	出会い系やナンパ等でなりゆきでした	71	0.8
5	特定の人物と、なりゆきの両方でした	87	1.0

この時期のセックスに際しての主な避妊方法は次のうちどれでしたか。(SA)

		回答数	%
全体		8,569	100.0
1	コンドーム	2,660	31.0
2	膣外射精法（外出し）	636	7.4
3	オギノ式避妊法（月経からの日数計算）	29	0.3
4	経口避妊薬・ピル	95	1.1
5	基礎体温を測る	48	0.6
6	不妊手術（精管や卵管の手術）	9	0.1
7	殺精子剤（錠剤、ゼリー・フィルム）	8	0.1
8	子宮内避妊具（銅付加子宮内避妊具、ミレーナ、リングなど）	16	0.2
9	膣内を洗う	18	0.2
10	その他	928	10.8
11	避妊はしなかった	4,122	48.1

この時期のセックスで、コンドームが破れた、外れた、レイプされたなどで、性交後 72 時間以内に対処する最後の避妊法（緊急避妊法）を本人または相手が利用しましたか。(SA)

		回答数	%
全体		8,569	100.0
1	(1回だけ) 利用した	96	1.1

2	(2回以上) 利用した	97	1.1
3	利用していない	6,977	81.4
4	緊急避妊法という意味がわからない	1,399	16.3

この時期に、あなた（あるいはあなたのパートナー）は妊娠を経験しましたか。(SA)

		回答数	%
全体		8,569	100.0
1	はい	283	3.3
2	いいえ	8,286	96.7

妊娠が判明した後、あなた（あなたのパートナー）はどうしましたか。(SA)

		回答数	%
全体		283	100.0
1	妊娠を継続した	254	89.8
2	人工妊娠中絶した	29	10.2

中絶の理由で近いものを3つまで選んでください。(MA)

		回答数	%
全体		29	100.0
1	パートナーに勧められた	8	27.6
2	親や親族に勧められた	6	20.7
3	友人に勧められた	2	6.9
4	コロナウィルス流行と子供への影響が心配だった	3	10.3
5	経済的に	6	20.7
6	自身（あなたのパートナー）の体調を考慮して	7	24.1
7	その他	2	6.9

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、不妊治療（人工授精や体外受精胚移植など）で通院することは、「不要不急」とあるという意見がありました。これについて、あなたの気持ちに近いものを選んでください。(SA)

		回答数	%
全体		10,000	100.0
1	そう思う	1,004	10.0
2	そうは思わない	4,679	46.8
3	わからない	4,268	42.7
4	その他	49	0.5